

“Zoom-Zoom” …

それは英語で「ブー、ブー」という車の走行音をあらわす、子供言葉です。

誰でも、子供の頃は、動くことに対するあこがれがありました。

車のエンジン音が響くと、ドキドキする感じ。

カラダがビュンビュン流れる時の、快感。

めまいがするよううれしさ。

きっと、みんな知っていたはずです。

でも、大人になると、ちょっと忘れていたりする。

それを、マツダは忘れません。

それが、私たちの“Zoom-Zoom”の意味。

小さい時に知っていた、

ウズウズするような走る喜びを忘れていない皆様のために、

素晴らしいクルマを作り続けます、という

私たちの新しいブランド・パーソナリティのコア・エッセンスです。

# このたびは、VERISAをお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は、安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、お車の正しい取り扱いや簡単なお手入れ方法について説明しています。ご使用前に必ずお読みください。

「必読！安全ドライブのために」のところは特に重要ですので、よく読んでおいてください。

安全にお車を使用していただくために守っていただきたいことを、下記の表示で区分して記載しています。これらは重要ですので、必ず読んでお守りください。

 <b>警告</b>	取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負う可能性のあるもの
 <b>注意</b>	取り扱いを誤った場合、傷害を負ったり車両の損傷につながる可能性のあるもの

本書内で使用している下記の表示は次の内容を示しています。

 <b>知識</b>	知っておいていただきたいこと 知っておくと便利なこと
	イラストで表現している内容の禁止を意味しています。

お車に表示されている下記のマークは次の内容を示しています。必ず本書の説明を読んでご使用ください。

	詳しい説明を本書に記載しています。
---	-------------------

- グレードや仕様により異なる装備については☆をつけています。
- マツダ販売店で取り付けられた装備品は、付属の取扱説明書をご覧ください。
- お車の保証および点検、整備要領については、別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
- 本書は別冊のメンテナンスノートとともに、いつもお車に保管してください。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● お車をゆずられるときは、次のオーナーのために、本書をお車につけておいてください。</li><li>● お車の仕様変更などにより、本書の内容の一部が車両と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。</li></ul> |
|--|

# 目次

イラスト目次	4 ページ
詳細目次	8 ページ

<b>1 必読！安全ドライブのために</b>	13 ページ
------------------------	--------

安全のために知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことをま  
とめております。よく読んでお守りください。

<b>2 安全装備</b>	39 ページ
---------------	--------

シートベルト、SRSエアバッグシステムなど安全装備の操作と取り扱い

<b>3 操作と取り扱い</b>	81 ページ
------------------	--------

各部の開閉や調節、運転装置の取り扱いなどお車の基本操作と取り扱い

<b>4 快適カーライフのために</b>	157 ページ
----------------------	---------

ドライブをより快適にする装備の操作と取り扱い

<b>5 万ーのときは</b>	175 ページ
-----------------	---------

車が故障したとき、事故にあったときの処置

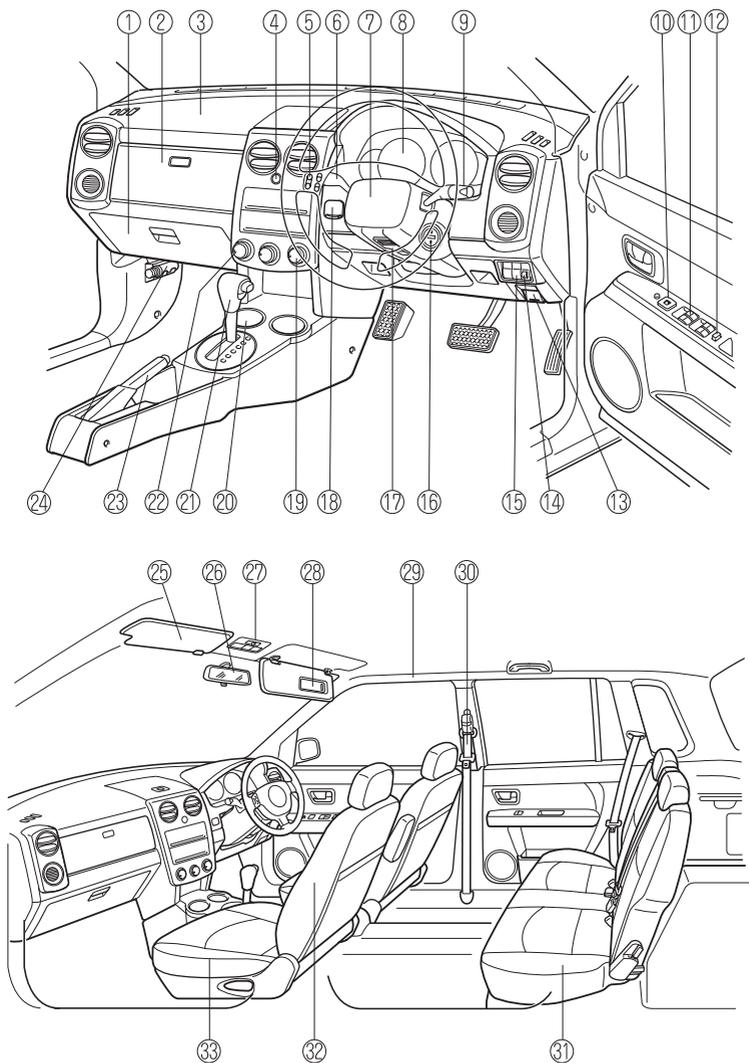
<b>6 車との上手なつきあいかた</b>	205 ページ
-----------------------	---------

手入れの方法、真冬の取り扱いなど

サービスデータ	232 ページ
---------	---------

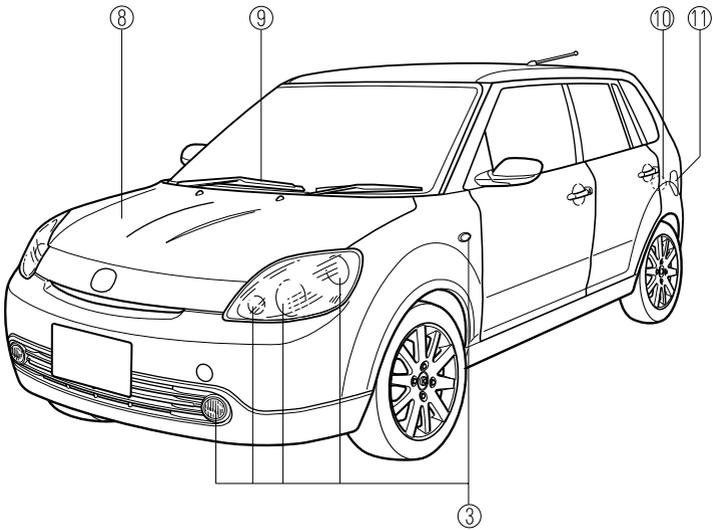
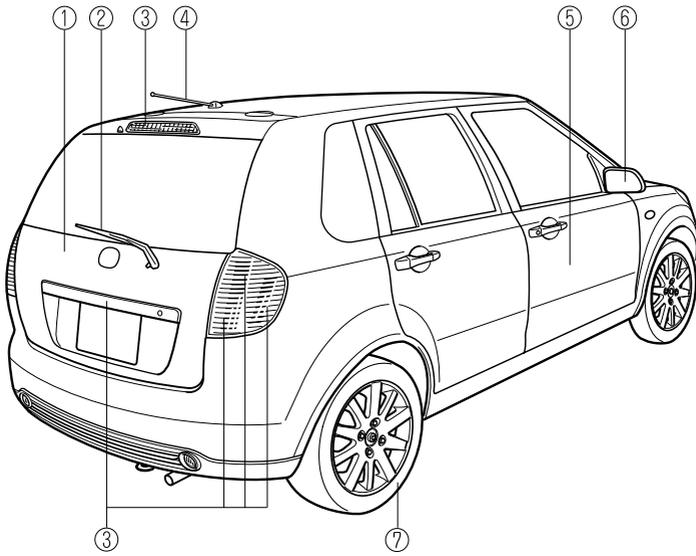
さくいん	242 ページ
------	---------

# イラスト目次



グレードにより取り付け位置および装備が異なります。

① グローブボックス .....	169ページ
② アップーグローブボックス .....	169ページ
③ 助手席エアバッグ .....	69ページ
④ 非常点滅灯スイッチ .....	146ページ
⑤ オーディオリモートコントロールスイッチ .....	165ページ
⑥ ワイパー/ウォッシャースイッチ .....	141ページ
⑦ 運転席エアバッグ .....	69ページ
⑧ メーター .....	120ページ
⑨ ランプスイッチ .....	136ページ
⑩ ドアミラー調節スイッチ .....	116ページ
⑪ パワーウインドースイッチ .....	105ページ
⑫ パワーウインドーロックスイッチ .....	108ページ
⑬ ボンネットオープナー .....	111ページ
⑭ ヘッドライトレベリングスイッチ .....	138ページ
⑮ DSC OFFスイッチ .....	79ページ
⑯ エンジンスイッチ .....	147ページ
⑰ ハンドル調節レバー .....	116ページ
⑱ 電源ソケット .....	173ページ
⑲ エアコン .....	158ページ
⑳ カップホルダー .....	168ページ
㉑ セレクトレバー .....	150ページ
㉒ リヤウインドーデフォグガススイッチ .....	145ページ
㉓ パーキングブレーキ .....	149ページ
㉔ 発炎筒 .....	178ページ
㉕ サンバイザー .....	166ページ
㉖ ルームミラー .....	118ページ
㉗ ルームランプ .....	167ページ
㉘ バニティミラー .....	166ページ
㉙ カーテンエアバッグ .....	69ページ
㉚ シートベルト .....	47ページ
㉛ リヤシート .....	44ページ
㉜ サイドエアバッグ .....	69ページ
㉝ フロントシート .....	42ページ



グレードにより取り付け位置および装備が異なります。

① リヤゲート .....	102ページ
② リヤワイパー .....	144ページ
③ 電球 (バルブ) .....	238ページ
④ アンテナ .....	165ページ
⑤ ドア .....	99ページ
⑥ ドアミラー .....	116ページ
⑦ タイヤ .....	240ページ
⑧ ボンネット .....	111ページ
⑨ フロントワイパー .....	142ページ
⑩ チャイルドプルーフ .....	101ページ
⑪ 燃料補給口 .....	108ページ

# 詳細目次

## 1 必読！安全ドライブのために

お出かけ前に 14

お子さまを乗せるとき 20

運転するとき 23

オートマチック車を運転するとき 27

駐停車するとき 29

こんなことにも注意 31

## 2 安全装備

シート 40

正しい運転姿勢 ..... 40

フロントシート ..... 42

リヤシート ..... 44

ヘッドレスト ..... 45

シートベルト 47

正しい着用のしかた ..... 47

3点式シートベルト ..... 50

お子さまの安全 55

お子さま専用シートについて ..... 55

チャイルドシートを固定するとき ... 62

SRSエアバッグシステム 64

SRSエアバッグシステムについて ... 64

ABS 75

ABSについて ..... 75

トラクションコントロールシステム (TCS) 77

TCSについて ..... 77

ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) 78

DSCについて ..... 78

## 3 操作と取り扱い

### アドバンストキー 82

アドバンストキーについて .....	82
アドバンストキーレスの機能を使 っての操作 .....	87
アドバンストキーレスの機能を使 わない操作 .....	93
警報 .....	95
設定変更 (カスタマイズ機能) .....	97
こんなときは .....	98

### 各部の開閉 99

ドア .....	99
パワードアロック .....	101
リヤゲート .....	102
パワーウインドー .....	105
燃料補給口 .....	108
ボンネット .....	111

### 盗難防止システム 113

イモビライザーシステム .....	113
-------------------	-----

### 各部の調節 116

ハンドル .....	116
ドアミラー .....	116
ルームミラー .....	118

### メーター、警告灯、表示灯の 見方 120

メーター .....	120
警告灯、表示灯 .....	124
警報音 .....	135

### スイッチの使いかた 136

ランプスイッチ .....	136
方向指示器 .....	140
フォグランプスイッチ .....	141
ワイパー/ウォッシャースイッチ ..	141
リヤウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ .....	145
ホーン .....	145
非常点滅灯スイッチ .....	146

### 運転装置の使いかた 147

電源ポジション (エンジンスイッチ) .....	147
エンジンの始動 .....	148
エンジンの停止 .....	149
ブレーキ .....	149
オートマチックトランス ミッション .....	150
オートマチック車を運転すると き .....	153

## 4 快適カーライフ のために

### 空調 158

エアコンを上手に使用していただ くために .....	158
吹き出し口 .....	159
フルオートエアコン .....	162

### オーディオ 165

アンテナ .....	165
オーディオリモートコントロール スイッチ .....	165

## 室内装備 166

サンバイザー .....	166
室内照明 .....	166
カップホルダー .....	168
ボトルホルダー .....	169
収納 .....	169
フレキシブルボード .....	171
電源ソケット .....	173

## 5 万一のときは

### 故障したとき 176

路上で故障したとき .....	176
踏切内で動けなくなったとき .....	177

### 緊急用具の取り扱い 178

発炎筒 .....	178
工具、ジャッキ .....	179
ジャッキの取り扱い .....	180
スペアタイヤ .....	183

### パンクしたとき 185

タイヤ交換 .....	185
-------------	-----

### オーバーヒートしたとき 188

オーバーヒートについて .....	188
-------------------	-----

### バッテリーがあがったとき 190

バッテリーあがりについて .....	190
--------------------	-----

### ヒューズ切れ、電球切れのとき 193

ランプ類、電気装置が作動しないとき .....	193
ヒューズの受け持つ装置 .....	196

### けん引について 200

けん引してもらうとき .....	200
故障車をけん引するとき .....	202

### 万一事故が起きたとき 203

## 6 車との上手なつきあいかた

### 点検、整備 206

点検整備について .....	206
定期点検 .....	206
日常点検 .....	207

### 車の手入れ 213

外装の手入れ .....	213
内装の手入れ .....	218
その他の手入れ .....	220

### 積雪、寒冷時の取り扱い 222

冬にそなえて .....	222
運転する前に .....	223
走行するときは .....	224
駐車するときは .....	225
タイヤチェーンの取り付け .....	225
寒冷地用ワイパーブレードについて .....	226

**こんなときは 227**

夏期の取り扱い ..... 227  
雨の日の運転 ..... 227

**環境保護のために 228**

経済的な運転 ..... 228  
廃棄物を処理するときは ..... 231

# MEMO

# 1 必読！安全ドライブのために

安全のために知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことをまとめております。よく読んでお守りください。

お出かけ前に 14

お子さまを乗せるとき 20

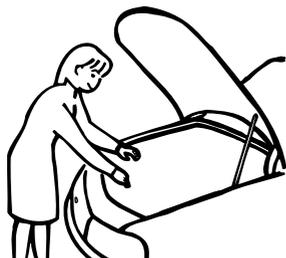
運転するとき 23

オートマチック車を運転するとき 27

駐停車するとき 29

こんなことにも注意 31

## 点検は必ず実施する



安全で快適な運転をするために、日常点検整備および定期点検整備を実施することが法律で義務づけられています。

点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

いつもと違う点に気づいたら、早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

## 日常点検としてバッテリー液の量を定期的に点検する

バッテリー液の量が下限 (LOWER LEVEL) より不足している状態でエンジンを始動すると、破裂 (爆発) につながるおそれがあり危険です。バッテリー液が不足しているときは、エンジン始動前に必ず補充液または蒸留水を補充してください。

→37ページ「バッテリーの取り扱いに気を付ける」

点検、補充の要領は別冊のメンテナンスノートを参照してください。

## 日常点検としてタイヤを定期的に点検する

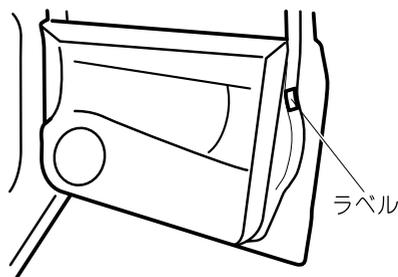
タイヤの点検は法律で義務付けられていません。

タイヤは以下の点検をしてください。

- タイヤの空気圧
- タイヤのき裂・損傷
- タイヤの溝の深さ、異常摩耗

点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

## タイヤの空気圧は必ず指定空気圧に調整する



タイヤの空気圧が不足したままで走行しないでください。タイヤの空気圧が不足していると車両の安定性を損なうばかりでなく、タイヤが偏摩耗したりします。また、タイヤの空気圧が不足したままで高速走行すると、タイヤがバースト (破裂) するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

適正空気圧は、運転席ドアに貼付されているラベルで確認してください。

## タイヤの側面などにき裂や損傷のあるタイヤを装着しない

- 異常があるタイヤを装着しないでください。
  - 異常があるタイヤを装着すると、走行中にハンドルがとられたり、異常な振動を感じる場合があります。また、パンクやバースト（破裂）などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。走行中、異常な振動を感じた場合はマツダ販売店で点検を受け、正常なタイヤと交換してください。
  - 異常のあるタイヤを装着していると、車の性能（燃費・走行安定性・制動距離など）が十分に発揮できないばかりでなく、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、部品に悪影響をあたえるなど、故障の原因になるおそれがあります。
- 道路の路肩などにタイヤの側面を接触させたり、凹凸やわだちの乗り越しは避けてください。タイヤの損傷、き裂などをまねくおそれがあります。

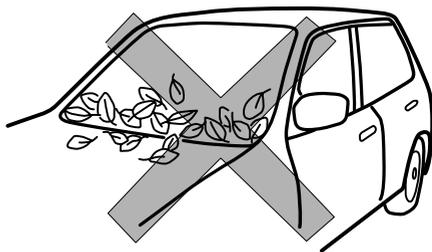
## 摩耗限度をこえたタイヤは装着しない

タイヤの溝の深さが少ないタイヤや摩耗限界表示（ウェアインジケーター）が現れているタイヤを使用しないでください。そのまま使用すると、制動距離が長くなったり、雨の日にハイドロブレーキ現象※により、ハンドル操作ができなくなったり、タイヤがバースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。摩耗限界表示が現れたらすみやかに正常なタイヤと交換してください。

→211ページ「タイヤの点検」

※ぬれた路面を高速で走行すると、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になり、ハンドルやブレーキが効かなくなる現象。

## 外気取り入れ口をふさがない



フロントガラス前部の外気取り入れ口が、雪や落ち葉などでふさがっているときは取り除いてください。外気が導入できないため、車内の換気が十分できなくなるおそれがあります。

## 指定燃料以外の燃料を補給したり、純正以外の燃料添加剤を使用しない

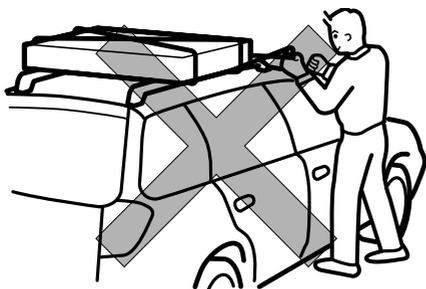
- 指定燃料以外の燃料を補給したり、純正以外の燃料添加剤を使用しないでください。  
→232ページ「燃料」  
有鉛ガソリンや粗悪ガソリン、軽油、高濃度アルコール含有燃料を補給すると次のような悪影響をおよぼします。
  - ・ エンジンや燃料系部品が損傷したり、最悪の場合車両火災につながるおそれがあります。
  - ・ エンジンの始動性が悪くなるおそれがあります。
  - ・ ノッキングが発生したり、エンジンの出力が低下するおそれがあります。
- バイオ燃料混合ガソリンをお使いになることもできます。  
→108ページ「燃料補給口」

## 燃料補給時の注意

- 必ずエンジンを止めてください。火災につながるおそれがあります。
- 燃料を補給するときは、必ず次の点を守ってください。身体に静電気を帯びたまま作業をすると、放電による火花で燃料に引火、爆発し重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・ 燃料補給作業は必ず一人で行ない、補給口に他の人を近づけないでください。
  - ・ 静電気を除去するため、フューエルキャップを開ける前には、車体または給油機などの金属部分に触れてください。
  - ・ 静電気の放電を防ぐため、フューエルキャップの開閉は必ずツマミ部分を持って行ってください。
  - ・ 再帯電を防ぐため、燃料を補給する人は給油中に車内のシートに座らないでください。
- 補給口にはタバコなどの火気を近づけないでください。火災につながるおそれがあります。
- 給油ノズルは確実に給油口へ差し込んでください。給油ノズルが確実に差し込まれていないと、オートストップの作動が遅れ、燃料が吹きこぼれるおそれがあります。
- 給油ノズルのオートストップ作動後は、追加給油しないでください。オートストップ作動後に追加給油すると、燃料があふれ出るおそれがあります。
- フューエルキャップを開けるときは、ゆっくりとゆるめ、空気の抜ける音が止まってから取りはずしてください。急に開けると、燃料が噴き出すことがあるため火災につながったり、目や皮膚に付着すると傷害につながるおそれがあります。

- フューエルキャップは、確実に閉めてください。キャップが確実に閉まっていないと、走行中に燃料がもれ、火災につながるおそれがあります。
- 純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。燃料装置や排出ガス発散抑止装置などの故障につながるおそれがあります。
- ドアや窓を必ず閉めて燃料を補給してください。火災になった場合、室内に燃え広がるおそれがあります。
- 気化した燃料を吸い込まないように注意してください。人体に有害な成分を含んでいる燃料があります。特にアレルギー体質の方は、注意してください。

## ルーフやルーフレールの上に直接荷物を積まない



ルーフやルーフレールの上に直接荷物を積まないでください。荷くずれを起こしたりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

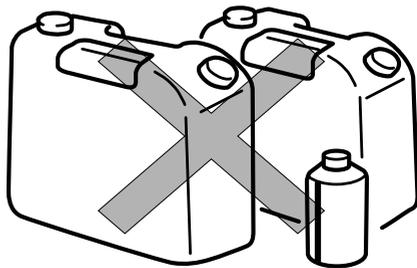
## 荷物を積むときは固定する



荷物を積むときは、そのまま置いたり積み重ねたりせず、確実に固定してください。走行中に荷物が移動したりくずれたりしてけがや思わぬ事故につながるおそれがあります。

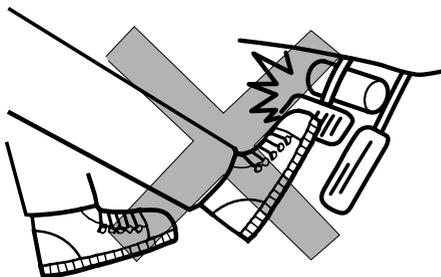
また、シート背もたれの高さを越えないようにしてください。後方、側面の視界が悪くなるため危険です。

## 可燃物、危険物は積まない



燃料のはいった容器やスプレー缶は積まないでください。爆発、火災につながるおそれがあり危険です。

## 運転席足元には物を置かない

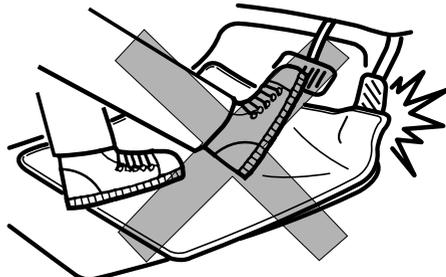


運転席足元にあき缶などの物を置かないでください。ブレーキペダルやアクセルペダルに物がはさまったりすると、ブレーキやアクセルペダルが正しく操作できなくなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 収納スペース使用時の注意

フタのついていない収納スペースに物を入れるときは、収納のしかたに注意してください。収納の状態により、急加速時に内部の物が飛び出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

## フロアマットは車に合ったものを使用する



車に合ったものを、フロアカーペットの上をしっかり固定して使用してください。フロアマットを敷くときは次の点を守ってください。フロアマットがすべったり、ブレーキペダルやアクセルペダルにフロアマットが引かかるなど、ペダル操作のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

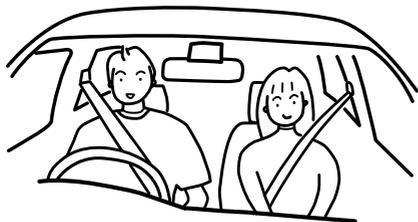
- 大きすぎるフロアマットは使用しない
- フロアマットは重ねて使用しない

## 正しい運転姿勢に調節する

走行前には、シート、ヘッドレスト、ハンドルの位置を正しい運転姿勢がとれるように調節してください。

→40ページ「正しい運転姿勢」

## シートベルトは全員着用する

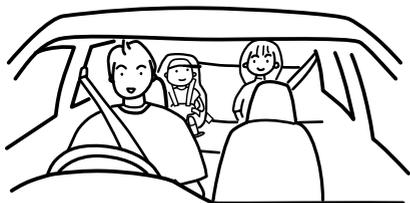


走行する前に運転者はもちろん同乗者にも必ずシートベルトを正しく着用させてください。シートベルトを着用していないと、急ブレーキ時や衝突時などに身体が拘束されないため車内の物に打ちつけられたり、車外に放りだされ、重大な傷害につながるおそれがあります。

→47ページ「正しい着用のしかた」

## お子さまを乗せるとき

### お子さまはリヤシートに乗せる

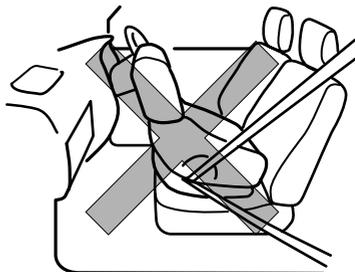


お子さまはリヤシートに乗せるほうが安全です。助手席に乗せるとお子さまの動作が気になったり、お子さまが運転装置などにさわって、運転のさまたげになることがあります。

### お子さまにもシートベルトを着用させる

- お子さまはできるだけリヤシートに座らせ、必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを抱いたり、ひざの上に乗せたりすると、急ブレーキ時や衝突時に十分に支えることができず、お子さまが投げ出されたり押しつぶされ、重大な傷害につながるおそれがあります。
- シートベルトが首や顔などに当たったり、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りのベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートをお使いください。ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートを使用しないと、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。
- お子さまがエアバッグの前に立っていたり、正しい姿勢で座っていなかったりすると、エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、お子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

### チャイルドシートは正しく取り付ける



## 警告ラベル



- エアバッグの作動可能な助手席には、後向き幼児拘束装置を絶対に使用しないでください。幼児が死亡したり、重傷を負う可能性があります。やむをえず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、必ず前向きに取り付け、シートを最後部まで移動させてください。

助手席エアバッグ装備車には図のような警告ラベルが貼付されています。この警告ラベルは、助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けてはいけないということを示しています。

- ベビーシート、チャイルドシートを取り付けたときは、確実に取り付けられていることを確認してください。取り付けかたは、それぞれの商品に付属している取扱説明書に従って取り付けてください。またチャイルドシート固定ロアアンカレッジで固定するタイプのチャイルドシートをお持ちのお客様は62ページの「ISOFIX対応チャイルドシート固定ロアアンカレッジ&トップテザーアンカレッジ」もあわせてお読みください。
- ISOはInternational Organization for Standardization (国際標準化機構) の略です。

## ドア、窓ガラスやシートなどの調節は大人が操作する

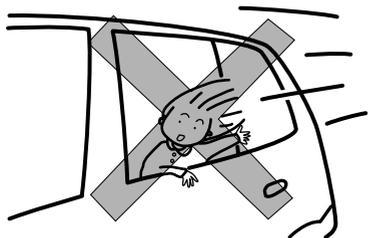


お子さまにはドア、窓ガラスの開閉をさせないでください。手、足、首などをはさんだりして重大な傷害につながるおそれがあります。

- パワーウィンドーロックスイッチはロックの位置にしてください。  
→105ページ「パワーウィンドー」
- ドアを閉めたあとは必ず施錠してください。
- チャイルドプルーフは施錠側にしておいてください。  
→101ページ「チャイルドプルーフ」
- アームレストを使用するときは注意してください。  
→43ページ「アームレスト (運転席のみ)」

## お子さまを乗せるとき

### 窓から手や顔を出させない



走行中はお子さまが窓から手や顔を出さないよう注意してください。車外の物に当たったり、急ブレーキを踏んだとき、重大な傷害につながるおそれがあります。

### 車から離れるときはお子さまも一緒に連れていく



車から離れるときはお子さまだけを車内に残さないでください。

- お子さまのいたずらにより、装置の作動、車の発進、火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 炎天下の車内はたいへん高温になり、お子さまが脱水症状を起こすおそれがあります。症状がひどくなると脳に障害が残ったり、最悪の場合死に至るなどお子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

## 走行中はエンジンを止めない

走行中にエンジンを止めると、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 坂道ではエンジンブレーキを使う

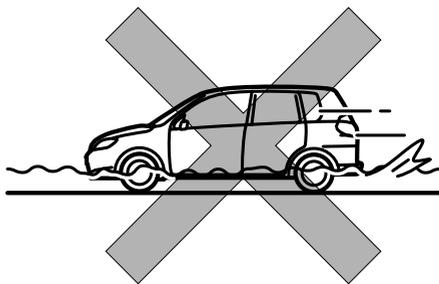
ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱し、効きが悪くなることがあります。下り坂ではフットブレーキとエンジンブレーキを併用してください。また、ぬれた路面や積雪路、凍結路では急激なエンジンブレーキの使用（シフトダウン）は避けてください。スリップするおそれがあります。エンジンブレーキとは、走行中アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力で低速ギヤほどよく効きます。

## すべりやすい路面では慎重に運転する



ぬれた路面や凍結路、積雪路などのすべりやすい路面では、急加速や急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキを避け、スピードをひかえめにして運転してください。ぬれた路面を高速で走行すると、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態（ハイドロプレーニング現象）になるおそれがあります。

## 冠水した道路を走行しない

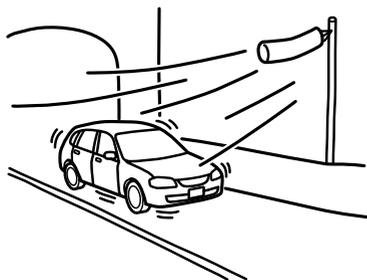


冠水した道路を走行しないでください。冠水した道路を走行すると、エンストするだけでなく、電気部品や電子部品のショート、水を吸い込んでのエンジン破損など、車両に悪影響をおよぼします。万一、水中に浸ってしまったときは、必ずマツダ販売店へご相談ください。

## 水たまり走行後や洗車後は ブレーキの効きを確認する

水たまりを走行したあとや洗車後は、ブレーキパッドがぬれているため、ブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方のブレーキだけが効いて、ハンドルをとられるおそれがあり危険です。ブレーキの効きが悪いときは、低速で走りながら、効きが回復するまでブレーキペダルを軽く数回踏んでブレーキを乾かしてください。

## 横風が強いときは慎重に 運転する



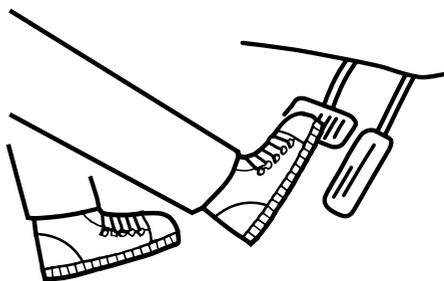
横風が強く、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に落としてください。トンネルの出口、橋の上、山を削った切り通しなどは特に横風が発生しやすいので注意してください。走行安定性を失い、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ブレーキペダルに足をの せたまま走行しない

ブレーキペダルに足をのせたまま走行しないでください。

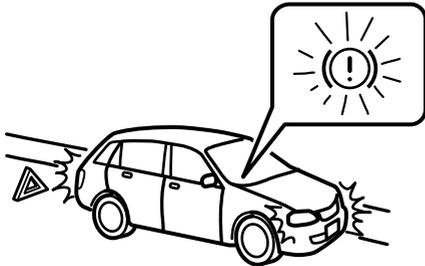
- ブレーキの部品が早く摩耗します。
- ブレーキが過熱し、効きが悪くなるおそれがあります。

## ブレーキ操作は右足で



- ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。慣れない左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなど、適切な操作ができないおそれがあります。
- アクセルペダルの操作でブレーキペダルに靴が接触することがないように、運転に適した靴で運転してください。

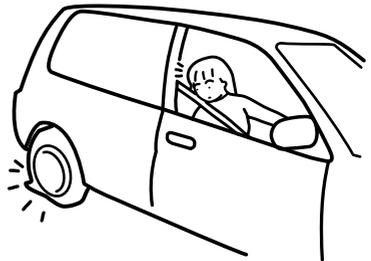
## 警告灯が点灯/ 点滅したら車を止める



走行中に警告灯が点灯/点滅したときは、ただちに安全な場所に停車し、適切な処置を行なってください。警告灯の点灯/点滅を無視して運転を続けるとエンジンなどを損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

→124ページ「警告灯、表示灯」

## パンクやバースト (破裂) してもあわてない



走行中タイヤがパンクやバースト (破裂) したときは、ハンドルをしっかり持ち、徐々にブレーキをかけスピードを落としてください。

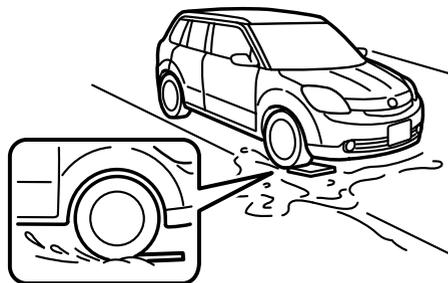
急ブレーキをかけるとハンドルをとられるおそれがあります。

次のようなときはパンクやバースト (破裂) が考えられます。

- ハンドルがとられるとき。
- 異常な振動があるとき。
- 車両が異常に傾いたとき。

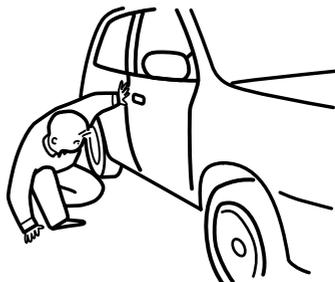
## スタックした状態から脱出するときは注意する

ぬかるみ、砂地、深雪路などで駆動輪が空転したり、埋まり込んで動けなくなることをスタックといいます。



- 周囲の安全を十分に確認してください。脱出直後に車両が突然動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤ前後の土や雪を取り除くが、タイヤの下に木や石をあてがい、セレクトレバーをDまたはRにいて、アクセルペダルを軽く踏みます。セレクトレバー操作中はアクセルペダルを踏まないでください。トランスミッションなどを損傷するおそれがあります。また、車両の周辺に人がいないことを確認してください。あてがった木や石が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。
- タイヤを高速で回転させないでください。タイヤがバースト（破裂）したり、異常過熱するため思わぬ事故につながるおそれがあります。
- アクセルを過度に空ぶかししたり、タイヤを空転させないでください。トランスミッションなどを損傷するおそれがあります。

## 床下に衝撃を受けたら下まわりを点検する



安全な場所に停車して、車の下にブレーキ液や燃料の漏れがないか、また各部に損傷がないか確認してください。

異常があったときは、マツダ販売店に連絡してください。

そのまま走行すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 異常を感じたときはマツダ販売店で点検を受ける

次のようなときは、車が故障しているおそれがあります。そのまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

マツダ販売店で点検を受けてください。

- 普段と違う音や臭い、振動がするとき。
- ハンドル操作に異常を感じる時。
- ブレーキ液が不足しているとき。
- 車の下に油のあとが残っているとき。

## オートマチック車の特性

150ページの「オートマチックトランスミッション」もあわせてお読みください。

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り替えを自動化した車で、その分操作の負担が軽くなります。運転は楽になりますが、安易に運転することは禁物です。

オートマチック車の特性を理解し、正しい操作をする習慣をつけてください。

### クリープ現象

エンジンがかかっているとき、セレクトレバーがP、N以外にはっていると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。この現象をクリープ現象といいます。

- 停車中は車が動かないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時は、エンジンの回転数が高くなりクリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかりと踏んでおいてください。
- 渋滞や狭い場所での移動は、クリープ現象を利用すると、アクセルペダルを踏まずにブレーキ操作のみで速度を調節できます。

### キックダウン

走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り替わり、急加速させることができます。

この操作をキックダウンといいます。

- 追い越しや高速道路での合流など、加速が必要なときに行ないます。
- すべりやすい路面やカーブを走行するときは、急激なアクセル操作はしないでください。

## エンジンをかける前に

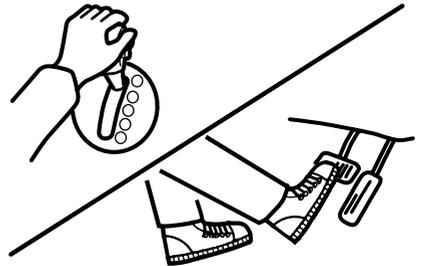
正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。

ペダルの踏み間違いのないように、ペダルの位置を確認しておいてください。

## エンジンをかけるときは

安全のため、セレクトレバーは駆動輪が固定されるPにいれ、ブレーキを効かせた状態でエンジンをかけてください。

## 発進するときは



- アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しないでください。車が急発進し思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジン始動直後やエアコン作動時は、エンジンの回転数が高くなり、クリープ現象が強くなります。
- マニュアル車では発進時の速度をクラッチ操作とアクセル操作を併用して調節しますが、オートマチック車ではアクセル操作のみで行ないますので、アクセル操作は慎重に行なってください。

# オートマチック車を運転するとき

## 走行するときは

- 走行中はセレクトレバーをNにいれないでください。トランスミッションの故障につながります。また、エンジンブレーキが全く効かないため思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路を走行しているときは、急激なエンジンブレーキの使用（シフトダウン）は避けてください。タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 停車するときは

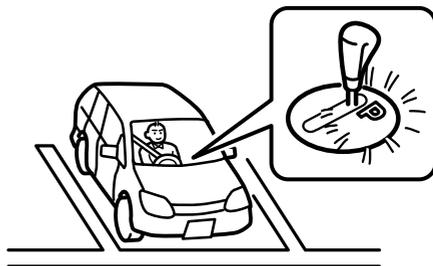
- 停車中、むやみにアクセルペダルを踏まないでください。セレクトレバーがP、N以外にはいつているとき、誤ってアクセルペダルを踏むと急発進するため思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 停車後、再発進するときはセレクトレバーの位置に思い違いがないよう確認してください。意に反して車が動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂でセレクトレバーを前進位置にいれ、アクセルをふかしながら停車しないでください。トランスミッションが過熱し、故障につながるおそれがあります。

## 後退するときは

- 後退時は身体を後ろにひねった姿勢になります。ブレーキペダルを確実に踏めるよう注意してください。
- 少し後退したときなどはセレクトレバーをRにいれたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとは、すぐにセレクトレバーをNにもどし、発進時にはセレクトレバーの位置を確認してください。

## 駐車するときは

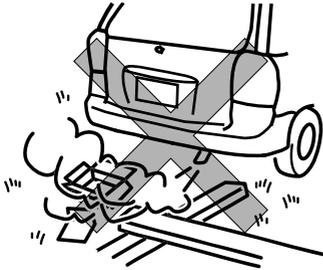
- 駐車するときは、セレクトレバーをPにいれ、パーキングブレーキをかけてください。パーキングブレーキをかけただけや、セレクトレバーをPにいれただけで駐車していると、車が勝手に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジンがかけたまま駐車しないでください。万一セレクトレバーがP以外にはいつている場合、クリープ現象で車が勝手に動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- セレクトレバーをPにいれるときは、車を完全に止めてから行なってください。車が完全に止まる前にセレクトレバーをPにいれると、トランスミッションに無理な力がかかり故障につながるおそれがあります。



## そのほかに気をつけること

坂道などで、セレクトレバーを前進位置に入れたまま後退したり、後退位置に入れたまま前進することは行わないで下さい。エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 燃えやすい物のそばに車を止めない



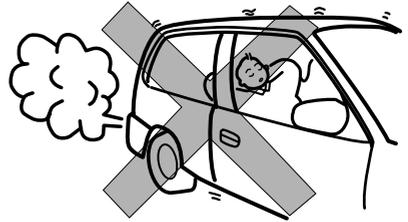
車を止める時には、次の点を守ってください。

- 走行したあとは排気管が高温になっているため、枯れ草など、燃えやすいものがそばにあると火災につながるおそれがあります。
- 壁やベニヤ板などが後方にある場合は、間隔を十分とってから停車してください。排気ガスにより変色、変形したり、そのまま放置しておくとも火災につながるおそれがあります。

## ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けると、パワーステアリング装置を損傷するおそれがあります。

## 仮眠するときはエンジンを止める



エンジンをかけたままで仮眠しないでください。無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込み車が発進したり、エンジンや排気管の異常過熱による火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

また、排気管が損傷していたり、換気の悪い場所では、知らない間に排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

→36ページ「一酸化炭素中毒に気をつける」

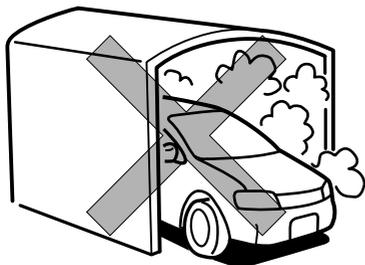
## 長時間停車するときは空調を外気導入にする

エンジンをかけたまま長時間停車するときは、空調を手動で外気導入にしてください。空調を内気循環にすると、車内の圧力が下がり排気ガスが入り易くなるため、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

→36ページ「一酸化炭素中毒に気をつける」

→158ページ「エアコンを上手に使用していただくために」

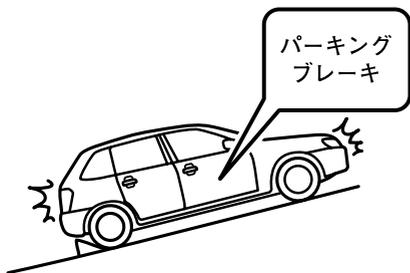
## 換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしない



換気の悪い場所ではエンジンをかけたままにしないでください。ガレージの中や積雪した場所、その他周囲が囲まれた換気の悪い場所では、排気ガスが行き場を失い車内へはいりやすくなるため、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

→36ページ「一酸化炭素中毒に気をつける」

## 坂道駐車はパーキングブレーキをしっかりとける



坂道での駐車は、パーキングブレーキをしっかりとかけ、セレクトレバーをPにいらしてください。

急な坂道ではさらに輪止めをしてください。輪止めをしないと車が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 車の移動はエンジンをかける

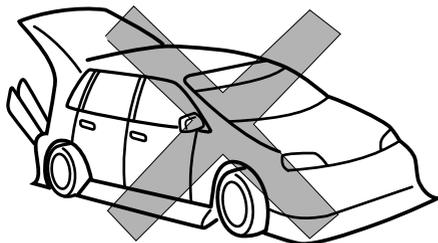
車を少し移動させるときでも、必ずエンジンをかけてください。下り坂などで傾斜を利用して移動させると、ハンドルがロックされたり、ブレーキの効きが悪いため思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 車から離れるときは必ずパーキングブレーキをかけ、施錠する



車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけエンジンを止め、ドアを施錠してください。また、盗難にあわないために、車内には貴重品を置かないでください。

## 違法改造はしない



車の性能や機能に適さない部品を装着したり、自分でエンジン調整や配線などをしないでください。故障や、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、国土交通省に届け出た部品以外を装着すると違法改造になることがあります。部品の装着をするときは、マツダ販売店にご相談ください。

## タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときはマツダ販売店に相談する

- ホイール、ホイールナットは純正品以外を装着しないでください。純正品以外のもので装着すると車の性能が十分に発揮できないばかりでなく、走行中にナットがゆるみホイールがはずれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、駆動系部品に悪影響をおよぼしたり、違法改造になることがあります。
- タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。また、駆動系部品に悪影響をあたえないために、次の点を守ってください。
  - ・ 前後輪とも指定された同一サイズ、同一種類のものを使用してください。特にスノータイヤなどの冬用タイヤを装着するときは注意してください。
  - ・ タイヤサイズは、運転席ドアに貼付されているラベルで確認してください。くわしくはマツダ販売店にご相談ください。
  - ・ 摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。
- タイヤはゴム製品のため、長期間使用すると徐々に劣化していきます。安全な走行状態を確保するために、使用開始後5～7年を目安にマツダ販売店で点検を受けてください。

## タイヤバルブキャップは純正品を使用する

タイヤバルブキャップは純正品以外を使用しないでください。純正品以外を使用するとバルブの損傷により、適正空気圧にならないおそれがあります。そのまま走行すると空気圧が低下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### ディスチャージヘッドランプバルブを交換するときは マツダ販売店に相談する

ディスチャージヘッドランプのバルブ・コネクター・電源回路・光軸（ヘッドランプの照らす方向）調整部分を分解したり、取りはずしたりしないでください。

ディスチャージヘッドランプは高電圧を使用しているため、取り扱いを誤ると感電するおそれがあります。ディスチャージヘッドランプの交換・修理をするときは、必ずマツダ販売店へご相談ください。

### 部品の取り付け、交換は マツダ販売店に相談する

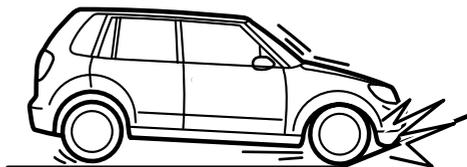
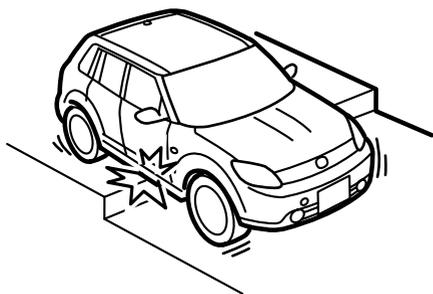
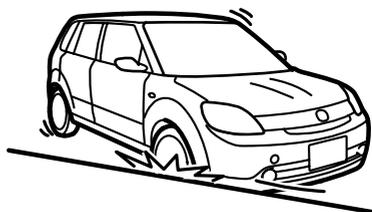
電話、無線、オーディオなど電気部品や電子部品を取り付けるときは、電子機器類に悪影響がでるおそれがありますので、マツダ販売店にご相談ください。

また、不適当な部品を取り付けたり、取り付け方法を誤ると、ブレーキ（ABS）、エアバッグの誤作動、エンジン不調、車両火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 路面などと車両との干渉に注意する

次のようなとき、バンパーやマフラーなど車体の下部を損傷するおそれがありますので、十分注意してください。

- 車止めのある場所への駐車
- 路肩に沿っての駐車
- 路肩など段差のある場所への乗り降り
- 駐車場など急な坂道への出入り
- 凸凹やわだちのある道路の走行



## SRSエアバッグシステム の注意

64ページの「SRSエアバッグシステム」をよくお読みください。

### お車に乗る前に

SRSエアバッグシステムはシートベルトの働きに加えて乗員を保護する装置であり、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。

### 用品の交換、取り付けなどについて

- ハンドルを交換しないでください。また、パッド部にステッカーなどを貼り付けたりしないでください。万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
- インstrumentパネル上部にステッカーを貼り付けたり、芳香剤、アクセサリ用品、手荷物などの物を置いたりしないでください。また、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。エアバッグが正常に作動しなくなったり、エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。

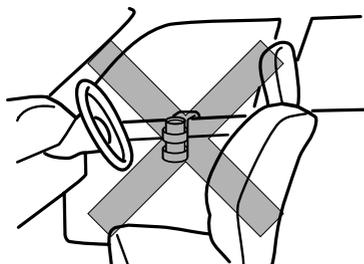
### サイドエアバッグについて

- フロントシート背もたれの外側部分に手、足、顔を近づけた姿勢で座らないでください。フロントシートに座ったときは、フロントドアにもたれかかったり、窓から腕を出したりしないでください。また、リヤシートに座ったときはフロントシートの背もたれを抱えないでください。サイドエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



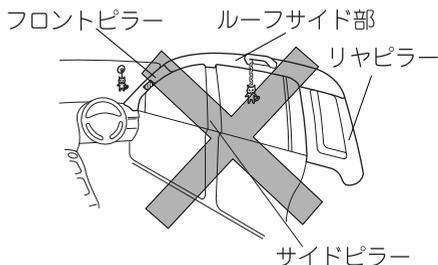
- フロントシートにシートカバーを使用するときは、この車専用のサイドエアバッグ対応純正品を使用してください。純正品以外のものを使用するとサイドエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。ご購入の際は、マツダ販売店にご相談ください。

- フロントドアやフロントシート付近にカップホルダーなどのアクセサリ用品を取り付けしないでください。サイドエアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



## カーテンエアバッグについて

- ドアにもたれかかったり、フロントピラー、リヤピラー、ルーフサイド部などに近づかないようにして座ってください。カーテンエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。
- フロント窓ガラス、リヤ窓ガラス、フロントピラー、サイドピラー、リヤピラー、ルーフサイド部、アシストグリップなどカーテンエアバッグ展開部周辺にアクセサリ、ハンズフリーマイクなどを取り付けたりしないでください。カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



- アシストグリップやコートフックなどには重たいものやとがったものをかけしないでください。服などをかけるときはハンガーを使わないでください。カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。

# こんなことにも注意

## メンテナンスについて

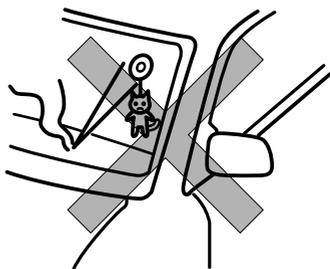
次のような作業が必要なときは、必ずマツダ販売店にご相談ください。これらの作業を行なうとエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

- SRSエアバッグの取りはずし、取り付け、分解、修理
- ハンドルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- インストルメントパネルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- フロントシートの交換、取りはずし、取り付け、分解、修理
- 車両前部または側部の修理
- フロントピラー、サイドピラー、リヤピラー、ルーフサイド部の修理
- オーディオなど用品の取りはずし、取り付け

## ナンバープレートは正しい位置に取り付ける

ナンバープレートを手勝手に取りはずしたり、位置を変えないでください。ナンバープレートは正しい位置に確実に取り付けることが義務付けられています。

## アクセサリーを取り付けない



窓ガラスやその周辺にアクセサリーを取り付けると、運転のさまたげになったり、吸盤がレンズの働きをして、火災が起こるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 一酸化炭素中毒に気をつける

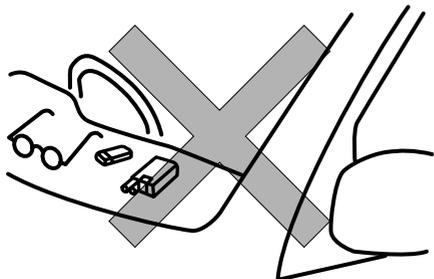
自動車から出る排気ガスには、一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素は、無色/無臭の有毒な気体です。体内に入ると、一酸化炭素中毒を起こします。

一酸化炭素中毒の初期症状は、目まい/吐き気/頭痛などの体調不良ですが、症状が進むと意識不明になって動けなくなります。また、症状によっては死亡に至ることがあります。

万一、排気管などに腐食や損傷があったり、排気音に異常を感じたときは、マツダ販売店で点検を受けてください。また、車内で排気ガスの臭いがしたときは、すべての窓を全開にするか、空調を手動で外気導入にして新鮮な外気をとり入れてください。

そのまま走行すると、排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

## ライターやメガネを車内に放置しない



炎天下に駐車するときは、車内にメガネやライターを放置しないでください。車内が高温になるため、ライターが爆発したり、プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが変形・ひび割れを起こすことがあります。

## エンジンルーム内のファンやベルトに気をつける

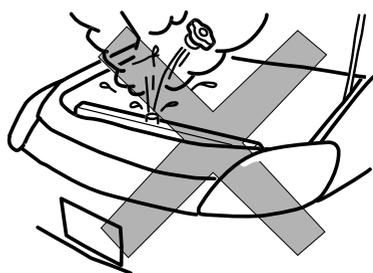


エンジンルーム内を点検するときは、ファンやベルトなどの回転部に触れないようにしてください。特に、エンジンルームが高温のときは、エンジンが止まってもファンが回転することがあるため、手や指などが巻き込まれるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

## エンジンルーム内に物を置き忘れない

エンジンルームの点検をしたときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ラジエーターが熱いときはキャップをはずさない



エンジンが十分に冷えるまではラジエーターとリザーバータンクのキャップを開けないでください。エンジンが熱いときにキャップをはずすと、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

## バッテリーの取り扱いに気をつける

正しく安全にバッテリーを取り扱うために、バッテリー使用前または点検前には必ず次の注意事項をお読みください。

- バッテリーを取り扱うときは必ず保護メガネを着用してください。バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目に入ると失明など重大な傷害につながるおそれがあります。また、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。

## こんなことにも注意

- バッテリーを取り扱うときはバッテリー液をこぼさないでください。  
バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。万一付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、応急処置が済んだら、医師の診察を受けてください。
- バッテリーの近くでお子さまを遊ばせないでください。  
バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。
- バッテリーを取り扱うときは、絶対に火気を近づけないでください。  
バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。火気の発生を防ぐため、+ 端子や- 端子に工具などの金属部分が触れないようにしてください。また、ブースターケーブルの接続、取りはずしの際は、+ 端子がボディーや- 端子に触れないように十分注意してください。
- 換気の悪い場所では、バッテリーの充電を行なわないでください。  
バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。

## 発進時には安全を十分確認する

発進時は周囲の状況に十分注意してください。

- 信号待ちなどで停車したときや、駐車後に発進するときは、周囲の安全を十分確認してから発進してください。
- 後退するときに十分な視界を得られないときは、車から降りて後方の安全を確認してください。

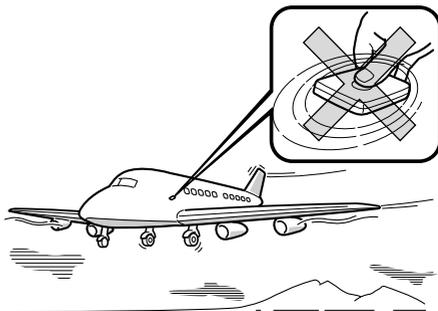
## 運転中は携帯電話を使用しない



運転しながらハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 航空機内ではアドバンストキーを操作しない

航空機内ではアドバンストキーを操作しないでください。アドバンストキーを航空機内へ持ち込むことは可能ですが、操作すると航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。また、かばんやポケットなどで保管する場合は、アドバンストキーのスイッチが容易に押されないように注意して下さい。



## 2 安全装備

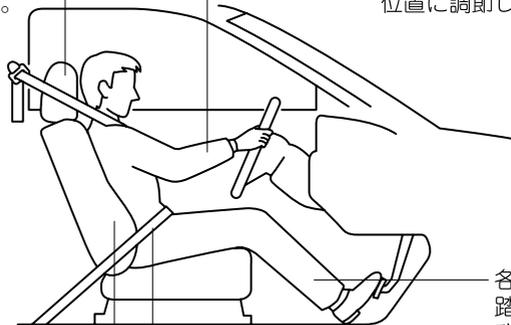
<b>シート</b>	<b>40</b>
正しい運転姿勢 .....	40
フロントシート .....	42
リヤシート .....	44
ヘッドレスト .....	45
<b>シートベルト</b>	<b>47</b>
正しい着用のしかた .....	47
3点式シートベルト .....	50
<b>お子さまの安全</b>	<b>55</b>
お子さま専用シートについて .....	55
チャイルドシートを固定するとき .....	62
<b>SRSエアバッグシステム</b>	<b>64</b>
SRSエアバッグシステムについて .....	64
<b>ABS</b>	<b>75</b>
ABSについて .....	75
<b>トラクションコントロールシステム (TCS)</b>	<b>77</b>
TCSについて .....	77
<b>ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC)</b>	<b>78</b>
DSCについて .....	78

## 正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節してください。

ヘッドレストの中央が、  
耳の上部と同じ高さにな  
るように調整します。

ひじがわずかに曲がり、  
ハンドル操作が楽にでき  
る位置に調節します。



シートに深く腰かけた  
ときに、背もたれと背中が  
離れない位置に調節します。

シートベルトが正しく  
着用できる位置に  
調節します。

各ペダルを  
踏み込んだときに、  
ひざがわずかに  
曲がる位置に  
調節します。



### 警告

■ シート各部の調節は、必ず走行前に行なってください。

走行中に行なうと、運転姿勢が不安定になったり、前方不注意になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 背もたれと背中の中にクッションなどを入れないでください。

正しい運転姿勢が取れないばかりか、衝突時にシートベルトなど拘束装置の効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ 背もたれは必要以上に倒さないでください。

急ブレーキ時や衝突時に、体がシートベルトの下に滑り込み、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ シートの下に物を置かないでください。

物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



## 注意

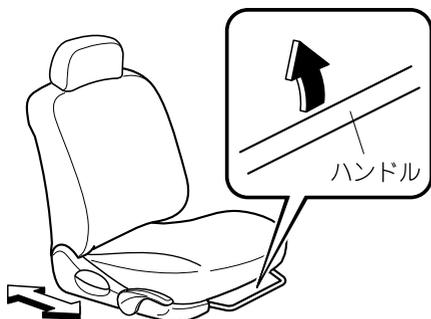
シートを調整する際は、調整する人やまわりの人が手や足などをはさまれないように注意してください。

## フロントシート

### 警告

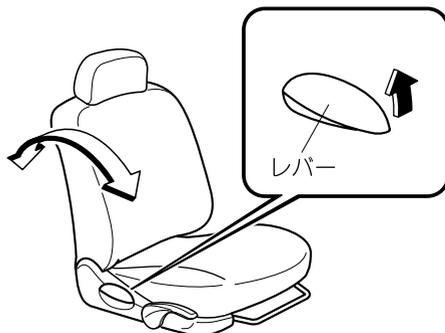
■ 操作後は確実にロックされていることを確認してください。  
走行中シートが不意に動くと言転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 前後調節 (スライディング)



調節後はシートを前後に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。

### 角度調節 (リクライニング)

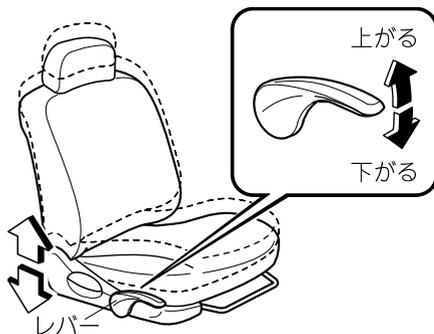


調節後は背もたれを前後に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。

### 注意

後ろに倒した背もたれをもともどすときは、必ず背もたれを押さえながら操作してください。背もたれを押さえずに操作すると、背もたれが急にもどり、けがをするおそれがあります。

### 高さ調節 (運転席のみ)



## アームレスト (運転席のみ)

### 使用するとき



### 警告

■ シートベルトはアームレストの下を通して使用してください。上に通していると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

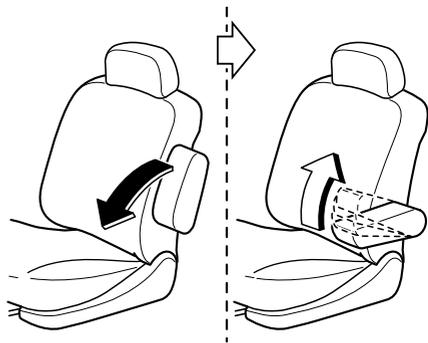
■ アームレストの取り付け部周辺に、手や指を置かないでください。

シートとアームレストの間に手や指がはさまり、けがをするおそれがあります。

### 角度調節するとき

シート背もたれの角度に合わせて、アームレストの角度を調節することができます。

調節するときはいちばん下の位置にして、お好みの位置まで引き上げロックさせます。もう一度調節したいときは、アームレストをいったん格納してから、再度いちばん下の位置にします。



調節後はアームレストを軽く下に押し、確実にロックされていることを確認してください。

### 知識

アームレストをロックさせると、下に動かすことができません。もう一度調節したいときは、アームレストをいったん格納してから、再度いちばん下の位置にしてください。

## リヤシート

### 警告

操作後は確実にロックされていることを確認してください。走行中シートが不意に動く姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 荷室を作るとき

リヤシートの背もたれを倒すと荷室として広げることができます。

### 警告

■ 倒した背もたれの上や荷室内に人を乗せて、走行しないでください。

シートベルトが着用できないため、急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。

■ 背もたれを倒して荷物を運ぶときは、荷物を確実に固定してください。

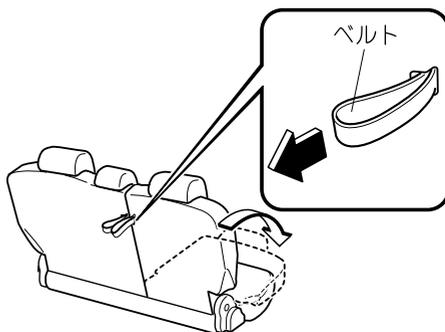
固定しないで走行すると、急ブレーキ時や衝突時に荷物が動き運転操作のさまたげになるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 背もたれを折りたたむとき

① フレキシブルボードを下の位置にします。

→171ページ「フレキシブルボード」

② ベルトを引いて背もたれを前に倒しません。



### もとにもどすとき

背もたれを後ろに押しつけロックさせます。

背もたれをもとの位置にもどした後は、背もたれを前後に軽くゆさぶって、確実にロックされていることを確認してください。

## ヘッドレスト

すべてのシートには、ヘッドレストが装備されています。

ヘッドレストは、万一のときに、むち打ち症や他のけがから乗員を保護します。

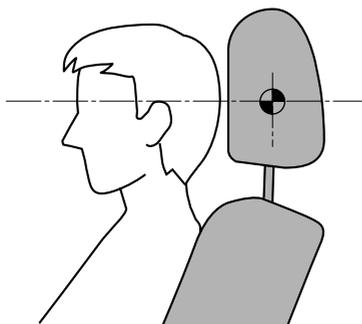
### 警告

- ヘッドレストの高さを調整しないままで走行しないでください。また、全ての後席のヘッドレストは引き上げた状態で使用してください。

高さを調整しないまま走行すると、急ブレーキ時や衝突時、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

### 調節するとき

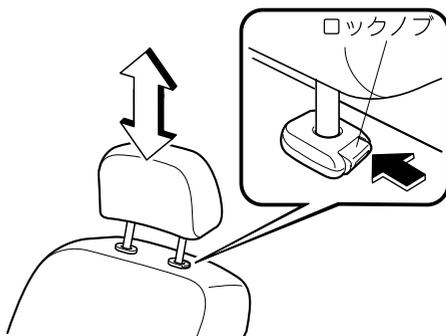
ヘッドレストの中央が、耳の上部と同じ高さになるように調整してください。



### フロントシート

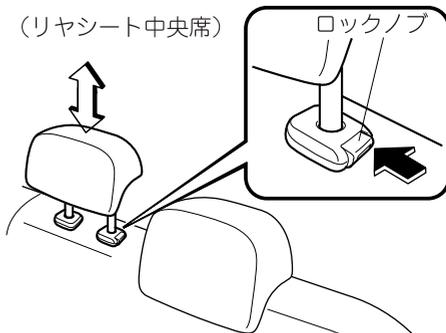
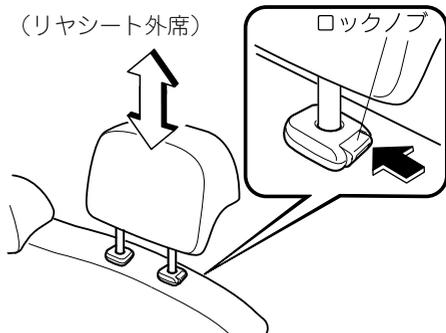
- 高くするとき  
そのまま引き上げます。

- 低くするとき  
ロックノブを押したまま下げます。



### リヤシート

- 使用するとき  
ロック位置まで引き上げます。
- 使用しないとき  
ロックノブを押したまま下げます。



### 脱着するとき

- ヘッドレストを取り外すとき  
ロックノブを押しながら引き上げます。
- ヘッドレストを取り付けるとき  
ロックノブを押しながら差し込みます。



### 警告

- **ヘッドレストをはずした状態で走行しないでください。**

取り外した状態のまま走行すると、急ブレーキ時や衝突時、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

- **取り付けた後は、ヘッドレストが抜け出さないことを確認するため、持ち上げてください。**

ヘッドレストが抜け出すと万一の場合、効果を発揮できず、思わぬけがをするおそれがあります。



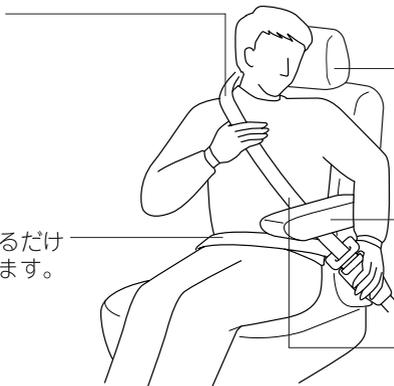
### 注意

- ヘッドレストを取り付けるときは、ヘッドレストの前後の向きを間違えないようにしてください。前後の向きをまちがえて取り付けると、衝突時などにヘッドレストの効果が十分に発揮できず、けがをするおそれがあります。
- フロントシート・リヤシートそれぞれのヘッドレストは、各シート専用です。他のシートのヘッドレストと入れ替えないでください。入れ替えると、衝突時などにヘッドレストの効果が十分に発揮できず、けがをするおそれがあります。

## 正しい着用のしかた

車を運転する前に必ず着用し、同乗者にも必ず着用させてください。

ベルトが首、あご、顔などにあたらず、肩に十分かかるようにします。



上体を起こし、シートに深く腰かけます。

ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に密着させます。

ベルトがアームレストの下を通っているか確認します。

ベルトにねじれがないか確認します。

### 警告

#### 着用について

■ シートベルトは全員が着用してください。

着用しないと、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ シートベルトは成人サイズの方の乗員による着用を目的としています。

お子さまを乗せる際は、必ずお子さま専用シートを使用してください。

■ 1つのシートベルトを同時に2人以上で使用しないでください。

2人以上で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ シートベルトの改造や交換をしないでください。また、クリップなどでシートベルトにたるみをつけないでください。

万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ ベルトがねじれた状態で使用しないでください。

ねじれがあると、万一の場合衝撃力が分散できず局部的に強い力を受けるため、重大な傷害につながるおそれがあります。

 **警告**

■ 3点式シートベルトを腕の下に通して着用しないでください。

ベルトが肩に十分かかっていないと急ブレーキ時や衝突時に、身体が前方に投げ出され、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ 背もたれは必要以上に倒さないでください。

急ブレーキ時や衝突時に、身体がシートベルトの下に滑り込み、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ シートベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させてください。

シートベルトが腰骨からずれていると、急ブレーキ時や衝突時に、腹部に強い圧迫を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ 妊娠中の女性や疾患のあるかたもシートベルトを着用してください。

ただし、急ブレーキ時や衝突時、局部的に強い力を受けるおそれがあるため医師に相談し、注意事項を確認してください。腰ベルトは腹部を避けて腰骨のできるだけ低い位置に密着させてください。また、肩ベルトは肩に十分かかるようにし、腹部を避けて胸部に密着させてください。



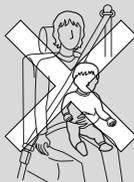
■ シートベルトのバックルの中に異物を入れないでください。

異物が入るとプレートがバックルに完全にはまらず、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さまを乗せるときは

■ お子さまはできるだけリヤシートに座らせ、必ずシートベルトを着用させてください。

お子さまを抱いたり、ひざの上に乗せたりすると、急ブレーキ時や衝突時に十分に支えることができず、お子さまが投げ出されたり押しつぶされ、重大な傷害につながるおそれがあります。



## ⚠ 警告

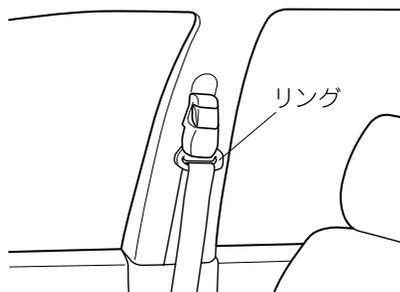
- シートベルトが首や顔などに当たったり、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りのベビーシート、チャイルドシートをお使いください。  
ベビーシート、チャイルドシートを使用しないと、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

### メンテナンスについて

- シートベルトにほつれ、すりきずなどの異常があるときは、マツダ販売店で交換してください。  
そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。
- シートベルトの汚れを取るときは、中性洗剤を使用してください。  
有機溶剤を使用したり、染色、漂白するとベルトの強度が低下し、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。
- シートベルトを掃除するときは、絶対に分解しないでください。  
分解すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 事故などにあったときは、衝撃でシートベルト本来の機能が損なわれているおそれがありますので、必ずマツダ販売店で交換してください。  
そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

## ⚠ 注意

シートベルトやリングが汚れると、ベルトの巻き取りが悪くなるので汚れを取ってください。



## 3点式シートベルト

### シートベルト警告灯



#### 点灯するとき

電源ポジションがONのとき、運転席シートベルトを着用していないと点灯します。運転席シートベルトを着用すると消灯します。

#### 点滅するとき

運転席シートベルトを着用しないまま約20km/h以上になると点滅します。その後も着用しないままだと点灯しつづけます。運転席シートベルトを着用すると消灯します。

→47ページ「正しい着用のしかた」

### シートベルト着用忘れチャイム

運転席シートベルトを着用していないまま、車速が約20km/h以上になるとしばらくの間チャイムが鳴ります。(鳴り始めると、車速を落としても鳴り続けます。)

運転席シートベルトを着用すると鳴り止みます。

## 着用するとき

- 1 プレートを持って、ベルトをゆっくり引き出します。



- 2 ベルトを素早く引き出し、ロックされることを確認してください。

### 知識

ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを巻き取らせてからゆっくり引き出してください。それでも引き出せないときは、一度ベルトを強く引っ張ってからベルトをゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

- 3 ベルトにねじれがないかを確認してから、プレートをバックルにカチッと音がするまで差し込みます。

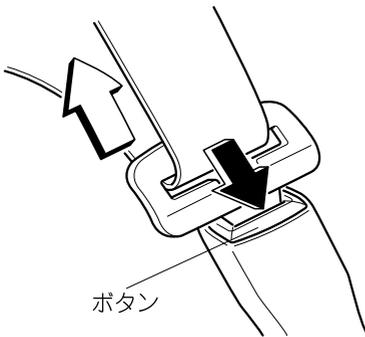


- 4 ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ、たるみが無いようにベルトを引いて身体に密着させます。



### はずすとき

はずすときはバックルのボタンを押します。ベルトにねじれがないかを確認しながら、ゆっくりと巻き取らせます。



### ELR (緊急時固定機構) 付 シートベルト

3点式シートベルトにはELR (緊急時固定機構) が装備されています。シートベルトは身体の動きにあわせて伸縮しますが、強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

### プリテンショナー付シートベルト

フロントシートベルトには、プリテンショナー機構が装備されています。車両前方から強い衝撃を受けると、シートベルトを引き込み、シートベルトの効果をより高める装置です。

### 警告

- シートベルトは正しく着用してください。

正しく着用していないと、プリテンショナー機構の効果が十分に発揮できないため、万一の場合重大な傷害につながるおそれがあります。

- プリテンショナー機構の部品や配線を修理したり、電気テスターを使ってプリテンショナー機構の回路診断をしないでください。

正常に作動しなくなったり誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

- プリテンショナー機構が装備された車を廃車される場合は、必ずマツダ販売店にご相談ください。プリテンショナー機構が不意に作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

### 知識

- プリテンショナー機構は、車両前方から強い衝撃を受けたとき作動しますが、衝撃が弱いと作動しません。
- プリテンショナー機構の作動により、白煙が見えることがあります。火災ではありません。また、人体への影響はありません。ただし、皮膚などの弱い方はまれに刺激を受けることがあります。プリテンショナー機構作動時の残留物(カス)が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く洗い流してください。
- プリテンショナー機構は一度作動すると、2回目以降の衝突では作動しません。
- プリテンショナー付シートベルトは、一度作動すると再使用できません。事故などにあったときは、必ずマツダ販売店で点検を受け、作動済みのときは交換してください。

### エアバッグ警告灯/ プリテンショナー警告灯



#### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
  - ・ 電源ポジションをONにしても点灯しないとき。
  - ・ 点灯し続けるとき。

#### 点滅するとき

点滅し続けるときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

### 警告

- エアバッグ警告灯/プリテンショナー警告灯が点灯または点滅したまま走行しないでください。

衝突したときにエアバッグまたはプリテンショナー機構が正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。

## ロードリミッター付シートベルト

ロードリミッターは、車両前方から強い衝撃を受けたときなど、シートベルトに一定以上の荷重がかからないように作動する装置です。

運転席/助手席シートベルトにかかる荷重を規定値に保つことで、乗員の胸に加わる力を減少させます。

### 警告

■シートベルトは正しく着用してください。

正しく着用していないと、ロードリミッターの効果が十分に発揮できないため、万一の場合重大な傷害につながるおそれがあります。

### 知識

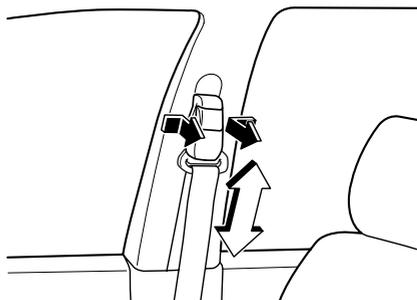
ロードリミッター付シートベルトは、一度作動すると再使用できません。事故などにあったときは、必ずマツダ販売店で点検を受け、作動済みのときは交換してください。

## シートベルトアンカーアジャスター

フロントシートベルトにはシートベルトアンカーアジャスターがついています。

シートベルトが首にあたり、肩からはずれてしまうときには、ベルトの高さを調節してください。

- 1 高くするときは、そのまま上に動かします。低くするときはノブを引いたまま下げます。
- 2 調節したあとは、シートベルトアンカーアジャスターを下方に押し、確実にロックされていることを確認してください。



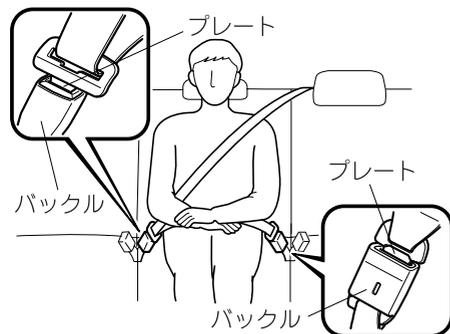
### 警告

■シートベルトは肩の中央に確実にかけてください。

肩からはずれていると、万一の場合、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

### リヤシート中央席シートベルト

リヤシート中央席シートベルトを使用する前に、プレートがバックルにきちんと差し込まれているか確認してください。



リヤシート中央席シートベルトの着用については、50ページの「着用するとき」をお読みください。



### 警告

片方のプレートだけ差し込まれている状態で使用しないでください。シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。常に両方のプレートとバックルが適切に差し込まれていることを確認してください。

## お子さま専用シートについて

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、お子さま専用シートをお使いください。

車両に固定するお子さま専用シートには、シートベルト固定タイプ、またはISOFIX対応タイプの2種類があります。

シートベルト固定タイプのベビーシート、チャイルドシートは、リヤシートのシートベルトを使用してシートに固定します。

またISOFIX対応タイプのチャイルドシートは、リヤシート左右席に装備されているロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジで固定します。

お子さま専用シートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。必ずお子さま専用シートに付属の取扱説明書をよくお読みのうえ、確実に取り付け、使用方法を守ってください。

### 警告

- お子さまの首や顔などにシートベルトがあたったり、腰骨に正しく着用できない場合は、お子さまの年齢や体の大きさに合ったお子さま専用シートをお使いください。

お子さま専用シートを使用しないと、急ブレーキ時や衝突時にお子さまが投げ出されたり押しつぶされ、重大な傷害につながるおそれがあります。

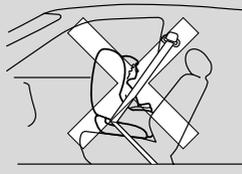
- お子さま専用シートを取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。

正しく取り付けられていないと、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

- 助手席には絶対にベビーシートやチャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。

エアバッグの作動可能な助手席には、後向き幼児拘束装置を絶対に使用しないでください。幼児が死亡したり、重傷を負う可能性があります。やむをえず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、必ず前向きに取り付け、シートを最後部まで移動させてください。

助手席エアバッグ装備車には図のような警告ラベルが貼付されています。この警告ラベルは、助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けてはいけないことを示しています。



警告ラベル



## 2.安全装備 お子さまの安全

### 知識

ISOはInternational Organization for Standardization (国際標準化機構) の略です。

### お子さま専用シートの種類

UNECE 44 法規に適合するお子さま専用シートは、お子さまの体重によって次の5種類に分類されます。

### 知識

- UNECE はUnited Nations Economic Commission for Europe (国連欧州経済委員会) の略です。
- UNECE 44法規は、お子さま専用シートに関する国連法規です。

グループ	体重
0	10kgまで
0+	13kgまで
I	9~18kg
II	15~25kg
III	22~36kg

本書では、シートベルト固定タイプの一般的なお子さま専用シート3種類について説明します。

次のイラストは取り付け例です。取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。

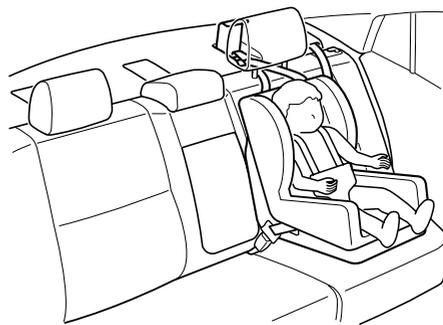
### ベビーシート

UNECE 44法規のグループ0、0+ に相当



### チャイルドシート

UNECE 44 法規のグループIに相当



---

ジュニアシート  
UNECE 44 法規のグループII、IIIに相当



### シート位置別お子さま専用シート選択の目安

お子さま専用シートは次の表を目安に選択してください。

詳しくはお子さま専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。



#### 警告

■ お子さま専用シートを取り付けるときは、必ず選択の目安表を確認してください。

誤った取り付けをすると正しく固定されず、急ブレーキや衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

シート位置別お子さま専用シート選択の目安 (ISOFIX対応タイプ)

質量グループ	サイズ等級	器具	車両ISOFIX位置
			リヤシート (外席)
キャリコット	F	ISO/L1	X
	G	ISO/L2	X
		(1)	X
0 (10kgまで)	E	ISO/R1	IL
		(1)	X
0+ (13kgまで)	E	ISO/R1	IL
	D	ISO/R2	IL
	C*	ISO/R3	IL
		(1)	X
I (9~18kgまで)	D	ISO/R2	IL
	C*	ISO/R3	IL
	B	ISO/F2	IUF
	B1	ISO/F2X	IUF
	A	ISO/F3	IUF
		(1)	X

## 2.安全装備 お子さまの安全

質量グループ	サイズ等級	器具	車両ISOFIX位置
			リヤシート (外席)
II (15～25kgまで)		(1)	X
III (22～36kgまで)		(1)	X

上表の記号について:

(1) サイズ等級識別表示 (A～G) のないお子さま専用シートについては、お子さま専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

IUF=この質量グループでの使用を認可された「汎用」カテゴリ前向きISOFIXチャイルドシートに適しています。

IL=「特定車両」、「限定」または「準汎用」カテゴリのお子さま専用シートに適しています。対応するお子さま専用シートについてはマツダ販売店にご相談ください。

X=お子さま専用シートを取り付けることはできません。

- \* サイズ等級C (ISO/R3) のお子さま専用シートを取り付けるときは、お子さま専用シートとフロントシートが干渉しないようにフロントシートを中間位置より前にスライドさせてください。

## シート位置別お子さま専用シート選択の目安(シートベルト固定タイプ)

質量グループ	着座位置(または他の場所)		
	助手席	リヤシート (外席)	リヤシート (中央席)
0 (10kgまで)	X	U	L
0+ (13kgまで)	X	U	L
I (9から18kgまで)	UF	U	X
II (15から25kgまで)	UF	U	L
III (22から36kgまで)	UF	U	L

上表の記号について:

U=この質量グループでの使用を認可された「汎用」カテゴリーのお子さま専用シートに適しています。

UF=この質量グループでの使用を認可された前向き「汎用」カテゴリーのお子さま専用シートに適しています。

L=この質量グループに対応しているお子さま専用シートについてはマツダ販売店にご相談ください。

X=お子さま専用シートを取り付けることはできません。

## チャイルドシートを固定するとき

### ISOFIX対応チャイルドシート 固定ロアアンカレッジ&トッ プテザーアンカレッジ

リヤシートの左右席には、チャイルドシートを固定するためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジが装備されています。

この固定ロアアンカレッジには、道路運送車両の保安基準に適合したチャイルドシート(チャイルドシート固定ロアアンカレッジ)のみを取り付けることができます。詳しくは、マツダ販売店にご相談ください。

#### 警告

■チャイルドシートを取り付けるときは、固定ロアアンカレッジ周辺に異物がないこと、シートベルトなどをはさみこんでいないことなどを確認してください。

異物やシートベルトなどをはさみこむとチャイルドシートが固定されず、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

#### 知識

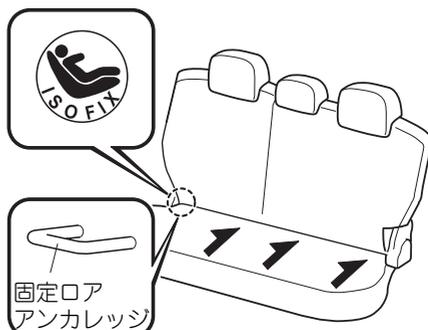
- チャイルドシートを取り付けるときおよび取りはずすときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。
- チャイルドシート固定ロアアンカレッジ対応の純正チャイルドシートはチャイルドシート固定ロアアンカレッジで固定し、この車のシートベルトでは固定しないでください。

## 固定するとき

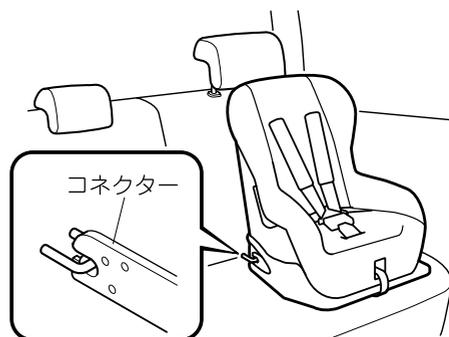
- 1 チャイルドシートとフロントシートが干渉しないようにフロントシートを調節します。  
→42ページ「前後調節(スライディング)」

フロントシートが確実に固定されていることを確認してください。

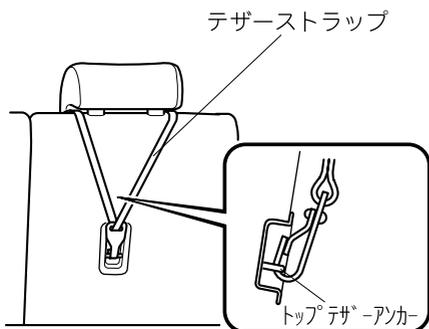
- 2 リヤシートが確実に固定されていることを確認してください。
- 3 シートクッションと背もたれのすき間を少し広げて、固定ロアアンカレッジの位置を確認します。



- 4 ヘッドレストを引き上げます。
- 5 チャイルドシートのコネクターを固定ロアアンカレッジに取り付けます。



- 6 チャイルドシートのテザーストラップを下記イラストのように通して、トップテザーアンカレッジにかけます。



- 7 テザーストラップがたるまないように調節します。

### 知識

テザーストラップを取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。

- 8 チャイルドシートを前後左右にゆさぶり、確実に取り付けられていることを確認します。

### 警告

■ トップテザーアンカレッジは、チャイルドシートを固定するため以外のことには使用しないでください。

チャイルドシートの固定以外のことを使用すると、アンカレッジ部が曲がったり、損傷したりして、テザーストラップが正しくかけられなくなりチャイルドシートが固定されません。

急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

## SRSエアバッグシステムについて

SRSとはSupplemental Restraint System (サプルメンタルレストレイントシステム) の略で、補助乗員保護装置の意味です。

エアバッグは、電源ポジションがONのとき車両前方または側方から強い衝撃を受けると瞬間的に膨らみ、運転者および同乗者の頭部や胸部などへの衝撃をやわらげます。

SRSエアバッグシステムはシートベルトの働きに加えて乗員を保護する装置であり、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。



### 警告

#### お車に乗る前に

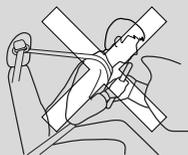
■ 運転者はもちろん、同乗者も必ずシートベルトを着用してください。

SRSエアバッグシステムはシートベルトと併用することで効果を発揮します。シートベルトを着用していないと、重大な傷害につながるおそれがあります。

#### シートに座ったときは

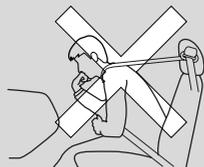
■ ハンドル中央部に手を置いたり、顔や身体を近づけたりしないでください。

エアバッグが作動したときに、強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。



■ シートの前端に座ったり、インストルメントパネルにもたれかかったり、手や顔を近づけないでください。

エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。



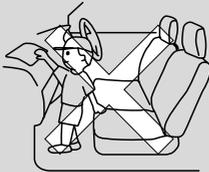
#### お子さまを乗せるときは

■ お子さまはできるだけリヤシートに座らせ必ずシートベルトを着用させてください。

シートベルトが首や顔などに当たったり、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りのベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートをお使いください。

## 警告

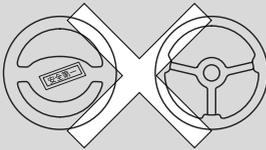
お子さまがエアバッグの前に立っていたり、正しい姿勢で座っていなかったりすると、エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、お子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。



### こんなことにも注意

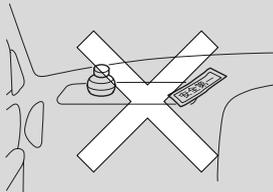
■ ハンドルを交換しないでください。

また、パッド部にステッカーなどを貼り付けたりしないでください。万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



■ インstrumentパネル上部にステッカーを貼り付けたり、芳香剤、アクセサリ用品、手荷物などの物を置いたりしないでください。

また、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。エアバッグが正常に作動しなくなったり、エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



■ 車両前部にグリルガードなどを装着しないでください。

SRSエアバッグシステムに影響をおよぼすため、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



■ **サスペンションの改造をしないでください。**

車高やサスペンションの硬さが変わると、衝撃を正しく検知できないため、エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ **SRSエアバッグシステムの部品や配線を修理したり、電気テスターを使って、SRSエアバッグシステムの回路診断をしないでください。**

正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

### メンテナンスについて

■ **事故後は必ずマツダ販売店で点検を受けてください。**

エアバッグが作動しない程度の事故であっても、事故の衝撃でシステム本来の機能を損なっているおそれがあるため、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ **次のような作業が必要なときは、必ずマツダ販売店にご相談ください。**

これらの作業を行なうとエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

- SRSエアバッグの取りはずし、取り付け、分解、修理
- ハンドルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- インストルメントパネルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- フロントシートの交換、取りはずし、取り付け、分解、修理
- 車両前部または側部の修理
- フロントピラー、サイドピラー、リヤピラー、ルーフサイド部の修理
- オーディオなど用品の取りはずし、取り付け

■ **車を廃車される場合は、必ずマツダ販売店にご相談ください。**

不意にエアバッグが作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

## 警告

### サイドエアバッグについて

■ フロントシート背もたれの外側部分に手、足、顔を近づけた姿勢で座らないでください。

フロントシートに座ったときは、フロントドアにもたれかかったり、窓から腕を出したりしないでください。また、リヤシートに座ったときはフロントシートの背もたれを抱えないでください。サイドエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



■ フロントシートにシートカバーを使用するときは、この車専用のサイドエアバッグ対応純正品を使用してください。

純正品以外のものを使用するとサイドエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。ご購入の際は、マツダ販売店にご相談ください。

■ フロントドアやフロントシート付近にカップホルダーなどのアクセサリ用品を取り付けしないでください。

サイドエアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ フロントシートの下に荷物などを置かないでください。

フロントシートの下部にあるサイドエアバッグの配線が損傷し、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

### カーテンエアバッグについて

■ ドアにもたれかかったり、フロントピラー、リヤピラー、ルーフサイド部などに近づかないようにして座ってください。

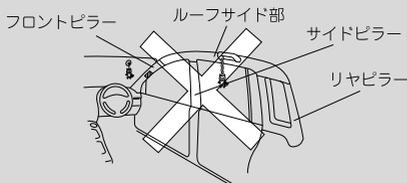
カーテンエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



## 警告

- フロント窓ガラス、リヤ窓ガラス、フロントピラー、サイドピラー、リヤピラー、ルーフサイド部、アシストグリップなどカーテンエアバッグ展開部周辺にアクセサリー、ハンズフリーマイクなどを取り付けたりしないでください。

カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



- アシストグリップやコートフックなどには重たいものやとがったものをかけないでください。

服などをかけるときはハンガーを使わないでください。カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。

## 注意

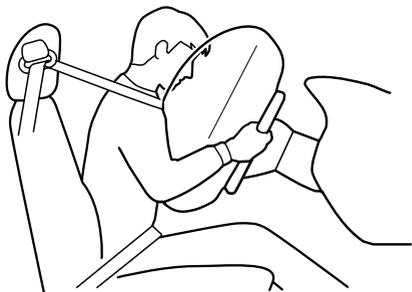
- エアバッグが作動した直後は、しばらくの間エアバッグ取り付け部をさわらないでください。エアバッグが作動すると高温になるため、やけどをするおそれがあります。
- ドアを閉じるときは窓ガラスが割れるほど強く閉めないでください。サイド/カーテンエアバッグが作動するおそれがあります。

## 知識

- エアバッグは瞬時に膨らむため、エアバッグとの接触により打撲やすり傷など、けがをするおそれがあります。
- エアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響はありません。ただし、皮膚などの弱い方はまれに刺激を受けることがあります。エアバッグ作動時の残留物(カス)が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く洗い流してください。
- エアバッグは一度膨らむと再使用できません。マツダ販売店で交換してください。
- 車をおゆずりになる場合は、必ず次のオーナーにSRSエアバッグシステム装備車であることをお伝えください。
- 助手席エアバッグが膨らむときにフロントガラスが破損することがあります。

## 運転席エアバッグ

運転席エアバッグはハンドルの中央に格納されています。



## 助手席エアバッグ

助手席エアバッグはインストルメントパネルに格納されています。

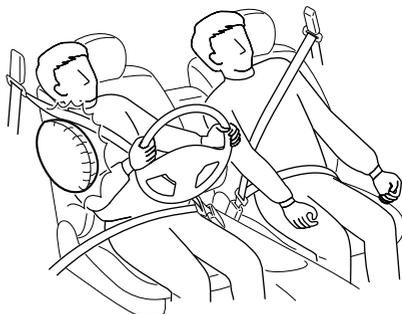
助手席に同乗者がいなくても運転席エアバッグと同時に膨らみます。



## サイドエアバッグ☆

サイドエアバッグはフロントシート背もたれの外側部分に格納されています。

乗員の有無に関係なく衝撃を受けた側のサイドエアバッグが膨らみます。



## カーテンエアバッグ☆

カーテンエアバッグはフロントピラー、リアピラー、ルーフサイド部に格納されています。

乗員の有無に関係なく衝撃を受けた側のカーテンエアバッグが膨らみます。



## 作動するとき、しないとき

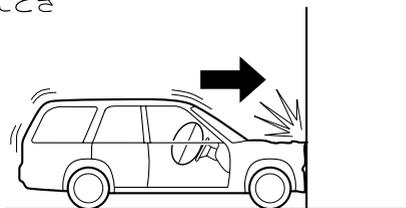
運転席/助手席エアバッグは正面衝突において、サイド/カーテンエアバッグは側面衝突において、強い衝撃を受けたときに作動します。

車体の衝撃吸収ボディー構造により、乗員への衝撃は大きくならない場合があります。したがって、車両の損傷が大きくてもエアバッグが必ずしも作動するとは限りません。

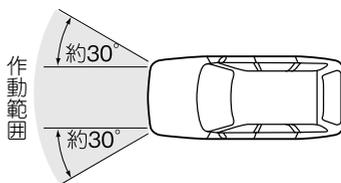
### 運転席/助手席エアバッグが作動するとき

次のようなときには、衝撃が大きいと作動します。

約22km/h以上で固いコンクリートの壁などに正面衝突したときと同じ程度の衝撃を受けたとき

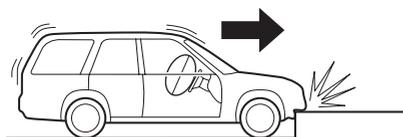


正面衝突など車両の前方左右約30°以内の方向から強い衝撃を受けたとき

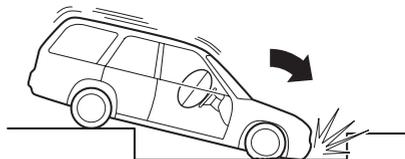


次のようなときには、路面などから車両下部に強い衝撃を受けると作動することがあります。

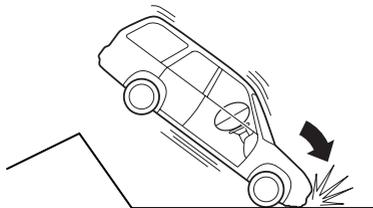
中央分離帯や縁石などに衝突したとき



深い穴や溝に落ちたとき



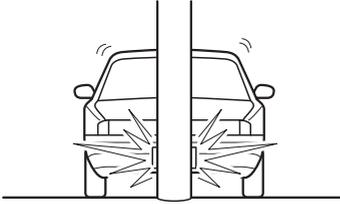
ジャンプなどで地面にぶつかったとき



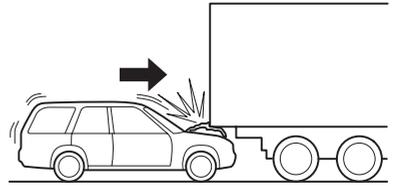
## 運転席/助手席エアバッグが作動しにくいとき

次のようなときには、衝撃の大きさによって作動しないことがあります。

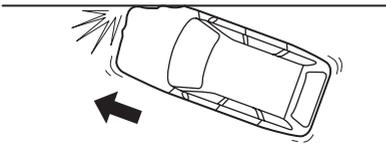
立木や電柱に衝突したとき



トラックの下などに潜り込んだとき



斜め前方に衝突したとき



## 運転席/助手席エアバッグが作動しないとき

次のようなときには作動しません。

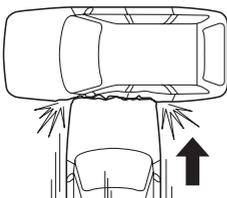
後ろ方向から衝突されたとき



横転や転覆したとき



横方向から衝突されたとき

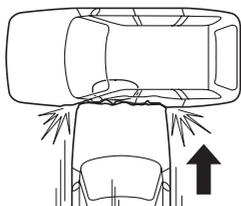


## SRSエアバッグシステム

### サイド/カーテンエアバッグが作動するとき

次のようなときには、衝撃が大きいと作動します。

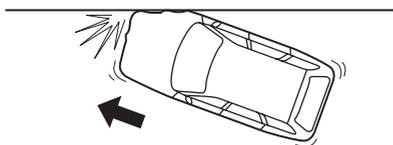
車両の側面(運転者または助手席同乗者付近)に横方向から衝突されたとき



### サイド/カーテンエアバッグが作動しにくいとき

次のようなときには、衝撃の大きさによって作動しないことがあります。

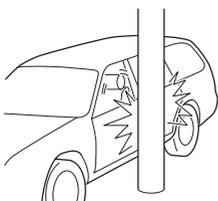
斜め前方に衝突したとき



横転や転覆したとき



車両の側面(運転者または助手席同乗者付近)から立木や電柱に衝突したとき



2輪車が側面に衝突したとき



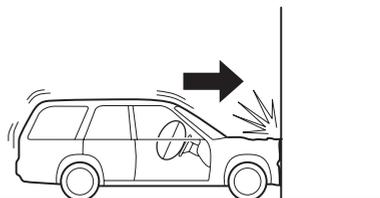
## サイド/カーテンエアバッグが作動しないとき

次のようなときには作動しません。

後ろ方向から衝突されたとき



正面衝突したとき



エアバッグ警告灯/  
プリテンショナー警告灯



### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
  - ・ 電源ポジションをONにしても点灯しないとき。
  - ・ 点灯し続けるとき。

### 点滅するとき

点滅し続けるときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。



**警告**

■ エアバッグ警告灯/プリテンショナー警告灯が点灯または点滅したまま走行しないでください。衝突したときにエアバッグまたはプリテンショナー機構が正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。

### EDR(イベントデータレコーダー)

本車両は、SRSエアバッグ制御のためのコンピュータを搭載しています。そのコンピュータは、SRSエアバッグシステムが正常に作動していることを診断するとともに、衝突や衝突に近い状態のとき、以下のデータを記録・蓄積するEDRを装備しています。

#### 記録するデータ

EDRは下記のような情報を記録します。

- エアバッグ作動に関する情報(加速度波形等)
- エアバッグシステムの故障診断情報



#### 知識

EDRは会話などの音声や映像は記録しません。

#### データの開示について

マツダおよびマツダが委託した第三者は、EDRに記録されたデータを、車両衝突安全性の向上などを目的に取得・利用することがあります。

なお、マツダおよびマツダが委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- お車の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令などの法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行なうなどの使用者や車が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

## ABSについて

ABS（アンチロックブレーキシステム）は、すべりやすい路面での制動時に起こる車輪のロックを防いで車の方向安定性を保ち、操縦性を確保する装置です。

### 警告

■ ABSを過信せず安全運転に心がけてください。

ABSが作動した状態でも車の方向安定性や操縦性には限界があります。また、次のようなときには、速度をひかえめにし、車間距離を十分にとって運転してください。ABSが装備されていない車に比べて制動距離が長くなることもあるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ジャリ道、新雪道を走行しているとき。
- タイヤチェーンを装着しているとき。
- 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき。
- 凸凹道や石だたみなどの悪路を走行しているとき。

### 注意

前後輪とも必ず指定されたサイズや種類のタイヤを装着してください。指定されたサイズや種類以外のタイヤを装着すると、ABSが正常に作動しないことがあります。

### 知識

- ABSは低速（約10km/h以下）では作動しませんが通常のブレーキ性能は確保されています。
- エンジン始動時や発進直後にモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

## ABS装備車の取り扱い

急ブレーキを踏まなくてはならないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけてください。  
万一の危険な状況では、次のようにしてください。

- 1] 危険を感じ急制動が必要なときは、ためらわずブレーキペダルをしっかりと踏み込んでください。
- 2] ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルから小刻みな振動を感じる場合があります。これはABSが正常に作動しているときの現象で異常ではありません。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。
- 3] 障害物を回避するときは、ブレーキペダルを踏みながらハンドルを操作してください。

## ABS警告灯



### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- システムに異常があるときは点灯し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。



## 警告

■ ブレーキ警告灯とABS警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。

急制動時に後輪が通常より早くロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



## 知識

- ABS警告灯が点灯しているときは、ABSが作動しないため、急制動時やすべりやすい路面での制動時には、車輪がロックすることがあります。
- ABS警告灯が点灯しているときは、ABSは作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。

# トラクションコントロールシステム (TCS)

## TCSについて

TCS (トラクションコントロールシステム) は、水にぬれた路面や雪道などのすべりやすい路面での発進や旋回加速時に起こる駆動輪の空転を防ぎ、適切な駆動力と操縦性を確保する装置です。



### 警告

■ TCSを過信せず安全運転に心がけてください。

TCSが作動した状態でも駆動力の確保や車の操縦性には限界があり、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。



### 知識

- エンジン回転が高いときにTCSが作動すると、エンジン回転の変動や車体の振動を感じることがありますが、異常ではありません。
- TCSを解除するときは、DSC OFFスイッチを押して解除してください。  
→79ページ「DSC OFFスイッチ」

## TCS/DSC作動表示灯



### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。

- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。  
マツダ販売店で点検を受けてください。
- 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
- 走行中に点灯したとき。

### 点滅するとき

走行中にTCSまたはDSCが作動すると点滅します。

## DSCについて

DSC (ダイナミック・スタビリティ・コントロール) は、すべりやすい路面での走行時や、緊急回避など急激なハンドル操作による車両の横すべりをおさえるため、ABSやTCSなどにより、ブレーキやエンジンの出力を自動的に制御して、車両の安定性を確保する装置です。

DSCは約20km/h以上で作動可能な状態になります。

「ABSについて」、「TCSについて」もあわせてお読みください。

→75ページ「ABSについて」

→77ページ「TCSについて」



### 警告

■ DSCを過信せず安全運転に心がけてください。

DSCが作動した状態でも車両の安定性や操縦性には限界があるため、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。特にDSC作動表示灯が点滅しているときは、車両が横すべりしやすい状態になっています。慎重に運転してください。



### 注意

前後輪とも必ず指定されたサイズで、メーカー、銘柄、パターン (溝の模様) が同一のタイヤを装着してください。また、摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。指定以外のサイズや、異なる種類、摩耗差の著しいタイヤを使用すると、DSCが正常に作動しないことがあります。

また、タイヤチェーンや応急用スペアタイヤ装着時のように径の異なるタイヤを使用したときは、DSCが正常に作動しないことがあります。



### 知識

電源ポジションをONにした後、インストルメントパネルの奥からカチッと音が聞こえることがあります。これはシステムの作動をチェックしている音で、異常ではありません。

## TCS/DSC作動表示灯



### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。  
マツダ販売店で点検を受けてください。
  - ・ 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
  - ・ 走行中に点灯したとき。

### 点滅するとき

走行中にTCSまたはDSCが作動すると点滅します。

## DSC OFF表示灯

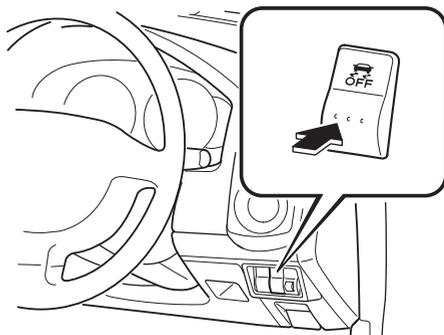


### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- DSC OFFスイッチを押して、TCS/DSCを解除すると点灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
  - ・ 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
  - ・ TCS/DSCを解除していないのに点灯したとき。

## DSC OFFスイッチ

TCS/DSCを解除するときは、メーター内のDSC OFF表示灯が点灯するまでDSC OFFスイッチを押し続けてください。もう一度スイッチを押すと、DSC OFF表示灯が消灯し、TCS/DSCが作動可能な状態になります。



### 知識

- ぬかるみや新雪などからの脱出時にTCSが作動し、アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの出力が上がらず、脱出困難なときにTCS/DSCを解除します。
- TCS/DSCを解除した状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動するとTCS/DSCは作動可能な状態にもどります。
- TCS/DSCを解除したときは、TCS/DSCが装備されていない車と同じ走行性能になります。

# MEMO

## 3 操作と取り扱い

### アドバンストキー 82

アドバンストキーについて .....	82
アドバンストキーレスの機能を使っ ての操作 .....	87
アドバンストキーレスの機能を使わ ない操作 .....	93
警報 .....	95
設定変更 (カスタマイズ機能) .....	97
こんなときは .....	98

### 各部の開閉 99

ドア .....	99
パワードアロック .....	101
リヤゲート .....	102
パワーウインドー .....	105
燃料補給口 .....	108
ボンネット .....	111

### 盗難防止システム 113

イモビライザーシステム .....	113
-------------------	-----

### 各部の調節 116

ハンドル .....	116
ドアミラー .....	116
ルームミラー .....	118

### メーター、警告灯、表示灯の 見方 120

メーター .....	120
警告灯、表示灯 .....	124
警報音 .....	135

### スイッチの使いかた 136

ランプスイッチ .....	136
方向指示器 .....	140
フォグランプスイッチ .....	141
ワイパー/ウォッシャースイッチ .....	141
リヤウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ .....	145
ホーン .....	145
非常点滅灯スイッチ .....	146

### 運転装置の使いかた 147

電源ポジション (エンジンスイッチ) .....	147
エンジンの始動 .....	148
エンジンの停止 .....	149
ブレーキ .....	149
オートマチックトランス ミッション .....	150
オートマチック車を運転するとき ....	153

### 3.操作と取り扱い アドバンストキー

## アドバンストキーについて

アドバンストキーを携帯することで、アドバンストキーレス機能(アドバンストキーレスエントリー&スタートシステム)により次の操作をすることができます。

→87ページ「アドバンストキーレスの機能を使っての操作」

- キーを取り出すことなくドア、リヤゲートの施錠/解錠をする。
- キーを取り出すことなくエンジンを始動する。

アドバンストキーは、アドバンストキーレス機能以外の操作も行うことができます。スイッチまたは補助キーを使用することで、次の操作をすることができます。

→93ページ「アドバンストキーレスの機能を使わない操作」

- リモートコントロール機能(ロックスイッチ、アンロックスイッチ)でドア、リヤゲートの施錠/解錠をする。
- 補助キーでドアの施錠/解錠またはエンジンの始動をする。

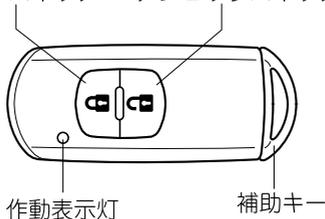


### 知識

アドバンストキーは必ず運転者が携帯してください。

アドバンストキーは2個あります。

ロックスイッチ アンロックスイッチ



作動表示灯

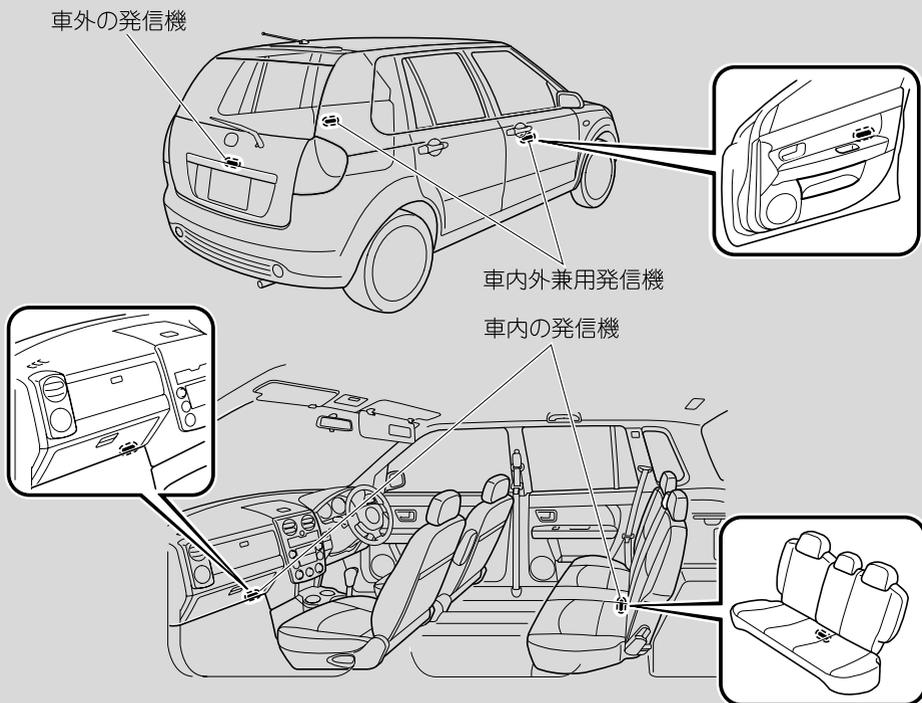
補助キー

キーナンバープレート

**警告**

■ 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の医療用機器を使用している方は、車内・車外の発信機から約22cm以内に医療用機器が近づかないようにしてください。

電波により、医療用機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。



■ 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用機器を使用している方は、アドバンスキーの電波の影響を医師や医療用電気機器製造業者などに確認してください。

電波が悪影響をおよぼすおそれがあります。

■ アドバンスキーレス機能を作動させないようにすることもできます。

詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

### 3.操作と取り扱い アドバンストキー

#### 注意

- アドバンストキーは、微弱な電波を使用しています。次のようなときはアドバンストキーが正常に作動しないことがあります。
  - ・ アドバンストキーを携帯電話などの通信機器と一緒に携帯しているとき
  - ・ アドバンストキーが金属製のものに接したり、おおわれたりしているとき
  - ・ アドバンストキーをパソコンなどの電化製品の近くに置いたとき
  - ・ 純正品以外の電子機器を取り付けたとき
  - ・ 近くに電波を発する設備があるとき
- アドバンストキーは強い電波を受信すると、それに反応して電池を著しく消耗することがあります。テレビやパソコンなどの電化製品の近くに置かないでください。
- アドバンストキーの故障を防ぐために次のことをお守りください。
  - ・ 強い衝撃をあたえたり、ぬらしたりしないでください。
  - ・ 分解しないでください。
  - ・ 重い物を上に置かないでください。
  - ・ インstrumentパネルやボンネットの上など直射日光が当たる場所や高温になる所に放置しないでください。
  - ・ 超音波洗浄器などにかけないでください。
  - ・ 磁気を帯びた製品を近づけないでください。

#### 知識

- 電池の寿命は、約1年程度です。メーターにKEY表示灯(緑)が点滅した場合は、新しい電池と交換してください。  
電池の消耗度合いによってはKEY警告灯/表示灯が点灯や点滅しない場合もありますので、1年を目安に電池の交換をおすすめします。



- アドバンストキーは同じ車両で最大6個まで使用することができます。マツダ販売店にご相談ください。
- アドバンストキーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、マツダ販売店にご連絡ください。

## キーナンバープレート

お客様以外のかたにキーナンバーを知られないために、キーナンバープレートにキーナンバーを打刻しています。

### 知識

- キーナンバープレートは車両以外の安全な場所に、大切に保管しておいてください。
- 万一、アドバンストキー（補助キー含む）を紛失したときは、マツダ販売店でキーナンバーをもとにアドバンストキー（補助キー含む）を作ることができます。
- 車両をおゆずりになるときは、次にお使いになるかたのために、すべてのアドバンストキー（補助キー含む）と一緒に、キーナンバープレートを車両につけてお渡しください。

## 電池の交換

次のようなときは電池残量が少なくなっていることが考えられます。

- エンジンをきったときにメーター内のKEY表示灯（緑）が点滅する
- アドバンストキーの作動表示灯が点灯しない
- どのスイッチを押しても作動しない
- 作動範囲が狭く不安定になる

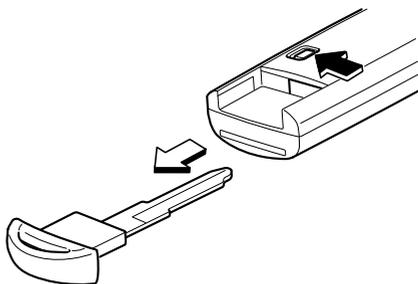
電池交換のとき、アドバンストキーが破損するおそれがあるため、マツダ販売店での交換をおすすめします。お客様自身で電池の交換をする場合は、次の手順で交換してください。

電池の規格：リチウム電池CR2025

### 注意

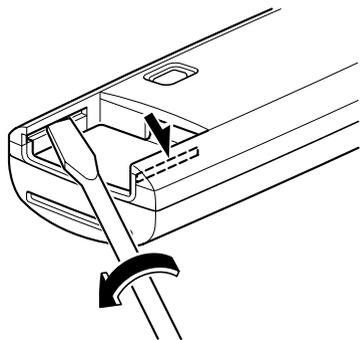
- 電池の+側と-側は必ず正しく取り付けてください。液漏れなどにつながるおそれがあります。
- 電池を交換するときは内部回路や電極に触れたり、電極を曲げたりしないように注意してください。またアドバンストキーの内部にゴミなどを付着させないでください。故障につながるおそれがあります。
- 電池を交換してもアドバンストキーが作動しないときは、マツダ販売店にご相談ください。

1 補助キーを引き出します。

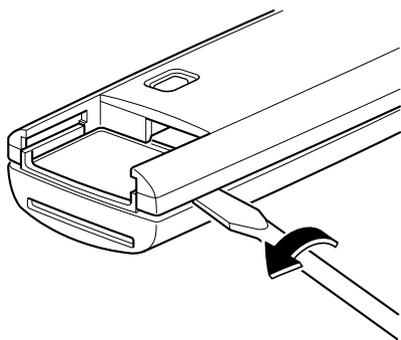


### 3.操作と取り扱い アドバンストキー

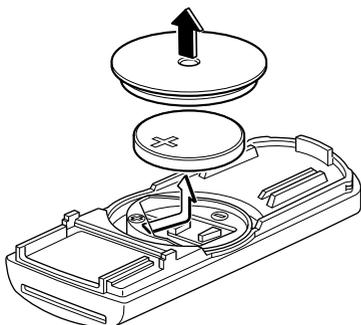
- 2 マイナスドライバーなどを使ってカバーを少し開けます。



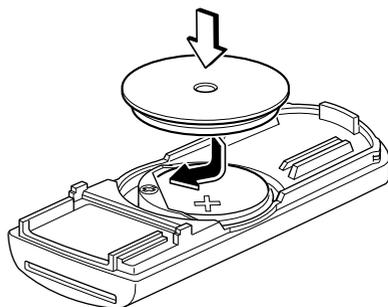
- 3 マイナスドライバーなどを使ってカバーを取り外します。



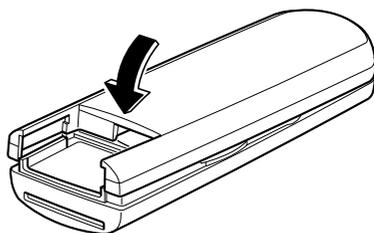
- 4 キャップを外して、電池を取り出します。



- 5 新しい電池を、+ 側を上にして差し込み、キャップをかぶせます。



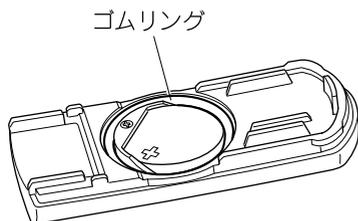
- 6 カバーを取り付けます。



- 7 補助キーを差し込みます。

## ⚠ 注意

- ゴムリングを傷つけないようにしてください。
- ゴムリングが外れた場合は、新しい電池を入れる前にゴムリングを取り付けてください。



## アドバンストキーレスの機能を使っての操作

### 作動範囲

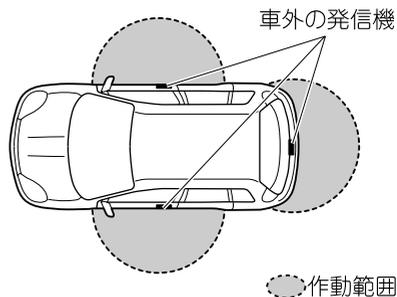
アドバンストキーを携帯し、車内および車外の作動範囲に入り、所定の操作をしたときのみ作動します。

### 📖 知識

- アドバンストキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。  
電池交換の目安は82ページをお読みください。
- 窓ガラスやドアハンドル、リヤゲートに近づきすぎた場合などは作動しないことがあります。

### ドア、リヤゲートの施錠/解錠

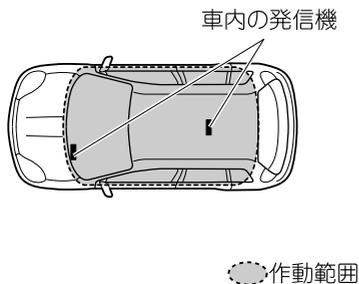
作動範囲は、運転席ドアハンドル、助手席ドアハンドル、リヤゲートの中央部から周囲約80cm以内です。



### 3.操作と取り扱い アドバンストキー

#### エンジンの始動

作動範囲は、荷室を除く車内のほぼ全域です。



#### 知識

- 荷室は作動範囲外ですが、エンジンの始動が可能になることがあります。
- 次のような場所にアドバンストキーを置くと、エンジンの始動ができない場合があります。
  - ・ インstrumentパネルの周辺
  - ・ グローブボックスや小物入れなど
  - ・ パーキングブレーキの下
- 車外でも、ドアや窓ガラスに近づきすぎた場合は、エンジンの始動が可能になりますが、エンジンの始動は必ず運転席で行なってください。
- 作動範囲内にアドバンストキーを検知すると、作動表示灯がしばらくの間点滅します。

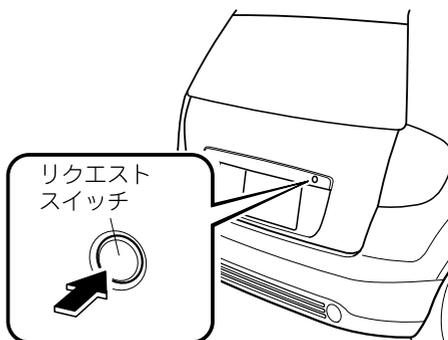
#### 施錠/解錠

アドバンストキーを携帯し、フロントドアまたはリヤゲートのリクエストスイッチを押すと、すべてのドア、リヤゲートが施錠/解錠します。

フロントドア



リヤゲート



- 施錠したとき  
非常点滅灯が1回点滅し、チャイムが1回鳴ります。
- 解錠したとき  
非常点滅灯が2回点滅し、チャイムが2回鳴ります。

## 知識

- リクエストスイッチで施錠した後は、ドア、リヤゲートが確実に施錠されたことを確認してください。
- リクエストスイッチで施錠/解錠すると確認のためチャイムが鳴ります。チャイムは鳴らないようにすることもできます。  
→97ページ「設定変更(カスタマイズ機能)」
- リクエストスイッチを押さずに、自動的に施錠するように設定を変えることができます。  
→97ページ「設定変更(カスタマイズ機能)」

### (オートロック機能)

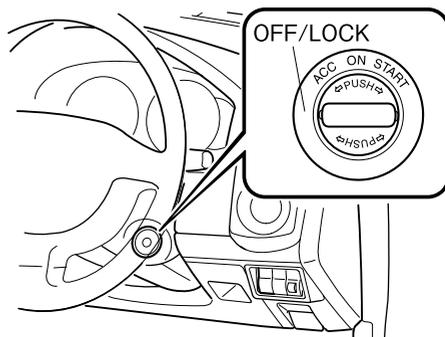
アドバンストキーを携帯してすべてのドア、リヤゲートを閉めると、チャイムが1回鳴ります。そのまま作動範囲から出ると約3秒後に自動的に全ドア、リヤゲートを施錠します。(作動範囲から出ない場合でも約30秒後に自動的に施錠します。)

ただし、車内に別のアドバンストキーがあるときや、ドア、リヤゲートが完全に閉まる前に作動範囲を出ると施錠されません。車から離れるときはドア、リヤゲートが施錠されたことを必ず確認してください。

- リクエストスイッチを押して解錠した後、約30秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合、自動的に施錠されます。
  - ・ ドアまたはリヤゲートを開ける。
  - ・ 補助キーをエンジンスイッチに差し込む。
  - ・ 電源ポジションをOFF以外にする。

## エンジンの始動

### 各状態の働き



※印字(刻印)は実際の車両と異なる場合があります。

電源ポジション(エンジンスイッチ)	働き
OFF/LOCK	電源OFFの状態
ACC	エンジン停止時に、オーディオなどが使用できる位置
ON	エンジン回転中の位置
START	エンジンを始動する位置

### 3.操作と取り扱い アドバンストキー

#### 知識

- 電源ポジションをONにしたとき、燃料タンク付近からフューエルポンプのモーター作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- エンジンを止めたままで、オーディオなどを長時間使用したり、電源ポジションをONまたはACCのまま放置しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ハンドルがロックされているときは、スタートノブをまわしにくいことがあります。ハンドルを左右に動かしながらスタートノブをまわしてください。
- セレクトレバーの位置がP以外のときは、スタートノブをまわして、電源ポジションをACCからOFFにすることができません。

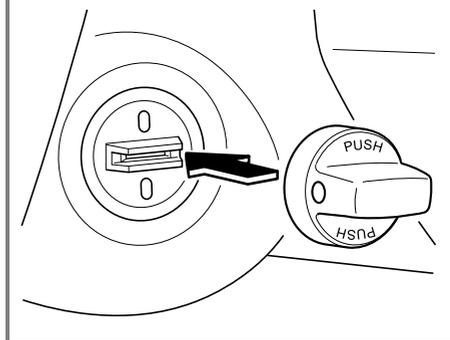
#### エンジンをかける前に

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
- 2 セレクトレバーがPの位置にあることを確認します。
- 3 正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。
- 4 ペダルの踏み間違いのないように、ペダルの位置を確認しておいてください。  
→40ページ「正しい運転姿勢」

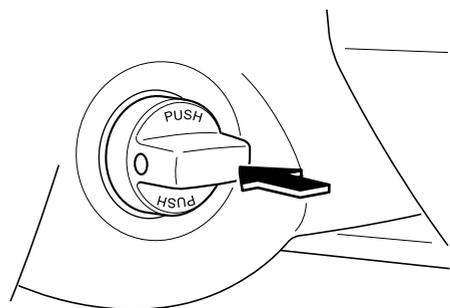
#### エンジンをかけるとき

#### 知識

- アドバンストキーは必ず運転者が携帯してください。
- スタートノブがエンジンスイッチから取りはずされているときは取り付けてください。  
取り付け後はスタートノブがはずれないことを確認してください。



- 1 アドバンストキーを携帯していることを確認します。
- 2 ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- 3 スタートノブをゆっくりと奥まで押し込みます。



- 4 メーター内のKEY表示灯 (緑) が点灯するのを確認します。

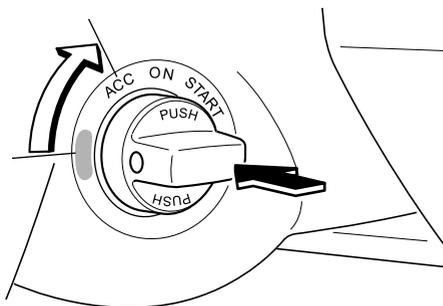


### 知識

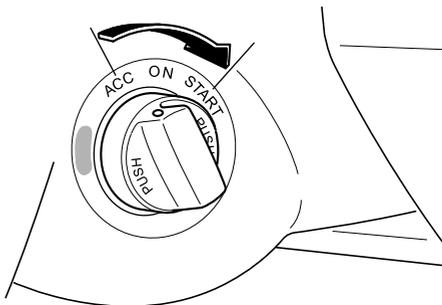
次のようなときはメーター内のKEY警告灯 (赤) が点滅し、エンジンをかけることができません。

- アドバンストキーの電池切れ
- アドバンストキーが作動範囲内でない
- アドバンストキーを車内でも感知しにくい場所に置いているとき  
→87ページ「作動範囲」
- アドバンストキーに類似した他社のキーが作動範囲内にある

- 5 スタートノブを押し込みながら、まわして、電源ポジションをACCにします。



- 6 アクセルペダルを踏まずに、スタートノブをまわして、電源ポジションをACCからSTARTにし、エンジンをかけます。



### 注意

連続して10秒以上スタートノブをまわして、電源ポジションをSTARTにしないでください。スターターの故障やバッテリーあがりの原因になります。エンジンがかからないときは、スタートノブをまわして、電源ポジションをOFFにもどし、10秒以上待ってからエンジンをかけなおしてください。

### 知識

冷間始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転数が高くなりますが、自動的に適正な回転数に下がります。

### エンジンをきるとき

- 1 セレクトレバーをPの位置にします。
- 2 スタートノブをまわして、電源ポジションをONからACCにします。

### 3.操作と取り扱い アドバンストキー

#### 知識

- スタートノブをまわして、電源ポジションをONからACCにするとエンジンは停止しますが、バッテリーあがりの原因になりますので、ACCで放置しないでください。
- エンジンをきって電源ポジションをONからACCまたはOFFにしたとき、アドバンストキーの電池容量が少なくなっていることを感知したら、メーター内のKEY表示灯(緑)が約30秒間点滅します。新しい電池と交換してください。  
→85ページ「電池の交換」

- 3 電源ポジションがACCでスタートノブを押し込み、電源ポジションをOFFにします。

#### 注意

車から離れるときは、電源ポジションがOFFになっていることを確認してください。

電源ポジションをOFFまでもどさなかった場合、アドバンストキーが車内になくても再度エンジンをかけることができるため、車両を盗難されるおそれがあります。

#### 知識

- 電源ポジションをOFFにするときは、スタートノブをACCで押し込んでまわす必要があります。押し込まずにまわすと、スタートノブはACCで止まるため、そのまま放置するとバッテリーがあがるおそれがあります。車から離れるときは、電源ポジションがOFFになっていることを確認してください。
- 電源ポジションをOFFにせずに車から離れると、警報やメーター表示でお知らせします。  
→95ページ「警報」

## アドバンストキーレスの機能を使わない操作

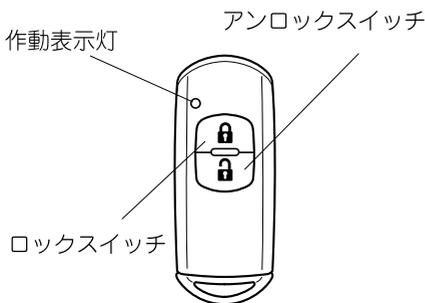
### リモートコントロール機能

リモートコントロール機能を使用すると、車の周囲1m以内ですべてのドア、リヤゲートの施錠/解錠ができます。

スイッチはゆっくりと確実に押ししてください。

#### 知識

- エンジンスイッチに補助キーを差し込んでいるときは、リモートコントロール機能は作動しません。
- 電源ポジションがOFF以外のとき、またはスタートノブが押しこまれているときは、リモートコントロール機能は作動しません。
- いずれかのドアまたはリヤゲートが開いているときは、ロックスイッチを押しても施錠しません。
- リモートコントロール機能の作動範囲は、周囲の状況により変わることがあります。車から離れるときは必ず施錠されていることを確認してください。



### 施錠/解錠

- 施錠するとき  
ロックスイッチを押します。  
非常点滅灯が1回点滅し、チャイムが1回鳴ります。
- 解錠するとき  
アンロックスイッチを押します。  
非常点滅灯が2回点滅し、チャイムが2回鳴ります。

#### 知識

- スwitchを押すと作動表示灯が点灯します。
- リモートコントロール機能を使用して、施錠/解錠すると確認のためチャイムが鳴ります。  
チャイムは鳴らないようにすることもできます。  
→97ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」
- ロックスイッチまたはアンロックスイッチを連続して押すと、非常点滅灯が不規則に点滅することがあります。

### 3.操作と取り扱い アドバンストキー

#### 知識

- ロックスイッチを押さずに、自動的に施錠するように設定を変えることができます。

→97ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」

#### (オートロック機能)

アドバンストキーを携帯してすべてのドア、リヤゲートを閉めると、チャイムが1回鳴ります。そのまま作動範囲から出ると約3秒後に自動的に全ドア、リヤゲートを施錠します。(作動範囲から出ない場合でも約30秒後に自動的に施錠します。)

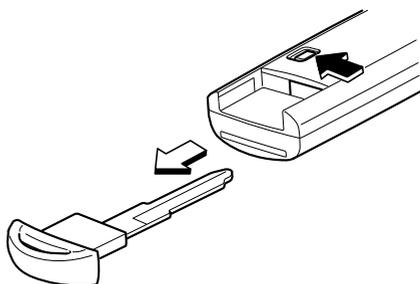
ただし、車内に別のアドバンストキーがあるときや、ドア、リヤゲートが完全に閉まる前に作動範囲を出ると施錠されません。車から離れるときはドア、リヤゲートが施錠されたことを必ず確認してください。

- アンロックスイッチを押して解錠した後、約30秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合、自動的に施錠されます。
  - ・ ドアまたはリヤゲートを開ける。
  - ・ 補助キーをエンジンスイッチに差し込む。
  - ・ スタートノブを押し込む。

#### 補助キー機能

アドバンストキーに内蔵された補助キーを使用します。

#### 補助キーの取りはずしかた



#### ドアの施錠/解錠

補助キーを操作して、ドアの施錠/解錠ができます。

→99ページ「補助キーによる施錠/解錠」

#### エンジンの始動

補助キーを操作して、エンジンの始動ができます。

→147ページ「電源ポジション (エンジンスイッチ)」

## 警報

### システム故障警報

アドバンストキーレス機能になんらかの故障が発生すると、メーター内のKEY警告灯(赤)が点灯し続けます。

### 注意

KEY警告灯(赤)が点灯し続けるときは、アドバンストキーレス機能による運転を続けしないでください。安全な場所に停車し、補助キーによる運転に切り替え、早めにマツダ販売店で点検を受けてください。  
→147ページ「電源ポジション(エンジンスイッチ)」

### スタートノブもどし忘れ警報

電源ポジションがACCで、運転席ドアを開けると、チャイムが鳴り続け、電源ポジションがOFFになっていないことをお知らせします。

### アドバンストキー車外持ち出し警報

次のようなときはチャイムが3回鳴り、KEY警告灯(赤)が点滅し続け、電源ポジションをOFFにせずに、アドバンストキーを車外に持ち出したことを知らせます。KEY警告灯(赤)はアドバンストキーを車内にもどすと消灯します。

- 電源ポジションをOFFにせずに運転席ドアを開け、アドバンストキーを車外に持ち出したとき  
(電源ポジションがACCのときは、スタートノブもどし忘れ警報が作動するため、ドアを開けたときからチャイムが鳴り続けます。)
- 電源ポジションをOFFにしないで、アドバンストキーを車外に持ち出したあと、全てのドアを開めたとき



### 知識

アドバンストキーは微弱な電波を使用しているため、金属物と一緒に携帯したり、電波環境の悪い場所に置くと、車外に持ち出されたと認識してしまい、アドバンストキー車外持ち出し警報が作動することがあります。

### 3.操作と取り扱い アドバンストキー

#### リクエストスイッチ不作動警報

次のようなとき、アドバンストキーを携帯してフロントドアまたはリヤゲートのリクエストスイッチを押すと、チャイムが3回鳴り、フロントドアまたはリヤゲートを施錠できないことをお知らせします。

- 車内に別のアドバンストキーがあるとき
- いずれかのドアが開いているとき  
(半ドア状態など)
- 電源ポジションをOFFにしていないとき
- エンジンスイッチに補助キーを差し込んでいるとき

#### アドバンストキー電池切れ警報

電源ポジションをONからACCまたはOFFにしたとき、KEY表示灯(緑)が約30秒間点滅し、アドバンストキーの電池容量が残り少なくなっていることをお知らせします。アドバンストキーが使用できなくなる前に新しい電池と交換してください。

→85ページ「電池の交換」



#### 知識

電池容量が少なくなっても、KEY表示灯(緑)が点滅しないように設定することができます。

→97ページ「設定変更(カスタマイズ機能)」

#### エンジン始動不許可警報

次のようなとき、KEY警告灯(赤)が点滅し、電源ポジションをOFF以外にできないことをお知らせします。

- アドバンストキーの電池が切れたとき
- アドバンストキーが作動範囲内にないとき
- アドバンストキーを車内でも感知しにくい場所に置いているとき  
→87ページ「作動範囲」
- アドバンストキーに類似した他社のキーが作動範囲内にあるとき

## 設定変更 (カスタマイズ機能)

以下の機能の設定をマツダ販売店で変更することができます。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

機能	内容	初期設定	変更内容
アドバンストキー電池切れ表示	KEY表示灯 (緑) が点滅し、アドバンストキーの電池残量が少なくなっていることを知らせます。	ON	OFF
施錠/解錠作動確認チャイム	ドア、リヤゲートを施錠/解錠すると確認のためチャイムが鳴ります。	ON	OFF
オートロック機能	アドバンストキーを携帯して、すべてのドア、リヤゲートを閉めて作動範囲から出ると、約3秒後に自動的にすべてのドア、リヤゲートが施錠します。 (作動範囲から出ない場合でも、約30秒後に自動的に施錠します。)	OFF	ON

### 3.操作と取り扱い アドバンストキー

## こんなときは

次のようなとき、アドバンストキーの誤操作による車両盗難などを防ぐために、警報およびメーター内の警告灯/表示灯でお知らせします。

→95ページ「警報」

警報	確認すること
ドアを開けたときに、チャイムが「ピーピー、ピーピー、…」と連続で鳴り続けるとき	電源ポジションをOFFにしているか確認してください。
ドアを開けているときに、チャイムが3回鳴り、メーター内のKEY警告灯(赤)が点滅しているとき	アドバンストキーを車外に持ち出していないか確認してください。
ドアを開めたときに、チャイムが3回鳴り、メーター内のKEY警告灯(赤)が点滅しているとき	アドバンストキーを車外に持ち出していないか確認してください。
ドアを施錠しようとしたときに、チャイムが「ピーピー、ピーピー、ピーピー」と鳴るとき	アドバンストキーを車内に置き忘れていないか確認してください。
	電源ポジションをOFFにしているか確認してください。
	いずれかのドアが開いていないか確認してください。
メーター内のKEY表示灯(緑)が点滅しているとき	アドバンストキーの電池残量が少なくなっています。新しい電池と交換してください。 →85ページ「電池の交換」
メーター内のKEY警告灯(赤)が点灯し続けているとき	アドバンストキーが故障しています。安全な場所に停車して、補助キーによる運転に切り替え、早めにマツタ販売店で点検を受けてください。

## ドア

### 警告

■ ドアを閉めたあとは、確実に閉まっていることを確認してください。

半ドアのまま走行すると、走行中に不意にドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ ドアを開けるときは、周囲の安全を確認してください。

ドアを急に開けると、後続車や歩行者がぶつかるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 注意

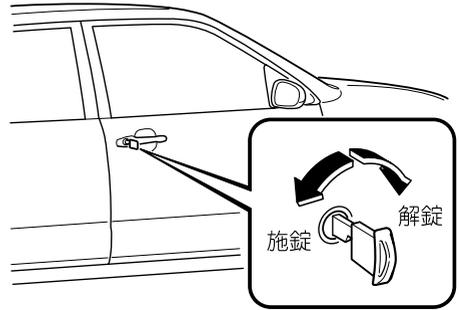
強風時にドアを開閉するときは、注意して開閉してください。ドアが風にあおられると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 知識

車から離れるときは、必ずエンジンを止め、ドアを施錠してください。また、盗難にあわないために、車内には貴重品を置かないでください。

### 補助キーによる施錠/解錠

補助キーを差し込み、まわします。



### アドバンストキーレス機能による施錠/解錠

アドバンストキーを携帯して操作すると、施錠/解錠できます。

→87ページ「アドバンストキーレスの機能を使っての操作」

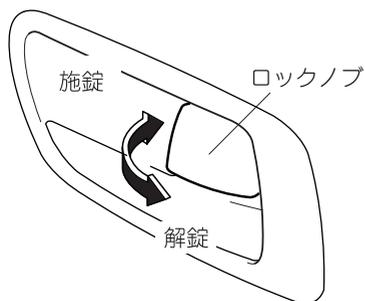
### リモートコントロール機能による施錠/解錠

リモートコントロール機能を使用すると、施錠/解錠できます。

→93ページ「リモートコントロール機能」

### 3.操作と取り扱い 各部の開閉

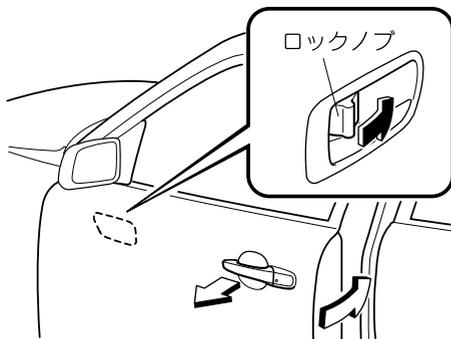
#### ロックノブによる施錠/解錠



#### 車外から操作するとき

##### フロントドア

車内のロックノブを施錠側にし、車外のドアハンドルを引いたままドアを閉めます。

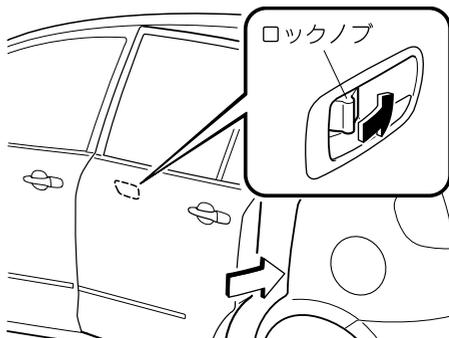


#### 📖 知識

- 運転席ドアはキーの閉じ込みを防止するために、この方法では施錠できません。
- キーの閉じ込みを防止するために、キーを持っていることを確認してから施錠してください。

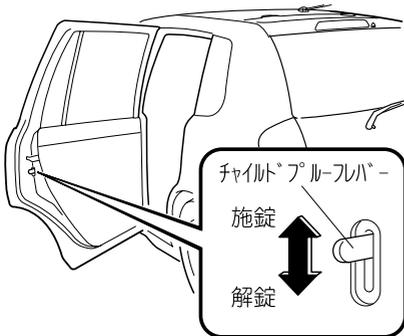
#### リヤドア

車内のロックノブを施錠側にし、ドアを閉めるだけで施錠できます。



## チャイルドプルーフ

お子さまをリヤシートに乗せているとき、いたずらなどで不意にドアが開くことを防止できます。  
チャイルドプルーフレバーを施錠側にしてドアを閉めると、ロックノブの位置に関係なく、車内からはリヤドアを開けることができません。



ドアを開けるときは、車内のロックノブを解錠側にし、車外のドアハンドルを引いてください。

### 知識

車内からドアを開けるときは、車内のロックノブを解錠側にし、窓ガラスを下げ、窓から手を出して車外のドアハンドルを引くと開きます。

## パワードアロック

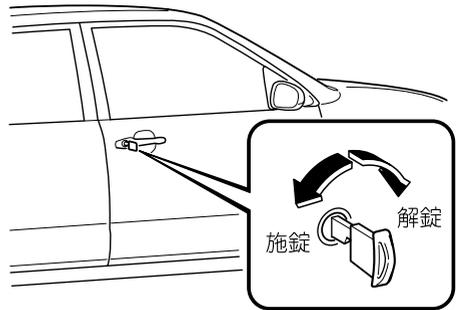
すべてのドア、リヤゲートの施錠/解錠ができます。

### 知識

いずれかのドアまたはリヤゲートが開いていると施錠できません。

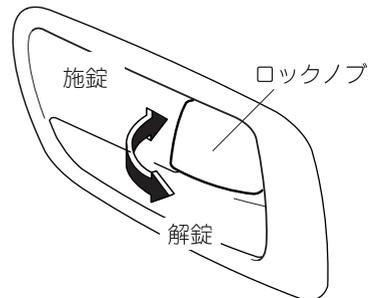
## 補助キーによる施錠/解錠

運転席ドアに補助キーを差し込み、まわします。



## ロックノブによる施錠/解錠

運転席ドアのロックノブを操作します



### 3.操作と取り扱い 各部の開閉

#### アドバンストキーレス機能による施錠/解錠

アドバンストキーを携帯して操作すると、施錠/解錠できます。

→87ページ「アドバンストキーレスの機能を使っての操作」

#### リモートコントロール機能による施錠/解錠

リモートコントロール機能を使用すると、施錠/解錠できます。

→93ページ「リモートコントロール機能」

## リヤゲート



### 警告

■ 荷室内に人を乗せないでください。

急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。

■ リヤゲートは必ず閉めてから走行してください。

開けたまま走行すると、車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。危険です。



### 注意

- リヤゲートを開ける前に、リヤゲートの雪や氷などの付着物を取り除いてください。リヤゲートを開けたときに、雪や氷などの重みでリヤゲートが閉まり、けがをするおそれがあります。
- 強風時にリヤゲートを開閉するときは、注意して開閉してください。リヤゲートが風にあおられると、急に閉まり、けがをするおそれがあります。
- リヤゲートを開けるときは全開にして、リヤゲートが止まることを確認してください。リヤゲートを途中で止めると、振動や突風などでリヤゲートが閉まり、けがをするおそれがあります。
- 荷室の荷物を出し入れするときは、エンジンを止めてください。排気熱によりやけどをするおそれがあります。

## 注意

- リヤゲートのダンパーステーに手をかけるなどして過度の力を加えないください。ダンパーステーが曲がり、リヤゲートの作動に影響をおよぼすおそれがあります。



## リヤゲートの施錠/解錠

### 補助キーによる施錠/解錠

#### 運転席ドア

運転席ドアに補助キーを差し込みますと、施錠/解錠できます。

→101ページ「パワードアロック」

### アドバンストキーレス機能による施錠/解錠

アドバンストキーを携帯して操作すると、施錠/解錠できます。

→87ページ「アドバンストキーレスの機能を使うための操作」

### リモートコントロール機能による施錠/解錠

リモートコントロール機能を使用すると、施錠/解錠できます。

→93ページ「リモートコントロール機能」

### ロックノブによる施錠/解錠

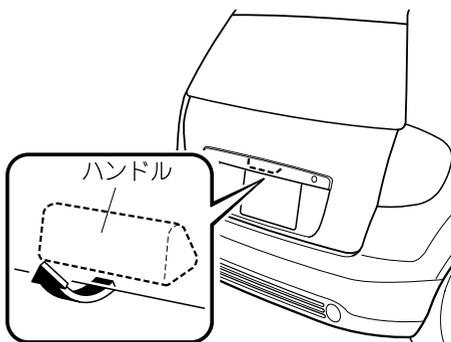
運転席ドアのロックノブを操作すると、施錠/解錠できます。

→101ページ「パワードアロック」

## リヤゲートの開閉

### 開けるとき

車外のハンドルを手前に引いてリヤゲートを持ち上げます。



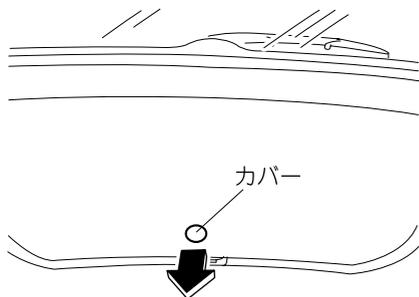
### 知識

バッテリーあがりや電気系統の故障などで、リヤゲートの解錠ができず開けられなくなったときは、応急処置として次の手順で解錠してください。

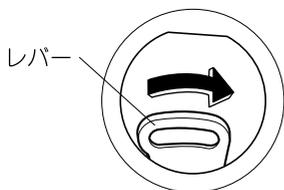
### 3.操作と取り扱い 各部の開閉

#### 知識

- ① マイナスドライバーなどを使ってリヤゲート車内側にあるカバーをはずします。



- ② レバーを右側に動かして解錠します。



応急処置後はできるだけ早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

#### 閉めるとき

リヤゲートをゆっくり下げて、押さえつけるように閉めます。

リヤゲートハンドルを使用すると便利です。



#### 警告

- リヤゲートを閉めたあとは、リヤゲートをゆさぶって確実にロックされていることを確認してください。

走行中にリヤゲートが開くと、荷物などが落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

#### 注意

リヤゲートを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。万一、手などをはさむと、けがをするおそれがあります。

## パワーウィンドー

電源ポジションがONのとき、パワーウィンドースイッチを操作すると窓ガラスの開閉ができます。

### 警告

■ 窓ガラスを閉めるときは、同乗者の手や顔などはさまないように注意してください。

また、特にお子さまには十分気をつけてください。

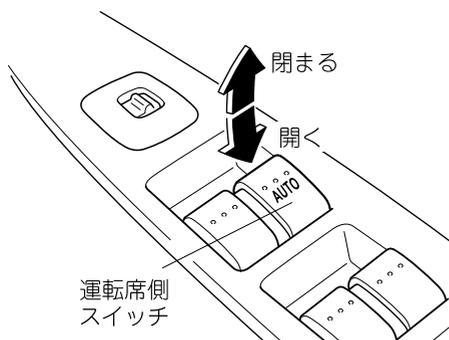
万一、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

■ お子さまにパワーウィンドースイッチの操作をさせないでください。

万一、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

## 運転席窓ガラスの開閉

スイッチを押している間は開き、引き上げている間は閉まります。



## クイックリフレッシュ機能

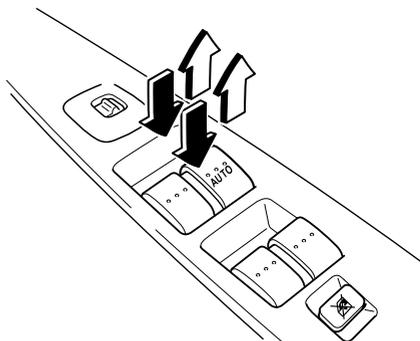
全閉しているとき、スイッチを軽くワンタッチするだけで、窓枠から約3cm開くことができます。車内を換気したいときなどに便利です。

### 知識

全閉しているとき、スイッチを軽く押し続けていると、窓枠から約3cm開いたところで一旦止まります。そのまま押し続けると、再び開き始めます。

## クイックリフレッシュ機能の解除

- 1 電源ポジションをONにして、5秒以内に次の操作を完了させます。  
運転席側スイッチを強く2回押し、強く2回引き上げます。



- 2 電源ポジションをOFFにします。
- 3 電源ポジションをOFFにしてから40秒以内に、電源ポジションをONにして、5秒以内に次の操作を完了させます。  
運転席側スイッチを強く2回押し、強く2回引き上げます。

### 3.操作と取り扱い 各部の開閉



#### 知識

- 時間内に操作が完了しなかったり、途中で他の操作をすると解除できません。一度電源ポジションをOFFにして、始めからやり直してください。
- 操作しても解除できないときは、マツダ販売店にご相談ください。

#### クイックリフレッシュ機能の復帰

クイックリフレッシュ機能が解除されている状態で、もう一度クイックリフレッシュ機能の解除の操作をすると、復帰します。



#### 知識

操作しても復帰できないときは、マツダ販売店にご相談ください。

#### 自動開閉機構

スイッチを強く押すと自動で全開し、強く引き上げると自動で全閉します。

途中で止めるときは、スイッチを逆方向に軽く操作します。



#### 知識

車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたとき、または全開/全閉したあとも、スイッチを操作し続けたときは、自動で全開/全閉できなくなります。次の操作で復帰させてください。

- 1 電源ポジションをONにします。
- 2 スwitchを押して窓ガラスを全開にします。
- 3 スwitchを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げ続けます。

#### はさみ込み防止機構

閉めるときに、窓ガラスと窓枠との間に異物のはさみ込みを感知すると、窓ガラスが閉まるのを停止し、自動的に途中まで開きます。



#### 注意

次の場合には、はさみ込み防止機構が作動しないため、指などをはさまないように注意してください。万一、指などをはさむと、けがをするおそれがあります。

- 窓ガラスが閉まりきる直前
- スwitchを引き続けたままの状態



#### 知識

- はさみ込み防止機構は次のようなときに作動します。
  - ・ 電源ポジションがONで窓ガラスを自動で閉めているとき。
  - ・ 電源ポジションをOFFまたはACCにしてから約40秒の間に窓ガラスを閉めているとき。
- 走行条件や環境により、窓ガラスに異物をはさんだときと同じ衝撃または荷重が加わると、はさみ込み防止機構が作動することがあります。万一、はさみ込み防止機構が作動し、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、スswitchを引き続けてください。窓ガラスを閉めることができません。

## キーOFF後作動機構

電源ポジションをACCまたはOFFにしたあとも、約40秒間は開閉することができます。



### 知識

クイックリフレッシュ機能は作動しません。

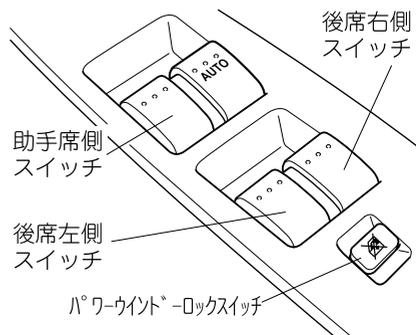
## 助手席/後席窓ガラスの開閉

運転席ドアにあるパワーウィンドーロックスイッチをアンロックの位置にしていると開閉できます。

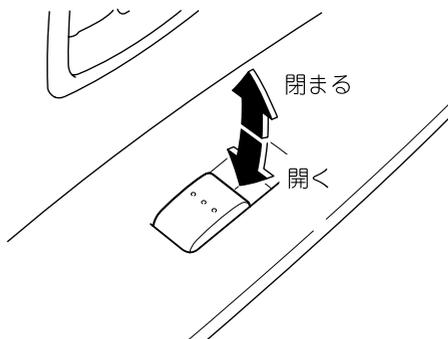


### 知識

運転席ドアにある助手席/後席側スイッチからも操作できます。



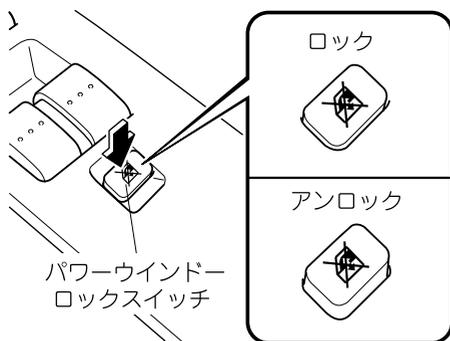
スイッチを押している間は開き、引き上げている間は閉まります。



### 3.操作と取り扱い 各部の開閉

#### パワーウィンドーロックスイッチ

- ロックの位置のとき  
運転席窓ガラスのみ開閉できます。
- アンロックの位置のとき  
全ての窓ガラスの開閉ができます。



#### 警告

- お子さまが同乗しているときは、パワーウィンドーロックスイッチをロックの位置にしておいてください。

お子さまが誤って操作したとき、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

#### 燃料補給口

#### 警告

- 燃料補給時には必ずエンジンを止めてください。

火災につながるおそれがあります。

- 燃料を補給するときは、必ず次の点を守ってください。

身体に静電気を帯びたまま作業をすると、放電による火花で燃料に引火、爆発し重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

- 燃料補給作業は必ず一人で行ない、補給口に他の人を近づけないでください。
- 静電気を除去するため、フューエルキャップを開ける前には、車体または給油機などの金属部分に触れてください。
- 静電気の放電を防ぐため、フューエルキャップの開閉は必ずツマミ部分を持って行ってください。
- 再帯電を防ぐため、燃料を補給する人は給油中に車内のシートに座らないでください。

- 燃料補給口にはタバコなどの火気を近づけないでください。

火災につながるおそれがあります。

- 給油ノズルは確実に給油口へ差し込んでください。

給油ノズルが確実に差し込まれていないと、オートストップの作動が遅れ、燃料が吹きこぼれるおそれがあります。



## 警告

■ 給油ノズルのオートストップ作動後は、追加給油しないでください。

オートストップ作動後に追加給油すると、燃料があふれ出るおそれがあります。

■ ドアや窓を必ず閉めて燃料を補給してください。

火災になった場合、室内に燃え広がるおそれがあります。

■ 気化した燃料を吸い込まないように注意してください。

人体に有害な成分を含んでいる燃料があります。特にアレルギー体質の方は、注意してください。



## 注意

● 指定燃料以外の燃料を補給したり、純正以外の燃料添加剤を使用しないでください。

有鉛ガソリンや粗悪ガソリン、軽油、高濃度アルコール含有燃料を補給すると次のような悪影響をおよぼします。

- ・ エンジンや燃料系部品が損傷したり、最悪の場合車両火災につながるおそれがあります。
- ・ エンジンの始動性が悪くなるおそれがあります。
- ・ ノッキングが発生したり、エンジンの出力が低下するおそれがあります。

● 燃料補給作業中に、燃料を車にこぼさないようにしてください。燃料が付着すると変色、シミ、塗膜はがれの原因となります。

● 燃料を補給する際には、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。



## 知識

バイオ燃料混合ガソリンをお使いになることもできます。バイオ燃料混合ガソリンは、日本工業規格 (JIS) や「揮発油等の品質の確保に関する法律」が定めたガソリンの規格に合致しており、製品として使用に問題ないことが確認されています。バイオ燃料混合ガソリンの商品名としては「バイオ・ガソリン」、および「いい！スリー」の2つがあり、いずれの製品も使用できます (商品マーク参照)。



燃料補給口は車の左側後方にあります。燃料計の指針が「E」に近づいたら、早めに燃料を補給してください。

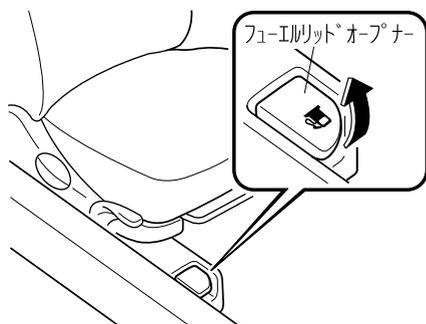
使用燃料とタンク容量は次のとおりです。

使用燃料	タンク容量 (参考値)
無鉛レギュラーガソリン	45L

### 3.操作と取り扱い 各部の開閉

#### フューエルリッドの開閉

運転席右下にあるフューエルリッドオープナーを引くと開きます。



閉めるときはフューエルリッドが確実にロックするまでフューエルリッドを押しつけます。

#### フューエルキャップの開閉

#### 警告

■ フューエルキャップを開けるときは、ゆっくりとゆるめ、空気の抜ける音が止まってから取りはずしてください。

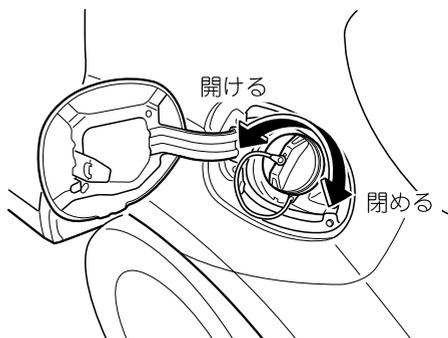
急に開けると、燃料が噴き出すことがあるため火災につながったり、目や皮膚に付着すると傷害につながるおそれがあります。

■ フューエルキャップは、確実に閉めてください。

キャップが確実に閉まっていないと、走行中に燃料がもれ、火災につながるおそれがあります。

#### 注意

純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。燃料装置や排出ガス発散抑止装置などの故障につながるおそれがあります。

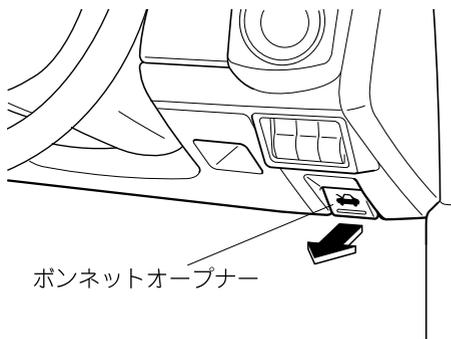


キャップを閉めるときは、カチッ、カチッと2回以上音がするまで締め付けてください。

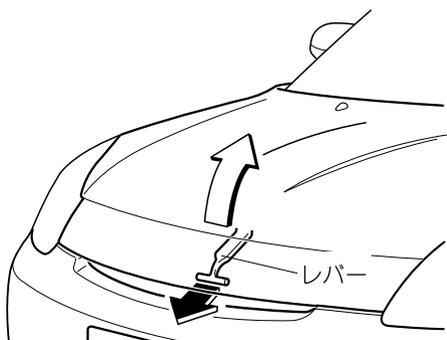
## ボンネット

### 開けるとき

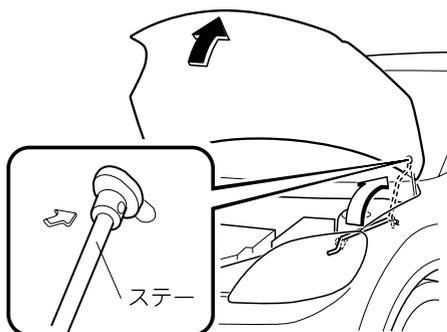
- 1 運転席右下にあるボンネットオープナーを引くと、ボンネットが少し浮き上がります。



- 2 ボンネットのすき間に手を入れ、レバーを引いてボンネットを持ち上げます。

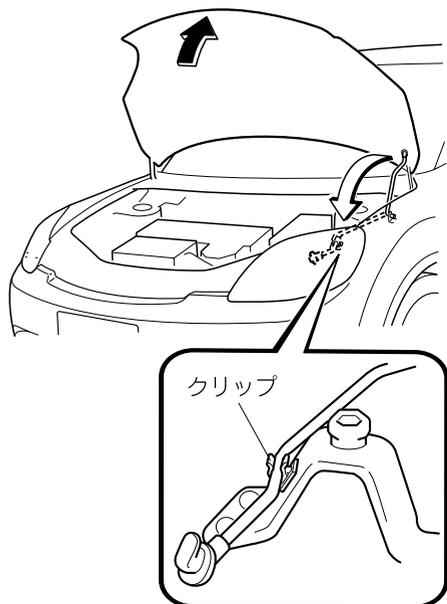


- 3 ステーを起こし、矢印で示すボンネットのステー穴に差し込んで固定します。



### 閉めるとき

- 1 エンジンルームに工具などが残されていないことを確認します。
- 2 ボンネットを手でささえ、ステアーをはずし、クリップに固定します。



### 3.操作と取り扱い 各部の開閉

---

- ③ ボンネットをゆっくりおろし、約20 cmの高さから静かに落として閉めます。



#### 警告

■ ボンネットが確実に閉まっていることを確認してください。

走行中にボンネットが開くと視界がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



#### 注意

- ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さえないでください。ボンネットがへこむおそれがあります。
- ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。万一、手などをはさむと、けがをするおそれがあります。
- エンジンルームの点検をしたときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

## イモビライザーシステム

イモビライザーシステムはアドバンストキーに信号発信機を内蔵し、あらかじめ登録されたアドバンストキー以外ではエンジンを始動できないようにした車両盗難防止装置です。

### ! 注意

キーの故障を防ぐために次のことをお守りください。

- 強い衝撃をあたえたり、ぬらしたりしないでください。
- 磁気を帯びた製品を近づけないでください。
- インstrumentパネルやボンネットの上など直射日光が当たる場所や高温になる所に放置しないでください。

### 📖 知識

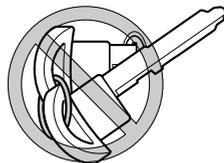
アドバンストキーの電池切れや故障などにより、補助キーでエンジンを始動するとき、次のような状態にしないでください。車両が補助キーからの信号を正確に受信できず、エンジンが始動できない場合があります。

- キーグリップに金属製のリングがのっている

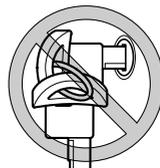


### 📖 知識

- キーグリップ部に他のキーの金属部や金属製のものが接している



- 補助キーにスペアの補助キーや他の車両の盗難防止システムキー（信号発信機内蔵のもの）が重なっている、または近くにある



- 補助キーの近くに電子部品を含んだ製品やクレジットカードなどの磁気カードがある

## システム作動

電源ポジションをONからACCまたはOFFにするとシステムが作動し、セキュリティ表示灯が点滅します。



### 3.操作と取り扱い

## 盗難防止システム

### システム解除

登録されたアドバンストキーで電源ポジションをONにするとシステムが解除され、表示灯が約3秒間点灯した後消灯します。表示灯が消灯せず点灯または点滅し続けるときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

### 知識

- アドバンストキーを車内でも感知しにくい場所に置いておくと、エンジンの始動ができず、セキュリティ表示灯が点灯/点滅する可能性があります。  
→87ページ「作動範囲」  
アドバンストキーを別の場所に置いて、電源ポジションをOFFにもどし、再度エンジンを始動してください。
- テレビ、ラジオ、トランシーバー、携帯電話などからの電波はイモビライザーシステムの作動に支障をあたえることがあります。登録されたアドバンストキーでもエンジンが始動しないときは、セキュリティ表示灯を確認してください。表示灯が点滅している場合は、電源ポジションをACCまたはOFFにもどし、しばらく待って再度エンジンを始動させてください。3回以上行ってもエンジンが始動しないときはマツダ販売店に連絡してください。
- セキュリティ表示灯が点灯/点滅したままの状態ではエンジンを停止すると、再度エンジンを始動することができません。運転中にセキュリティ表示灯が点灯/点滅した場合は、エンジンを停止せずマツダ販売店で点検を受けてください。

### 知識

- イモビライザーシステムを修理するときはコードを再登録するためにアドバンストキー（補助キー含む）が必要です。お手持ちのすべてのアドバンストキー（補助キー含む）をマツダ販売店に持参してください。

### メンテナンスについて

イモビライザーシステムまたはアドバンストキーに異常が見られる場合はマツダ販売店にご相談ください。

### 知識

- アドバンストキーを紛失したときのために、スペアのアドバンストキーを保管しておいてください。万一紛失したときはすぐにマツダ販売店にご相談ください。
- アドバンストキーには特有の電子コードが含まれていますので、マツダ販売店以外でアドバンストキーを追加することはできません。
- アドバンストキー（補助キー含む）を紛失した場合、盗難防止のため、イモビライザーシステムに登録されているアドバンストキーのコードをマツダ販売店で消去できます。消去した後に、今後使用するアドバンストキーを再登録する必要がありますので、お手持ちのすべてのアドバンストキー（補助キー含む）をマツダ販売店へ持参してください。登録されていないアドバンストキーではエンジンを始動することができません。

## 作動保証について

次のような場合はイモビライザーシステムの作動を保証できません。

- イモビライザーシステムを改造した場合。
- イモビライザーシステムに付加部品を取り付けた場合。



### 注意

車両の故障を防ぐために、システムを改造したり、付加部品を取り付けたりしないでください。

## ハンドル

### 警告

■ 調節は必ず車両を停止した状態で行なってください。

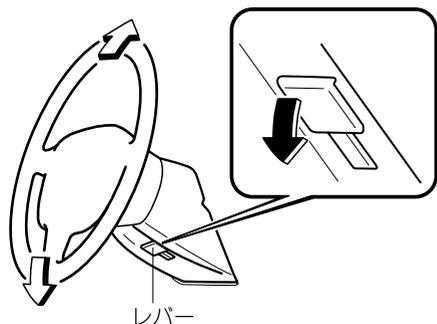
走行中に調節すると、運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 調節後は、ハンドルを上下にゆさぶり、確実にロックされていることを確認してください。

走行中ハンドルが不意に動くと運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 角度調節

ハンドル操作が適切にできる位置に調節することができます。



- 1] レバーを下げて、ハンドルを適切な位置に調節します。
- 2] 調節後は、レバーを押し上げてロックします。

## ドアミラー

### 警告

■ 調節は走行前に行なってください。

走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

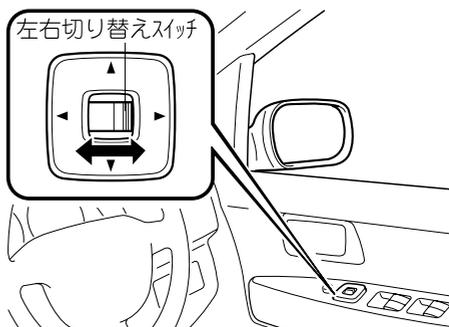
### 知識

ドアミラーに映る像の距離感覚は、実際より遠くに見えます。車線変更するときは、必ず肩越しに目視して後続車との距離を確認してください。

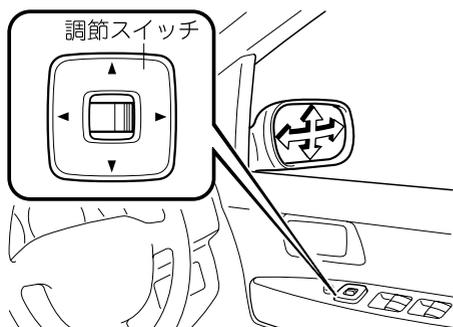
### 角度調節

電源ポジションがACCまたはONのとき調節ができます。

- 1] 左右切り替えスイッチを右側（運転席側）または左側（助手席側）に動かします。



- 2 調節スイッチを押して、後方が十分確認できるように調節します。



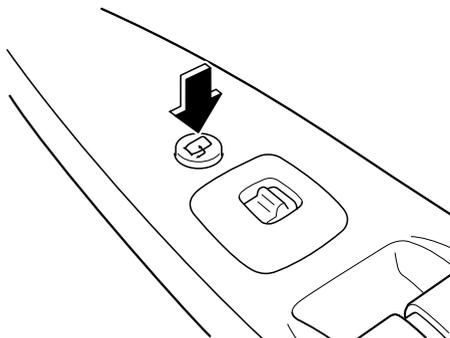
- 3 ミラーの調節後は、左右切り替えスイッチを中立位置にもどします。

## 格納するとき

### 注意

- ミラーを格納したまま走行しないでください。後方確認ができなくなります。
- 手で格納することもできますが、もともどすときにはスイッチで操作してください。手動でもともどすと、ミラーが固定されず後方確認ができなくなります。

電源ポジションがACCまたはONのときに格納できます。  
格納スイッチを押すと格納されます。  
もう一度押すともともどります。

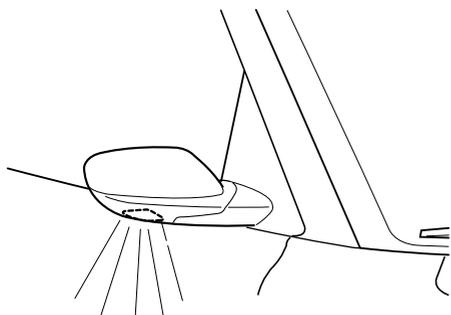


### 3.操作と取り扱い 各部の調節

#### グラウンドイルミネーション ランプ☆

イルミネーテッドエントリーシステムの作動により点灯/消灯します。

→166ページ「イルミネーテッドエントリーシステム」



#### ルームミラー



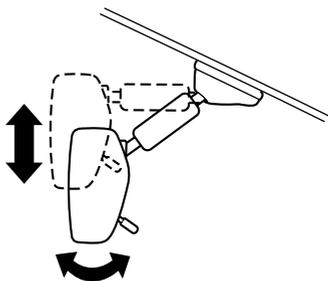
**警告**

■ 調節は走行前に行なってください。

走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

#### 角度/高さ調節

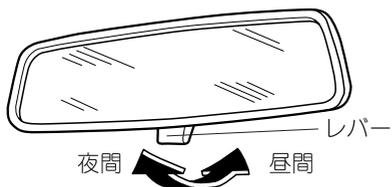
ミラー本体を動かして、後方が十分確認できるように調節します。



## 防眩切り替え

通常は、レバーを前方に押した状態にします。

夜間など、後続車のヘッドランプがまぶしいときは、レバーを手前に引いて調節します。

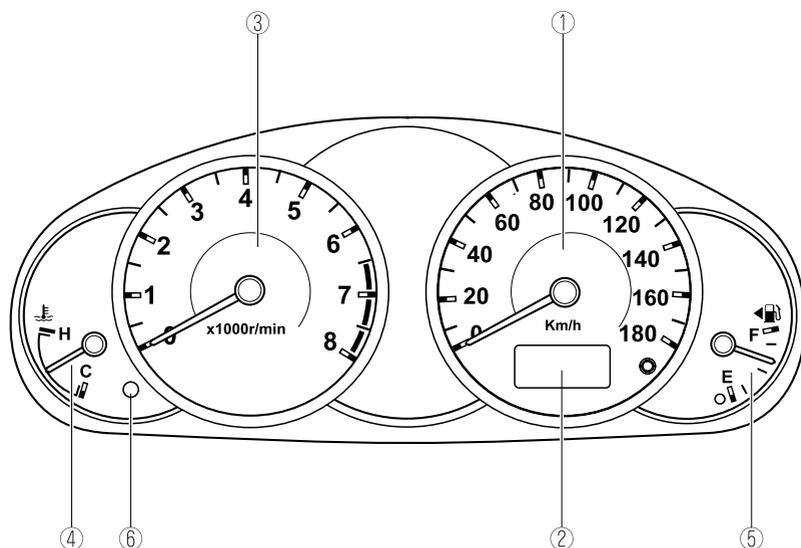


## メーター、警告灯、表示灯の見方

### メーター

メーターはグレードや仕様により異なります。

電源ポジションをONにするとメーター照明が点灯します。



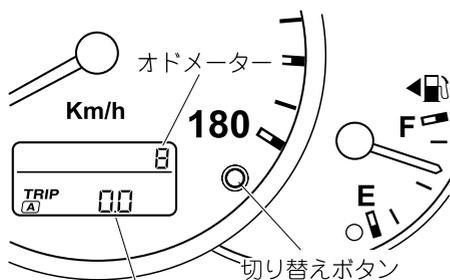
① スピードメーター .....	121ページ
② オドメーター/トリップメーター/平均燃費表示 .....	121ページ
③ タコメーター .....	122ページ
④ 水温計 .....	122ページ
⑤ 燃料計 .....	123ページ
⑥ メーター照度調節ボタン .....	123ページ

## スピードメーター

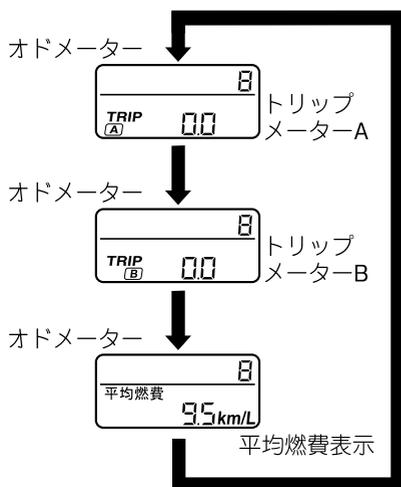
走行速度をkm/hで示します。

## オドメーター/トリップメーター/ 平均燃費表示

電源ポジションがONのとき、切り替えボタンを押すごとに、次のように表示が切り替わります。



トリップメーター、平均燃費表示



## オドメーター

走行した総距離をkm単位で示します。

## トリップメーター

一定区間の走行距離をkm単位で示します。  
(右側の数字は100m単位です。)

“TRIP” が表示されます。

2種類 (TRIP A、TRIP B) の区間距離を計測することができます。

たとえば、TRIP Aモードで給油してからの距離を測りながら、TRIP Bモードで出発してからの距離を測ることができます。

トリップメーターを“0.0”にもどすときは、それぞれのモードのとき切り替えボタンを1秒以上押し続けます。

## 知識

次のようなときは、トリップメーターの表示が“0.0”にもどります。

- 車両整備などでバッテリーとの接続が断られたとき。
- 走行距離が999.9kmを超えたとき。

## 平均燃費表示

お車を購入された時、または、過去のデータを消去した時はデータを消去した時からの累積走行距離と累積消費燃料から、約1分間毎に平均燃費を算出して表示します。

## 平均燃費

9.5 km/L

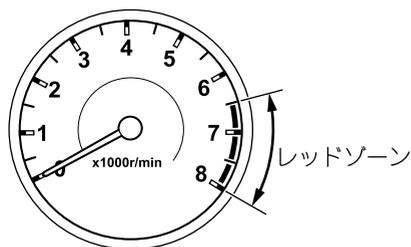
## メーター、警告灯、表示灯の見方

### 知識

- 表示されている過去のデータを消去するには、切り替えボタンを約1秒以上押します。データを消去すると、燃費を再算出して表示する前に1分間 “—km/L” を表示します。
- 車両整備などでバッテリーとの接続が断たれると、過去の累積データは消去されます。

### タコメーター

1分間あたりのエンジン回転数を示します。

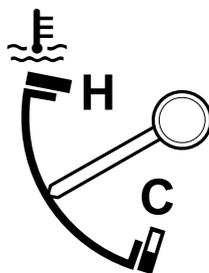


### 注意

指針がレッドゾーン（許容回転数以上を示す）にはいらないように運転してください。エンジンの故障につながるおそれがあります。

### 水温計

電源ポジションがONのとき、エンジン冷却水の温度を示します。

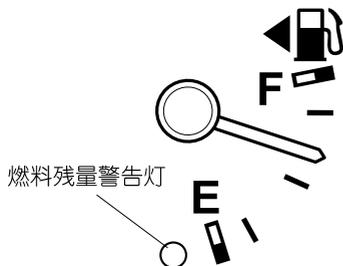


### 注意

指針が“H”付近を示したときはオーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。そのまま走行を続けると、エンジンの故障につながるおそれがあります。  
→188ページ「オーバーヒートについて」

## 燃料計

電源ポジションがONのとき、燃料の残量を示します。



指針が“E”に近づいたら、早めに燃料を補給してください。

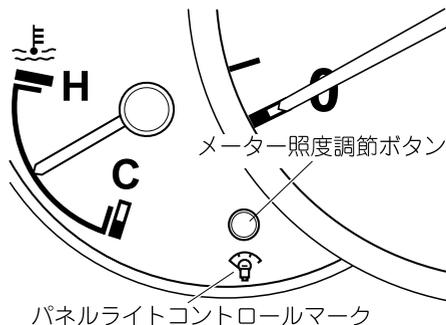
→108ページ「燃料補給口」

### 知識

- 燃料補給後は、指針が安定するまでしばらく時間がかかる場合があります。また、坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、指針が振れることがあります。
- 矢印(📍)は燃料補給口が助手席側にあることを示します。
- 燃料タンク内の燃料残量が8L前後になった時に点灯します。点灯したときは、すみやかに燃料を補給してください。
- 走行状況や車両姿勢によっては、タンク内の燃料が移動する為、警告灯の点灯タイミングが変わる場合があります。

## メーター照度調節ボタン

電源ポジションがONのとき使用できます。



### 照度調節機能(ヘッドランプおよび車幅灯消灯時)

ヘッドランプおよび車幅灯が消灯しているとき(ランプスイッチがOFFの位置のとき)、照度調節ボタンを押すごとに、メーターの照度が5段階に切り替わります。

### 減光解除機能(ヘッドランプまたは車幅灯点灯時)

ヘッドランプまたは車幅灯が点灯すると(ランプスイッチが●または☐の位置のとき)、メーターの照明が減光されます。雪道や霧での走行時など、周囲が明るく減光状態ではメーターが見えにくい場合に、減光を解除してください。

照度調節ボタンを押すと、メーターの減光が解除されメーターの照明が明るくなります。もう一度押すともとの減光状態にもどります。

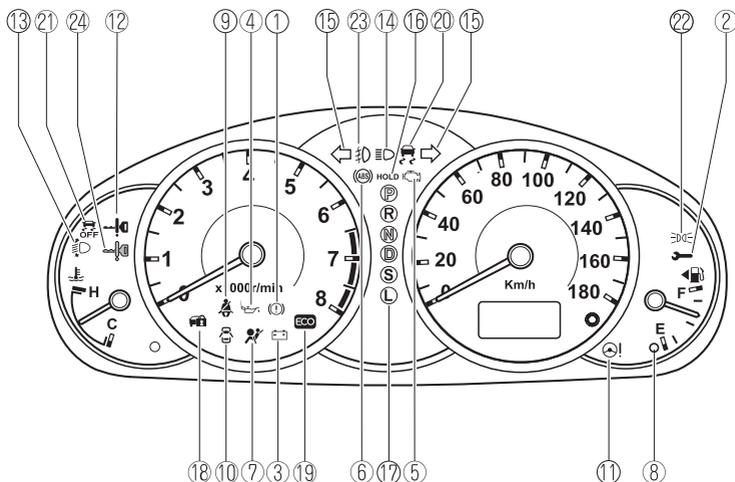
### 知識

パネルライトコントロールマーク📍は照度調節ボタンを示しています。

# メーター、警告灯、表示灯の見方

## 警告灯、表示灯

メーターはグレードや仕様により異なります。



- |                                      |        |  |        |
|--------------------------------------|--------|--|--------|
| ① ブレーキ警告灯 .....                      | 125ページ | ⑬ ヘッドランプオートレベリング<br>警告灯<br>(ヘッドランプオートレベリング装<br>備車) ..... | 132ページ |
| ② 故障警告表示灯 .....                      | 126ページ | ⑭ ヘッドランプ上向き<br>表示灯 .....                                 | 132ページ |
| ③ 充電警告灯 .....                        | 126ページ | ⑮ 方向指示/<br>非常点滅表示灯 .....                                 | 132ページ |
| ④ 油圧警告灯 .....                        | 126ページ | ⑯ ホールドモード表示灯 ...   | 132ページ |
| ⑤ エンジン警告灯 .....                      | 127ページ | ⑰ セレクトレバー位置<br>表示灯 .....                                 | 133ページ |
| ⑥ ABS警告灯 .....                       | 127ページ | ⑱ セキュリティ表示灯 .....  | 133ページ |
| ⑦ エアバッグ警告灯/<br>プリテンショナー<br>警告灯 ..... | 128ページ | ⑲ ECO表示灯 .....   | 134ページ |
| ⑧ 燃料残量警告灯 .....                      | 129ページ | ⑳ TCS/DSC作動表示灯 ...                                       | 134ページ |
| ⑨ シートベルト警告灯 .....                    | 129ページ | ㉑ DSC OFF表示灯 .....                                       | 134ページ |
| ⑩ 半ドア警告灯 .....                       | 130ページ | ㉒ 車幅灯表示灯 .....   | 134ページ |
| ⑪ 電動パワーステアリング<br>警告灯 .....           | 130ページ |  |        |
| ⑫ KEY警告灯 (赤) .....                   | 131ページ |  |        |

- ②③ フロントフォグランプ  
表示灯 ..... 135ページ
- ②④ KEY表示灯 (緑) ..... 135ページ

## ブレーキ警告灯



### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- パーキングブレーキをかけているときは点灯します。パーキングブレーキを解除すると消灯します。
- 次のようなときは点灯し続けます。ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。
  - ・ ブレーキ液が不足しているとき。
  - ・ ブレーキ装置 (電子制御制動力配分システム) に異常があるとき。
  - ・ ブレーキスイッチに異常があるとき。☆



### 警告

#### ■ ブレーキ警告灯が点灯したまま走行しないでください。

ブレーキが効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。また停車するときは、ブレーキの効きが悪くなっているおそれがあるため、ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。

#### ■ ブレーキ警告灯とABS警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。

急制動時に後輪が通常より早くロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 故障警告表示灯☆



#### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- ブレーキスイッチに異常があると点灯し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。

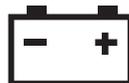


#### 警告

■ 故障警告表示灯が点灯したまま走行しないでください。

ブレーキランプスイッチやエンジン制御システムなどが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。

### 充電警告灯



#### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。
- エンジン回転中、充電装置に異常があると点灯します。ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。



#### 警告

■ 充電警告灯が点灯したまま走行しないでください。

エンジンが不意に停止して思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 油圧警告灯



#### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。

- エンジン回転中、エンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。ただちに安全な場所に停車し、エンジンを止め、エンジンオイルの量を点検してください。エンジンオイルの量が不足しているときは補充してください。

エンジンオイルの量が不足していないのに点灯するときや、補充しても点灯し続けるときは、マツダ販売店に連絡してください。

### 注意

油圧警告灯が点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。

### 知識

エンジンオイルの点検、補充については別冊のメンテナンスノートに記載してあります。

## エンジン警告灯



### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。
- エンジン制御システムに異常があると点灯し続けます。高速走行をせず、マツダ販売店で点検を受けてください。

### 知識

点検を受けるときは、エンジン警告灯が点灯したときの走行状態をマツダ販売店にご連絡ください。

## ABS警告灯



### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- システムに異常があるときは点灯し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。

## メーター、警告灯、表示灯の見方



### 警告

■ ブレーキ警告灯とABS警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。

急制動時に後輪が通常より早くロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



### 知識

- ABS警告灯が点灯しているときは、ABSが作動しないため、急制動時やすべりやすい路面での制動時には、車輪がロックすることがあります。
- ABS警告灯が点灯しているときは、ABSは作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。

### エアバッグ警告灯/ プリテンショナー警告灯



### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
  - ・ 電源ポジションをONにしても点灯しないとき。
  - ・ 点灯し続けるとき。

### 点滅するとき

点滅し続けるときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。



### 警告

■ エアバッグ警告灯/プリテンショナー警告灯が点灯または点滅したまま走行しないでください。

衝突したときにエアバッグまたはプリテンショナー機構が正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。

## 燃料残量警告灯



### 点灯するとき

電源ポジションがONのとき燃料が少なくなると点灯します。燃料を補給すると消灯します。

### 知識

- 燃料タンク内の燃料残量が8L前後になった時に点灯します。点灯したときは、すみやかに燃料を補給してください。
- 走行状況や車両姿勢によっては、タンク内の燃料が移動する為、警告灯の点灯タイミングが変わる場合があります。

## シートベルト警告灯



### 点灯するとき

電源ポジションがONのとき、運転席シートベルトを着用していないと点灯します。運転席シートベルトを着用すると消灯します。

### 点滅するとき

運転席シートベルトを着用しないまま約20km/h以上になると点滅します。その後も着用しないままだと点灯しつづけます。運転席シートベルトを着用すると消灯します。

→47ページ「正しい着用のしかた」

### 半ドア警告灯



#### 点灯するとき

ドア、リヤゲートが確実に閉まっていないと点灯します。ドア、リヤゲートを確実に閉めると消灯します。



#### 警告

■半ドア警告灯が点灯したまま走行しないでください。

走行中にドア、リヤゲートが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 電動パワーステアリング警告灯



#### 点灯するとき

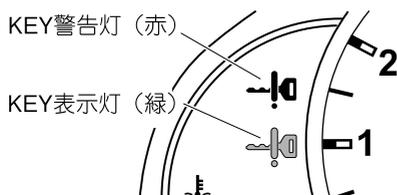
- 電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。
- エンジン回転中、電動パワーステアリングに異常があると点灯します。警告灯が点灯したときはエンジンを停止してください。エンジンを再始動したとき、警告灯が消灯していればパワーステアリングは正常に作動します。エンジンを再始動した後でも警告灯が消灯しない場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。



#### 知識

- 警告灯が点灯したときは、電動パワーステアリングは正常に作動しません。この場合、ステアリング操作は可能ですが、通常に比べて操作が重くなります。
- 停車中または低速走行時にステアリング操作を繰り返すと、システム保護のためステアリング操作が重くなる場合がありますが、異常ではありません。安全な場所に停車し、ステアリング操作を行わないでください。しばらくするとともにもとに戻ります。

## KEY警告灯 (赤)



### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- アドバンストキーレス機能になんらかの故障が発生すると点灯し続けます。

### 注意

KEY警告灯 (赤) が点灯し続けるときは、アドバンストキーレス機能による運転を続けしないでください。安全な場所に停車し、補助キーによる運転に切り替え、早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

### 点滅するとき

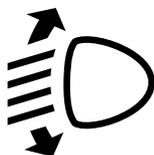
- 次のようなとき、警告灯が点滅し、電源ポジションをOFF以外にできないことをお知らせます。
  - ・ アドバンストキーの電池が切れたとき  
→85ページ「電池の交換」
  - ・ アドバンストキーが作動範囲内にないとき
  - ・ アドバンストキーを車内でも感知しにくい場所に置いているとき  
→87ページ「作動範囲」
  - ・ アドバンストキーに類似した他社のキーが作動範囲内にあるとき

- 次のようなときは警告灯が点滅し続け、電源ポジションをOFFにせずに、アドバンストキーを車外に持ち出したことを知らせます。
  - ・ アドバンストキーを車内にもどすと消灯します。
  - ・ 電源ポジションをOFFにせずに、運転席ドアを開け、アドバンストキーを車外に持ち出したとき
  - ・ 電源ポジションをOFFにせずに、アドバンストキーを車外に持ち出したあと、すべてのドアを閉めたとき

### 知識

- (窓、運転席以外のドアからの持ち出し) 設定を変更することで、アドバンストキーを窓や運転席以外のドアから車外に持ち出したときにもKEY警告灯 (赤) が点滅し続けるようにすることができます。(電源ポジションがACCのときは、設定の変更をしなくても、アドバンストキーを車外に持ち出した後、しばらくのあいだはKEY警告灯 (赤) が点滅し続けます。)  
→97ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」
- 警告灯の点滅と同時にチャイムでもお知らせします。  
→95ページ「警報」

ヘッドランプオートレベリング警告灯  
(ヘッドランプオートレベリング装備車)



点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。  
マツダ販売店で点検を受けてください。

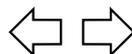
ヘッドランプ上向き表示灯



点灯するとき

ヘッドランプを上向き(ハイビーム)にすると点灯します。下向き(ロービーム)にすると消灯します。

方向指示/非常点滅表示灯



点滅するとき

方向指示器/非常点滅灯スイッチを操作すると点滅します。

点滅が異常に速くなったとき

点滅が異常に速くなったときは電球切れが考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

ホールドモード表示灯

ホールドスイッチを押してホールドモードにすると点灯します。

→152ページ「ホールドモード」

**HOLD**

ホールドモード表示灯が点滅したときは、システムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

## セレクトレバー位置表示灯

電源ポジションがONのとき、使用中のセレクトレバーのセット位置を示します。



## セキュリティ表示灯



### 点滅するとき

- 電源ポジションをONからACCまたはOFFにするとシステムが作動し、セキュリティ表示灯が点滅します。登録されたキー/アドバンストキーで電源ポジションをONにするとシステムが解除され、約3秒間表示灯が点灯した後消灯します。
- 登録されたキー/アドバンストキーで電源ポジションをONにしても表示灯が点滅し続けるときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

### 点灯するとき

登録されたアドバンストキーで電源ポジションをONにしても表示等が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

### 3.操作と取り扱い

## メーター、警告灯、表示灯の見方

### ECO表示灯



#### 点灯するとき

環境にやさしい運転をしているときに点灯します。アクセルペダルを急激に踏み込むと消灯します。



#### 知識

表示灯を消灯させないように走ることで、燃費の向上が期待できます。

### TCS/DSC作動表示灯



#### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
  - ・ 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
  - ・ 走行中に点灯したとき。

#### 点滅するとき

走行中にTCSまたはDSCが作動すると点滅します。

### DSC OFF表示灯



#### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- DSC OFFスイッチを押して、TCS/DSCを解除すると点灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
  - ・ 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
  - ・ TCS/DSCを解除していないのに点灯したとき。

### 車幅灯表示灯



#### 点灯するとき

ランプスイッチが $\equiv$ 0 $\equiv$ 、 $\equiv$ Dの位置のときに点灯します。  
AUTOの位置のときは車幅灯、尾灯が点灯すると点灯します。

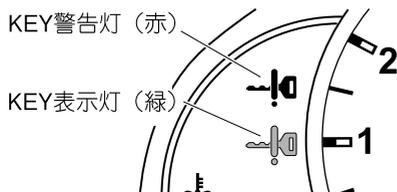
## フロントフォグランプ表示灯



### 点灯するとき

フォグランプを点灯させると点灯します。  
フォグランプを消灯させると消灯します。

## KEY表示灯 (緑)



### 点灯するとき

電源ポジションがOFFの状態ですタートノブを押し込んだとき、正規のアドバンストキーが車内にあることを確認できると点灯し、スタートノブをACCにまわすことができることを知らせます。

→89ページ「エンジンの始動」

### 点滅するとき

アドバンストキーの電池容量が残り少なくなっていると、電源ポジションをONからACCまたはOFFにしたときに、30秒間点滅します。

アドバンストキーが使用できなくなる前に新しい電池と交換してください。

→85ページ「電池の交換」

## 警報音

### キー抜き忘れ防止チャイム

補助キーを差し込んだまま、電源ポジションをOFFまたはACCにして運転席ドアを開けると、チャイムが鳴り補助キーの抜き忘れを知らせてくれます。

### ランプ消し忘れ防止チャイム

ランプを点灯させたまま、電源ポジションをOFFにして (補助キー使用時はエンジンスイッチから補助キーを抜いて)、運転席ドアを開けると、チャイムが鳴りランプの消し忘れを知らせてくれます。

### リバースポジションチャイム

電源ポジションがONのとき、セレクトレバーをRにいれるとチャイムが鳴り、セレクトレバーがRにはまっていることを運転者に知らせます。

車外の人には聞こえないので注意してください。

### シートベルト着用忘れチャイム

運転席シートベルトを着用していないまま、車速が約20km/h以上になるとしばらくの間チャイムが鳴ります。(鳴り始めると、車速を落としても鳴り続けます。)

運転席シートベルトを着用すると鳴り止みます。

### アドバンストキーレス警報

アドバンストキーレス機能を誤って使用した場合や、使用上の注意が必要な場合にチャイムとメーターの表示灯で知らせます。

→95ページ「警報」

### 3.操作と取り扱い スイッチの使いかた

## ランプスイッチ

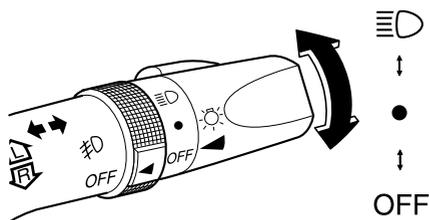
### ランプの点灯/消灯

電源ポジションに関係なく使用できます。  
ランプスイッチをまわすと、各ランプが点灯/消灯します。

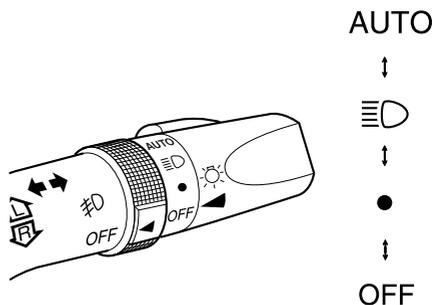
#### 知識

- エンジンを停止しているときに、ランプを点灯させたままにしないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ヘッドランプ、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇ると同様の現象であり、機能上の問題はありません。ただし、レンズ内面に大粒の水 droplet がついているときやランプ内に水がたまっているときは、マツダ販売店にご相談ください。

#### 標準タイプ



#### オートライト機能付きタイプ



スイッチ位置	OFF	AUTO <sup>*1</sup>	●	≡D
ヘッドランプ	消灯	自動で点灯/消灯	消灯	点灯
車幅灯、尾灯、番号灯	消灯		点灯	点灯

\*1 オート機能付きタイプ

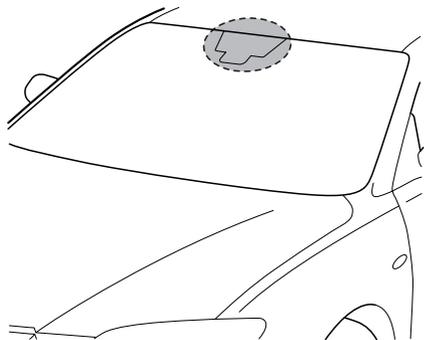
#### オートライト機能

電源ポジションがONのとき使用できます。  
ランプスイッチをAUTOの位置にすると、周囲の明るさに応じてランプが自動で点灯/消灯します。

周囲の明るさ	明るい	薄暗い	暗い
ヘッドランプ	消灯	消灯	点灯
車幅灯、尾灯、番号灯	消灯	点灯	点灯

## ⚠ 注意

- フロントガラスにステッカーやラベルなどを貼り付けてライトセンサーを覆わないでください。センサーが周囲の明るさを正確に感知できなくなります。



- ライトセンサーはオートワイパー機能のレインセンサーの役割も果たしています。ワイパーレバーがAUTOの位置で、電源ポジションがONのときはワイパーが自動で作動することがあります。手や指などを挟まないよう気をつけてください。万一手や指を挟むと、けがやワイパーの故障につながるおそれがあります。  
→142ページ「フロントワイパー/ウォッシャー」

## 📖 知識

- 長いトンネルやトンネル内での渋滞、屋内駐車場など、周囲が暗い状態が数分間続くとライトセンサーが夜間と判断し、周囲が明るくなくてもランプがすぐには消灯しない場合があります。この場合はランプスイッチをOFFの位置にすれば消灯します。
- ランプスイッチがAUTOの位置のときに、電源ポジションをACCまたはOFFにすると、ランプは自動で消灯します。
- 車幅灯やヘッドランプを点灯させるタイミングを変更することができます。マツダ販売店へご相談ください。

## ディスチャージヘッドランプについて☆

ディスチャージヘッドランプは、太陽光に近い白い光で広範囲を照らします。ヘッドランプのロービームに装備されています。

## ⚠ 警告

- ディスチャージヘッドランプの交換・修理をするときは、必ずマツダ販売店へご相談ください。ディスチャージヘッドランプは高電圧を使用しているため、取り扱いを誤ると感電するおそれがあります。

## 📖 知識

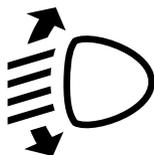
ヘッドランプが点滅するとき、または著しく明るさが低下したときはバルブの寿命が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

## スイッチの使いかた

### ヘッドランプレベリング (オートタイプ)

ヘッドランプを点灯したとき乗員や荷物の状況に応じてヘッドランプの照らす方向を上下方向へ自動で調節し、一定に保ちます。

#### ヘッドランプオートレベリング警告灯



#### 点灯するとき

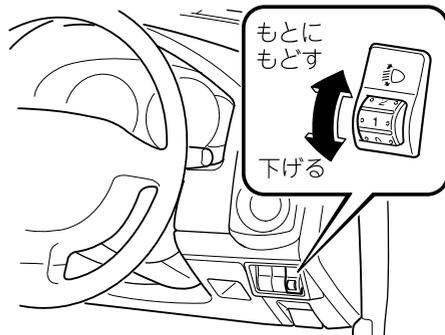
- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。  
マツダ販売店で点検を受けてください。

### ヘッドランプレベリング (マニュアルタイプ)

ヘッドランプが点灯しているとき、ヘッドランプの照らす方向を下向きに調節することができます。

乗員や荷物が多いときなど、ヘッドランプが通常よりも上向きを照らしているときは、スイッチをまわしてヘッドランプの照らす方向を下向きにしてください。

スイッチを下方向へまわすと、ヘッドランプの照らす方向が下向きに変わります。スイッチの数字が大きいほど下向きになります。



#### スイッチ位置の目安

積載状況		スイッチ位置
乗員	荷室	
運転席のみ乗車時	非積載時	0
	満載時	2
運転席と助手席乗車時	非積載時	0
全席乗車時	非積載時	1
	満載時	1

## 知識

- 乗員や荷物を降ろした後は、スイッチの位置を必ず **0** にもどしてください。
- 通常はスイッチの位置を **0** にして使用してください。
- 車検などで光軸調整をするときは、スイッチの位置を **0** にしてから行なってください。

## ランプ消し忘れ防止チャイム

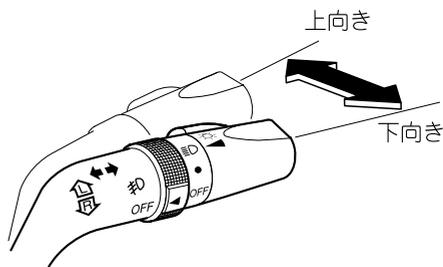
ランプを点灯させたまま、電源ポジションをOFFにして(補助キー使用時はエンジンスイッチから補助キーを抜いて)、運転席ドアを開けると、チャイムが鳴りランプの消し忘れを知らせます。

## ヘッドランプの切り替え

ヘッドランプが点灯しているとき、レバーを前後に操作すると、ヘッドランプの向きが切り替わります。

前方に押しと上向き(ハイビーム)、手前に引くと下向き(ロービーム)になります。

上向き(ハイビーム)のときは、メーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。



## 知識

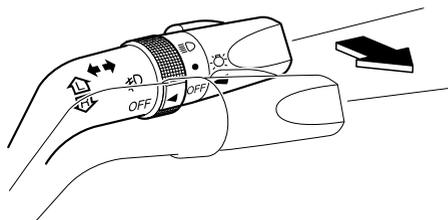
- 遠くを照らしたいときに上向き(ハイビーム)にしてください。
- 対向車がいるときや、市街地走行などで上向きが不適切なときは下向き(ロービーム)にしてください。

### 3.操作と取り扱い スイッチの使いかた

#### パッシング合図

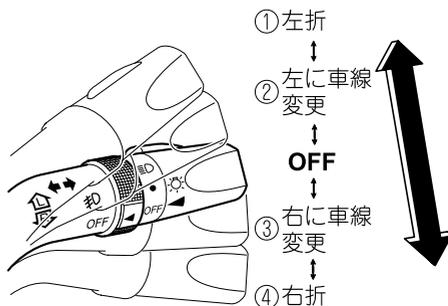
ランプスイッチの位置に関係なく、レバーを引いている間ヘッドランプが上向き(ハイビーム)で点灯します。

同時にメーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。



#### 方向指示器

##### 方向指示器の操作



電源ポジションがONのとき使用できます。レバーを操作すると、左または右のメーター内の方向指示灯が点滅し、手を離すと消灯します。

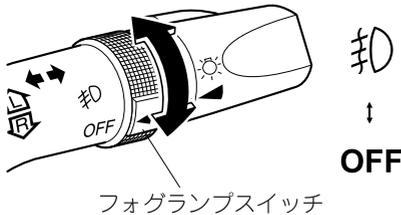
レバーはハンドルをもどすと、自動的にもとの位置にもどります。もどらないときは、手でもどしてください。

#### 知識

- 点滅が異常に速くなった場合は、電球切れが考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
- 方向指示器を操作するときは、非常点滅灯スイッチをOFFの位置にしてください。非常点滅灯が作動しているときは、方向指示灯は作動しません。

## フォグランプスイッチ★

霧などで視界が悪いときに使用します。ランプスイッチが●または②Dの位置のとき使用できます。フォグランプスイッチを①の位置にすると、フォグランプが点灯します。フォグランプが点灯しているときは、メーター内の表示灯が点灯します。



フォグランプスイッチをOFFの位置にする、またはランプスイッチをOFFの位置にすると消灯します。

## ワイパー/ ウォッシャースイッチ

電源ポジションがONのとき作動します。

### 警告

■ 寒冷時にウォッシャー液を噴射するときは、ガラスをあたためてから行なってください。ウォッシャー液がガラス面で凍結し、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 注意

- 凍結時や長時間ワイパーを使用しなかったときは、ワイパーゴムがガラスに貼り付いていることがあります。ガラスに貼り付いたまま作動させると、ワイパーゴムの損傷、ワイパーモーターの故障につながるおそれがあります。
- ガラスがかわいているままでワイパーを作動させると、ガラスに傷がついたりワイパーゴムを損傷するおそれがあります。ガラスがかわいているときは、ウォッシャー液を噴射してください。
- ウォッシャー液が十分に出ないときは、ウォッシャースイッチを使用しないでください。ウォッシャー液が出ないままで、ウォッシャースイッチを操作し続けると、ポンプの故障につながるおそれがあります。

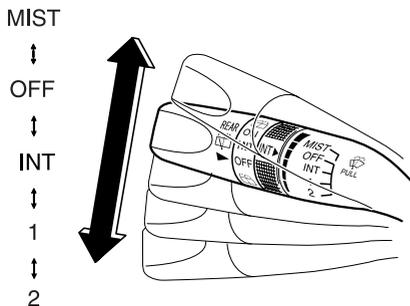
### 3.操作と取り扱い スイッチの使いかた

#### 知識

- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、ノズルに異物がつまっていることがあります。針などでつまりを取ってください。
- 降雪時にワイパーを作動させていると、ガラスに雪が積もってワイパーが停止することがあります。積雪などでワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してワイパースイッチをOFFの位置にした後、積もった雪を取り除いてください。

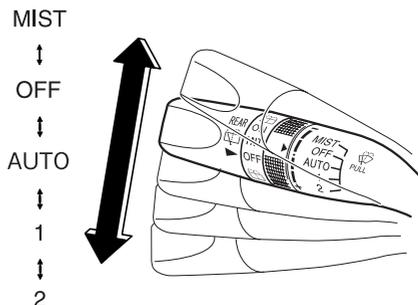
#### フロントワイパー/ウォッシャー

##### ワイパーの操作 (標準タイプ)



レバー位置	作動状態
MIST	レバーを上押ししている間作動
OFF	停止
INT	間欠作動
1	低速作動
2	高速作動

##### ワイパーの操作 (オートワイパー機能付きタイプ)



レバー位置	作動状態
MIST	レバーを上押ししている間作動
OFF	停止
AUTO	オートワイパー機能
1	低速作動
2	高速作動

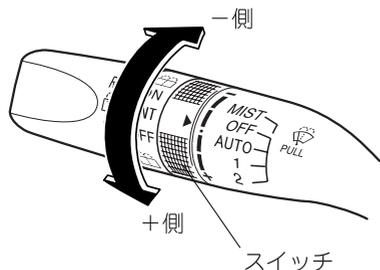
##### オートワイパー機能

レバーをAUTO位置にしているとき、レインセンサーが雨を検知すると、ワイパーが自動で作動します。

雨量	作動状態
少ない	間欠作動
普通	低速作動
多い	高速作動

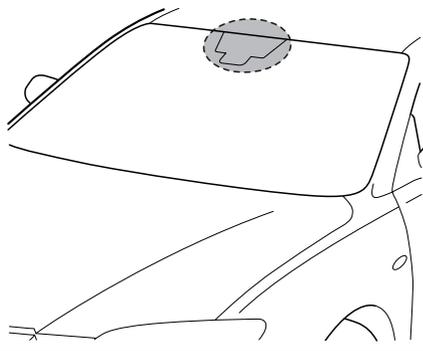
スイッチをまわすと、雨に反応する感度を調節できます。

スイッチ位置	感度
－側	雨に反応しにくい
＋側	雨に反応しやすい



## ⚠ 注意

- フロントガラスにステッカーやラベルなどを貼り付けてレインセンサーを覆わないでください。センサーが雨量を正確に感知できなくなります。



## ⚠ 注意

- 電源ポジションがONで、ワイパーレバーがAUTOの位置のとき、つぎのような場合はワイパーが自動で作動することがあります。手や指を挟まないよう注意してください。万一手や指を挟むと、けがやワイパーの故障につながるおそれがあります。
- フロントガラスのレインセンサー上部に触れたとき。
- フロントガラスのレインセンサー上部を布などで拭いたとき。
- フロントガラスに衝撃をあたえたとき。
- レインセンサーに車内から衝撃をあたえたとき。

洗車やメンテナンスを行なうときは、ワイパーレバーをOFFの位置にしてください。

## 📖 知識

- 車速が約4km/h以上で走行中（または走行後）にスイッチをOFFからAUTOの位置にすると、ワイパーが1回作動した後、雨量に応じて作動します。
- レインセンサーの温度が $-10^{\circ}\text{C}$ 以下、または $85^{\circ}\text{C}$ 以上のときはオートワイパーが作動しないことがあります。
- フロントガラスに純正品以外の撥水コーティングを使用すると、レインセンサーが雨量を正確に検知できず、オートワイパーが正常に作動しないことがあります。純正品以外の撥水コーティングは使用しないでください。

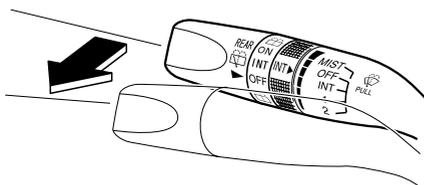
### 3.操作と取り扱い スイッチの使いかた

#### 知識

- フロントガラスのレインセンサー上部に泥や異物(氷や塩水などを含むもの)が付着しているときや、フロントガラスが凍っているとき、ワイパーが自動で作動することがあります。ワイパーが数回作動してもセンサー上部の泥や異物、氷などを取り除けないときは、オートワイパーは作動を停止します。ワイパーレバーを1または2にしてワイパーを作動させるか、フロントガラスの泥や異物、氷などを取り除いてからオートワイパーを作動させてください。
- レインセンサーは光学センサーを使用しているため、強い光源、電磁波、赤外線等の影響により、ワイパーレバーがAUTOの位置のとき、ワイパーが自動で作動することがあります。雨天時以外はワイパーレバーをOFFの位置にして走行することをおすすめします。

#### ウォッシャーの操作

レバーを手前に引いている間、ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。



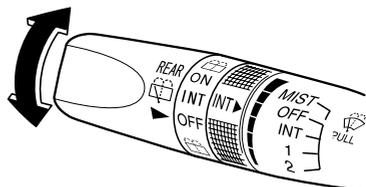
#### リヤワイパー/ウォッシャー



ON

INT

OFF



スイッチ位置	作動状態
	リヤウォッシャー作動
ON	連続作動
INT	間欠作動
OFF	停止
	リヤウォッシャー作動

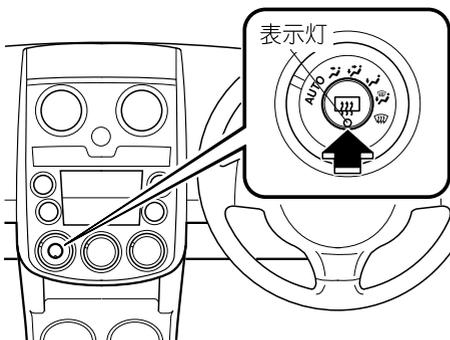
スイッチをの位置にまわしている間、ウォッシャー液が噴射します。

ワイパーの作動中にウォッシャー液を噴射させるときは、スイッチをONの位置から上側にまわします。

## リヤウインドーデフォッ ガー(曇り取り)スイッチ

リヤウインドーを熱線であたため、曇りを取り  
ります。

電源ポジションがONのとき使用できます。  
スイッチを押すと作動します。  
作動中はスイッチ内の表示灯が点灯しま  
す。  
作動を停止したいときは、もう一度スイッチ  
を押します。



### ⚠ 注意

リヤウインドーの内側には熱線が取り付け  
てあります。清掃するときは熱線を傷つ  
けないようにしてください。

→215ページ「ガラス、ミラーの手入れ」

### 📖 知識

エンジン回転中に使用してください。ま  
た、連続して長時間使用しないでくださ  
い。バッテリーがあがるおそれがあり  
ます。

## ホーン

ハンドルの $\text{HORN}$ マーク周辺部を押すとホーン  
が鳴ります。

### 非常点滅灯スイッチ

故障などでやむをえず路上駐車するときや、非常時に使用します。

スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅します。同時にメーター内にある非常点滅表示灯も点滅します。

もう一度押すと消灯します。



#### 知識

方向指示器を操作するときは、非常点滅灯スイッチをOFFの位置にしてください。

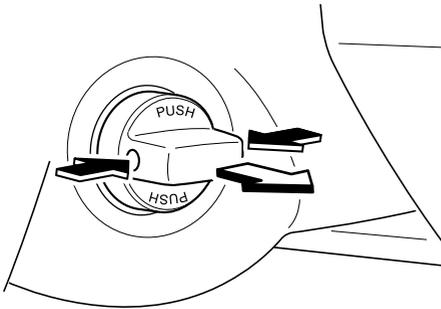
## 電源ポジション (エンジンスイッチ)

### 知識

アドバンストキーレス機能を使ってエンジンをかけるときは89ページの「エンジンの始動」をお読みください。

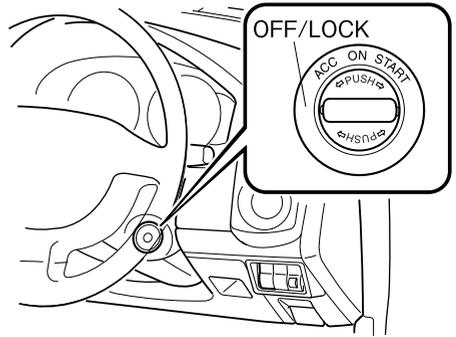
キー（補助キー）を使ってエンジンをかけるときは、次の操作を行ってください。

- 1 補助キーをアドバンストキーから取りはずします。  
→94ページ「補助キー機能」
- 2 スタートノブをエンジンスイッチから取りはずします。  
スタートノブは左右両側のボタンを押したまま手前に引くと、取りはずすことができます。



- 3 補助キーをエンジンスイッチへ差し込みます。

## 各位置の働き



※印字（刻印）は実際の車両と異なる場合があります。

電源 ポジション (エンジン スイッチ)	働き
OFF/LOCK	電源OFFの状態 補助キー（エンジンスイッチ） を抜き差しできる位置
ACC	エンジン停止時に、オーディオ などが使用できる位置
ON	エンジン回転中の位置
START	エンジンを始動する位置

エンジンスイッチをまわして、電源ポジションをACCからOFF、またはOFFからACCにするときは、補助キーを押し込んでまわしてください。

### 3.操作と取り扱い 運転装置の使いかた

#### 知識

- エンジンスイッチをまわして、電源ポジションをONにしたとき、燃料タンク付近からフューエルポンプのモーター作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- エンジンを止めたままで、オーディオなどを長時間使用したり、電源ポジションをONまたはACCのまま放置しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ハンドルがロックされているときは、補助キー（エンジンスイッチ）をまわしにくいことがあります。ハンドルを左右に動かしながら補助キー（エンジンスイッチ）をまわしてください。
- セレクトレバーの位置がP以外のときは、エンジンスイッチをまわして、電源ポジションをACCからOFFにすることができません。

#### キー抜き忘れ防止チャイム

補助キーを差し込んだまま、電源ポジションをOFFまたはACCにして運転席ドアを開けると、チャイムが鳴り補助キーの抜き忘れを知らせます。

## エンジンの始動

### エンジンをかける前に

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
- 2 セレクトレバーがPの位置にあることを確認します。
- 3 正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。  
ペダルの踏み間違いのないように、ペダルの位置を確認しておいてください。  
→40ページ「正しい運転姿勢」

### エンジンをかけるとき

- 1 ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- 2 アクセルペダルを踏まずにエンジンスイッチをまわして、電源ポジションをSTARTにし、エンジンをかけます。

#### 注意

連続して10秒以上エンジンスイッチをまわして、電源ポジションをSTARTにしないでください。スターターの故障やバッテリーあがりの原因になります。エンジンがかからないときは、エンジンスイッチをまわして、電源ポジションをOFFにもどし、10秒以上待ってからエンジンをかけなおしてください。

#### 知識

冷間始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転数が高くなりますが、自動的に適正な回転数に下がります。

## エンジンの停止

- 1 セレクトレバーをPの位置にします。
- 2 電源ポジションをOFFにします。

### 注意

車から離れるときは、電源ポジションがOFFになっていることを確認してください。

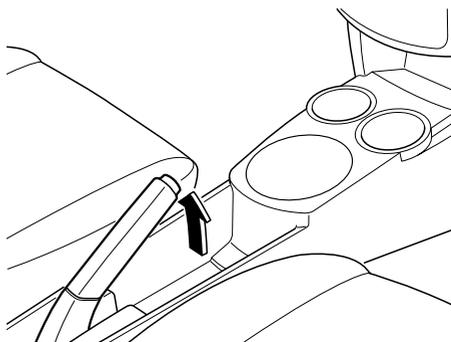
## ブレーキ

### パーキングブレーキ

#### 警告

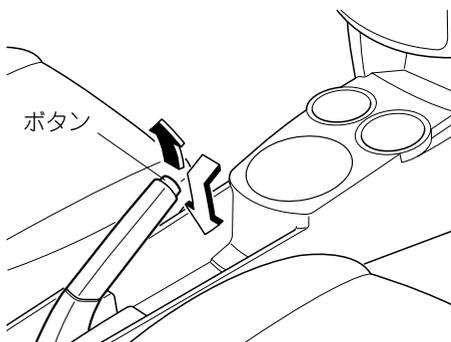
■ パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。  
ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱するためブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

#### かけるとき



#### 解除するとき

レバーを少し引き上げ、先端のボタンを押してもどします。



### 3.操作と取り扱い 運転装置の使いかた

#### ブレーキ警告灯



#### 点灯するとき

- 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- パーキングブレーキをかけているときは点灯します。パーキングブレーキを解除すると消灯します。
- 次のようなときは点灯し続けます。ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。
  - ・ ブレーキ液が不足しているとき。
  - ・ ブレーキ装置 (電子制御制動力配分システム) に異常があるとき。
  - ・ ブレーキスイッチに異常があるとき。☆

#### 警告

##### ■ ブレーキ警告灯が点灯したまま走行しないでください。

ブレーキが効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。また停車するときには、ブレーキの効きが悪くなっているおそれがあるため、ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。

##### ■ ブレーキ警告灯とABS警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。

急制動時に後輪が通常より早くロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

#### オートマチックトランスミッション

153ページの「オートマチック車を運転するとき」もあわせてお読みください。

#### 各位置の働き



#### P (パーキング)

駐車およびエンジンを始動する位置。  
Pでのみエンジンスイッチから補助キーを抜くことができます。

#### R (リバース)

車を後退させる位置。  
チャイムが鳴り、セレクトレバーがRにはいつていることを運転者に知らせます。

#### N (ニュートラル)

動力が伝わらない位置。  
エンジンを始動することはできますが、安全のためPの位置で行なってください。

#### D (ドライブ)

通常走行する位置。  
車速に応じて1速から4速までを自動変速します。

## S(スロープ)

下り坂などエンジンブレーキが必要なときに使用する位置。

車速に応じて1速から3速までを自動変速します。

## L(ロー)

急な下り坂など強力なエンジンブレーキが必要なときに使用する位置。

車速に応じて1速と2速を自動変速します。

## シフトロック装置

シフトロック装置は、発進時の誤操作を防ぐためのものです。

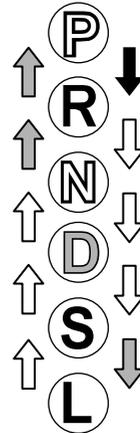
### セレクトレバーをPから動かすとき

- 1 ブレーキペダルを踏み込んだままにします。
- 2 エンジンを始動させます。
- 3 セレクトレバーを動かします。

### 知識

- 電源ポジションがOFFのときは、セレクトレバーをPから動かすことはできません。
- セレクトレバーがP以外の位置ではキーを抜くことができません。

## セレクトレバーの操作



### レバー操作

	ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーボタンを押して操作します。
	セレクトレバーボタンを押さずにそのまま操作します。
	セレクトレバーボタンを押して操作します。

### 3.操作と取り扱い 運転装置の使いかた

#### 警告

■  の操作はセレクトレバーボタンを押さずに行なってください。  
いつもボタンを押して操作していると、意に反してP、R、Lにいれてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。

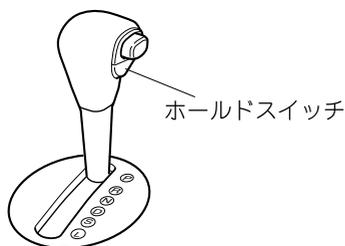
#### 知識

セレクトレバーをPから操作するとき、セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでから操作してください。

#### ホールドモード

##### ホールドスイッチ

ホールドスイッチを押すとホールドモードになります。  
もう一度押すと解除されます。



ホールドモードにすると、セレクトレバーの位置にあわせて各ギヤに固定されます。

セレクトレバーの位置	ギヤの状態
D	3速に固定されます。低速では2速と3速を自動変速します。
S	2速に固定されます。
L	1速に固定されます。

#### 知識

エンジンを停止するとホールドモードは解除されます。

##### ホールドモード表示灯

ホールドスイッチを押してホールドモードにすると点灯します。

# HOLD

ホールドモード表示灯が点滅したときは、システムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

## ホールドモードの使いかた

使用場面	セレクトレバー位置と操作
<ul style="list-style-type: none"><li>● 雪道などすべりやすい路面を発進および走行するとき。</li><li>● カーブの多い上り坂をなめらかに走行したいとき。</li><li>● 高速道路でエンジンブレーキが必要なとき。</li></ul>	Dのままホールドスイッチを押します。
<ul style="list-style-type: none"><li>● 下り坂でエンジンブレーキが必要なとき。</li><li>● カーブの多い急な上り坂をなめらかに走行したいとき。</li></ul>	Sにしてホールドスイッチを押します。
急な下り坂で強いエンジンブレーキが必要なとき。	Lにしてホールドスイッチを押します。

### 各セレクトレバー位置での限界速度

エンジンの過回転を防ぐために、ホールドモード使用時は、次の速度をこえないように運転してください。

セレクトレバーの位置	速度 (km/h)
S	95
L	40



### 知識

車速が各セレクトレバー位置での限界速度より高いときは、セレクトレバーをSまたはLに動かしてもシフトダウンしないことがあります。

## オートマチック車を運転するとき

### オートマチック車の特性

#### クリープ現象

エンジンがかかっているとき、セレクトレバーがP、N以外にはいと、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。この現象をクリープ現象といいます。

- 停車中は車が動かないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時は、エンジンの回転数が高くなりクリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかりと踏んでおいてください。
- 渋滞や狭い場所での移動は、クリープ現象を利用すると、アクセルペダルを踏まずにブレーキ操作のみで速度を調節できます。

### 3.操作と取り扱い

## 運転装置の使いかた

### キックダウン

走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り替わり、急加速させることができます。

この操作をキックダウンといいます。

- 追い越しや高速道路での合流など、加速が必要なときに行ないます。
- すべりやすい路面やカーブを走行するときは、急激なアクセル操作はしないでください。

### 発進するとき



#### 警告

- アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しないでください。

車が急発進し思わぬ事故につながるおそれがあります。



#### 知識

エンジン始動直後やエアコン作動時は、エンジンの回転数が高くなり、クリーブ現象が強くなります。

- 1 ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作します。  
前進 …D、S、L  
後退 …R
- 2 セレクトレバーの位置を確認します。
- 3 パーキングブレーキを解除します。
- 4 ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。



#### 知識

- セレクトレバーをRにいれるとチャイムが鳴り、セレクトレバーがRにはいつていることを運転者に知らせます。
- 後退時は身体を後ろにひねった姿勢になります。ブレーキペダルを確実に踏めるよう注意してください。
- 少し後退したときなどはセレクトレバーをRにいれたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとは、すぐにセレクトレバーをNにもどし、発進時にはセレクトレバーの位置を確認してください。

### 急な坂道での発進

パーキングブレーキをかけたまま、アクセルペダルをゆっくり踏み、車が動く感触を確認しながらパーキングブレーキをもどします。

### 走行するとき



#### 警告

- 走行中はセレクトレバーをNにしないでください。  
トランスミッションの故障につながります。また、エンジンブレーキが全く効かないため思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路を走行しているときは、急激なエンジンブレーキの使用(シフトダウン)は避けてください。  
タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 通常走行

セレクトレバーをDに置いて走行します。アクセルとブレーキの操作で加速/減速します。ギヤは1速から4速の間で、自動的に変速されます。

## 急加速

アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。キックダウンし、急加速できます。

## 急な上り坂での走行

坂の勾配に応じてセレクトレバーをSまたはLにいと、エンジン回転の変化が少ないなめらかな走行ができます。

## 下り坂での走行



### 警告

■ 下り坂ではフットブレーキとエンジンブレーキを併用してください。  
フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱して効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

エンジンブレーキが必要なときは、ホールドモードにしてください。さらに強力なエンジンブレーキが必要なときは、セレクトレバーをSまたはLに置いてください。  
→152ページ「ホールドモード」

## 停車するとき

- 1 ブレーキペダルをしっかりと踏んでおきます。
- 2 必要に応じてパーキングブレーキをかけます。
- 3 停車時間が長くなりそうなときは、セレクトレバーをNまたはPにいます。



### 警告

- 停車中、むやみにアクセルペダルを踏まないでください。  
セレクトレバーがP、N以外にはいつているとき、誤ってアクセルペダルを踏むと急発進するため思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 停車後、再発進するときはセレクトレバーの位置に思い違いがないよう確認してください。  
意に反して車が動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。



### 注意

アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂でセレクトレバーを前進位置にいれ、アクセルをふかしながら停車しないでください。トランスミッションが過熱し、故障につながるおそれがあります。

## 駐車するとき

- 1 車を完全に止めます。
- 2 セレクトレバーをPにいます。
- 3 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけます。
- 4 エンジンを止めます。



**警告**

■ 駐車するときは、セレクトレバーをPにいれ、パーキングブレーキをかけてください。

パーキングブレーキをかけただけや、セレクトレバーをPにいただけで駐車していると、車が勝手に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ エンジンをかけたまま駐車しないでください。

万一セレクトレバーがP以外にはいついた場合、クリープ現象で車が勝手に動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



**注意**

セレクトレバーをPにいれるときは、車を完全に止めてから行なってください。車が完全に止まる前にセレクトレバーをPにいれると、トランスミッションに無理な力がかかり故障につながるおそれがあります。

**そのほかに気をつけること**



**警告**

■ 坂道などで、セレクトレバーを前進位置に入れたまま後退したり、後退位置に入れたまま前進することは行わないで下さい。

エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 4 快適カーライフのために

### 空調 158

エアコンを上手に使用していただく ために .....	158
吹き出し口 .....	159
フルオートエアコン .....	162

### オーディオ 165

アンテナ .....	165
オーディオリモートコントロール スイッチ .....	165

### 室内装備 166

サンバイザー .....	166
室内照明 .....	166
カップホルダー .....	168
ボトルホルダー .....	169
収納 .....	169
フレキシブルボード .....	171
電源ソケット .....	173

## エアコンを上手に使用していただくために

### 使用するとき

エアコンはエンジンをかけた状態で使用してください。

### ガラスが曇るときは

湿度の高い日はガラスが曇りやすくなります。このようなとき、エアコンを使用して曇りを取ることができます。エアコンを作動させると吹き出し風が除湿されるため、効果的に曇りを取ることができます。

### 外気導入と内気循環について

通常は外気導入で使用してください。内気循環は、トンネル内や渋滞など外気が汚れているときや、急速に冷房したいときなど外気を遮断したいときに一時的に使用してください。

### 炎天下に駐車したあとは

炎天下に駐車したあとは室内の温度が大変高くなります。このようなときは、窓ガラスを開けて、室内の熱気を逃がしてからエアコンを作動させてください。

### 長期間エアコンを使用しないときは

長期間エアコンを使用しないときにも、内部のオイル循環のため、1か月に1回程度エアコンを作動させてください。

### 暑くなる前のチェック

エアコンの冷媒(エアコンガス)が不足していると冷房性能が低下します。夏になる前に冷媒量の点検を受けておきましょう。

### エアフィルターについて

#### 知識

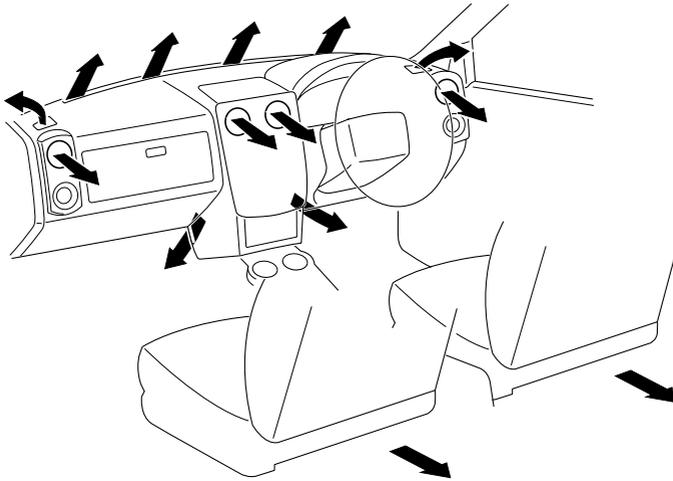
- エアコンの風量が著しく減少したときはエアフィルターの目詰まりが考えられます。エアフィルターを交換してください。
- 大都市・寒冷地など、交通量や粉じんの多い地区の場合は、エアフィルターの寿命が短くなり、早めの交換が必要になることがあります。

花粉やほこりなどの集じん機能を持ったエアフィルターを装備しています。快適にお使いいただくために定期的に交換してください。

詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

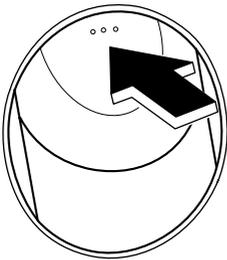
交換の目安…20,000km走行ごとまたは1年ごとどちらか早い方。

## 吹き出し口

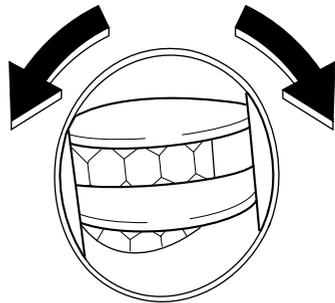


### 吹き出し口の調節

1 吹き出し口の上を押して開きます。



2 吹き出し口を左右にまわして吹き出し風の向きを調節します。





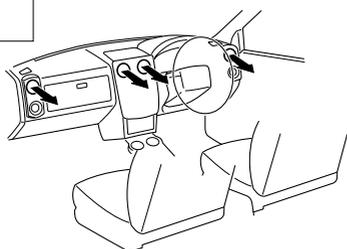
### 知識

冷房中に吹き出し口から白煙が出ているように見えることがあります。これは湿度の高い空気が急激に冷やされて起こる現象で、異常ではありません。

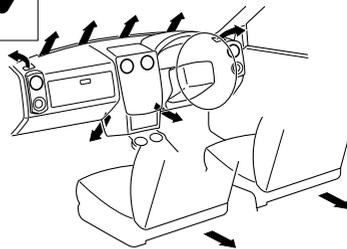
## 吹き出し口の選択

使用目的にあわせて吹き出し口を選択することができます。

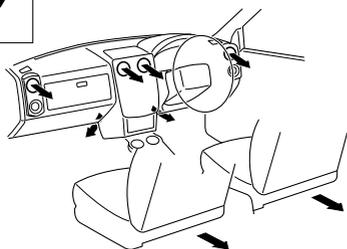
上半身に送風するとき



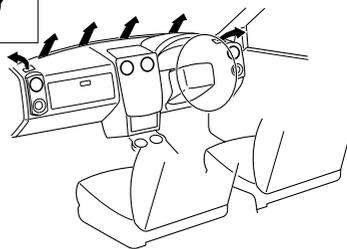
足元への送風とガラスの曇りを取る  
とき



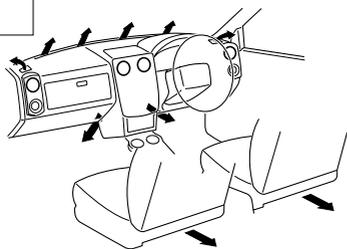
上半身、足元に送風するとき



ガラスの曇りを取るとき

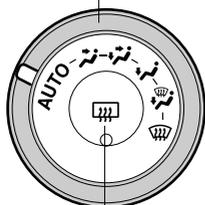


主に足元に送風するとき

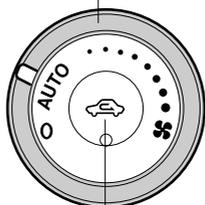


## フルオートエアコン

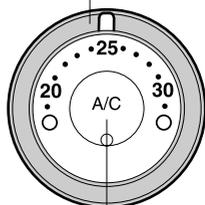
吹き出し口切り替えダイヤル



ファン調節ダイヤル



温度設定ダイヤル



内外気切り替えスイッチ

リヤウインドーデフォグガー（曇り取り）スイッチ

エアコンスイッチ

### 各スイッチの使いかた

#### 温度設定ダイヤル

ダイヤルをまわして設定温度を調節します。  
ダイヤルの表示数字は室温設定時のめやすとなります。



#### 知識

ダイヤルを左側いっぱいにならすと最大冷房、右側いっぱいにならすと最大暖房に固定されます。

#### ファン調節ダイヤル

AUTO位置のとき設定温度にあわせて、吹き出し風量が自動制御されます。  
AUTO以外の位置にダイヤルをまわすと、吹き出し風量をお好みで調節できます。  
右側いっぱいにならすと、最大風量に固定されます。

#### 吹き出し口切り替えダイヤル

AUTO位置のとき、設定温度にあわせて吹き出し口の切り替えを自動で行ないます。  
AUTO以外の位置にダイヤルをまわすと、使用目的にあわせて吹き出し口を選択することができます。

→161ページ「吹き出し口の選択」

## エアコンスイッチ

ファン調節ダイヤルがONのとき、スイッチを押すごとにエアコン(冷房・除湿機能)の作動と停止が切り替わります。

エアコンが作動しているときは、表示灯が点灯します。



### 知識

外気温が0°C近くまで下がると、システム保護のためエアコンは作動しません。

## 内外気切り替えスイッチ

内気循環(外気を遮断する)と外気導入(外気を室内に入れる)の切り替えができます。

スイッチを押すごとに内気循環と外気導入が切り替わります。

- 内気循環(表示灯点灯)  
トンネル内や渋滞など外気が汚れているときや、急速に冷房したいときなど外気を遮断したいときに一時的に使用します。
- 外気導入(表示灯消灯)  
外気を取り入れて換気したいときや、ガラスの曇りを取るときに使用します。



### 知識

長時間、内気循環にするとガラスが曇りやすくなります。通常は外気導入で使用してください。

## 通常の使いかた

- 1 吹き出し口切り替えダイヤルをAUTOの位置にします。
- 2 内外気切り替えスイッチを外気導入(表示灯消灯)にします。
- 3 ファン調節ダイヤルをAUTOの位置にします。
- 4 エアコンスイッチを押して、エアコンを作動(表示灯点灯)させます。



### 知識

- 最初は温度設定ダイヤルを25前後にあわせて使用し、その後お好みで調節してください。
- 設定温度を極端に低く(高く)しても、希望の温度になるまでの時間はほとんど変わりません。
- エンジンが冷えているときの暖房開始直後は、冷風の吹き出しを防止するため、風量が少なくなります。

- 5 作動を停止したいときは、ファン調節ダイヤルを0の位置にします。

## ガラスの曇りを取るとき

吹き出し口切り替えダイヤルを☞にします。自動的に外気導入に切り替わります。また、エアコンが自動的に作動し、除湿された吹き出し風がフロントガラス、フロントドアガラスに送風されます。



### 警告

ガラスの曇りを取るときは、吹き出し風の温度を低くしないでください。ガラスの外側が曇り、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

 知識

次の操作をすると、より早くガラスの曇りが取れます。

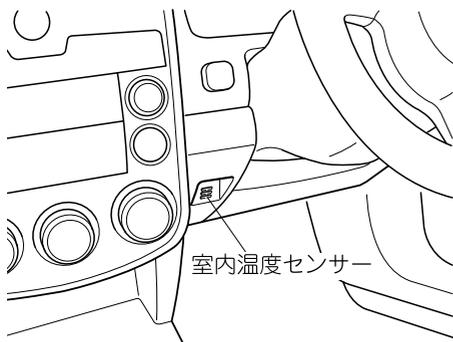
- ファン調節ダイヤルを操作して、風量を増す。
- 温度設定ダイヤルを操作して、吹き出し風の温度を上げる。

センサーについて

フルオートエアコンには室内温度センサーが取り付けられています。

室内温度センサーをふさいだりしないでください。

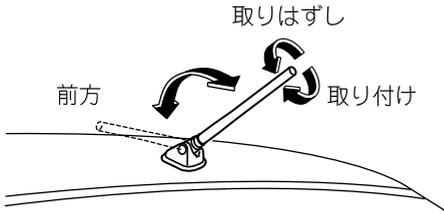
室内温度が正しく調節されないことがあります。



## アンテナ

### 可倒・脱着式

ラジオを使用するときは、アンテナを図の位置まで起こします。



取りはずすときは、左にまわします。取り付けるときは右にまわし、しっかりと締めめます。

### ⚠ 注意

天井の低い車庫に入れるときなど、アンテナが当たる場所では、アンテナを倒してください。起こしているとアンテナが損傷するおそれがあります。

また、自動洗車機を使用するときには、アンテナが損傷するおそれがありますので、アンテナを取りはずしてください。

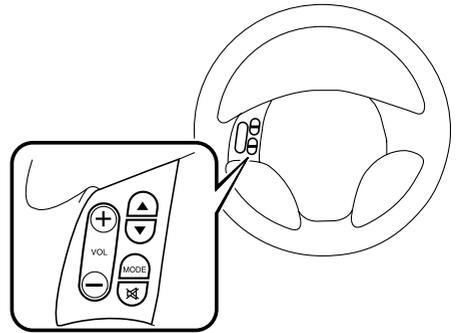
### 📖 知識

ラジオを聞くときは、放送を良好な状態で受信できるよう、アンテナを図の位置まで起こしてください。

## オーディオリモートコントロールスイッチ

ハンドルの左側にあります。

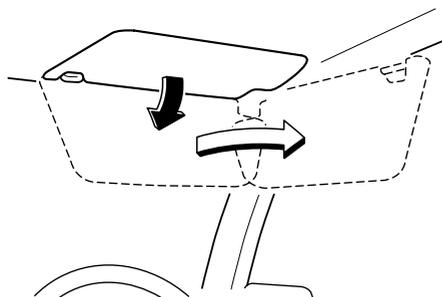
オーディオの電源が入っているときに、手でオーディオの操作をすることができます。



## 4.快適カーライフのために 室内装備

### サンバイザー

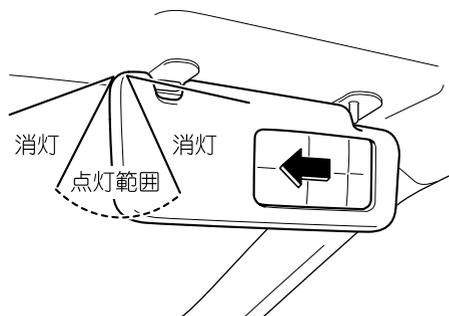
前からの光をさえぎるときは、下げます。  
横からの光をさえぎるときは、下げた後フックからはずして横にします。



### バニティミラー (化粧鏡)

バニティミラーは、運転席側サンバイザーの裏側にあります。  
ランプ装備車はフタを開けるとランプが点灯します。

バッテリーあがりを防止するため、サンバイザーの傾きが点灯範囲内のときのみランプが点灯します。



### 室内照明

#### 知識

エンジンを停止しているとき、ランプを長時間点灯させたままにしないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

#### イルミネーテッドエントリーシステム

ルームランプスイッチまたはラゲッジルームランプスイッチがDOORの位置のとき、次のような操作をすると、ルームランプ、ラゲッジルームランプ、グラウンドイルミネーションランプが点灯します。

- 運転席ドアを解錠すると約30秒間点灯します。
- ドア、リヤゲートを開けて閉めた後、約15秒間点灯します。
- 電源ポジションをACCからOFFにもどし、スタートノブから手を離すと(スタートノブが押し込まれていない状態にもどすと)約15秒間点灯します。
- エンジンスイッチから補助キーを抜くと約15秒間点灯します。

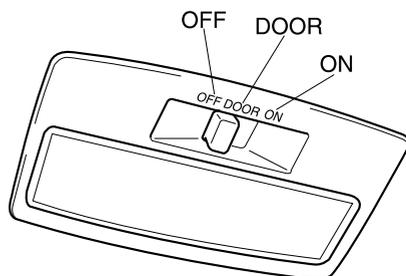
## 知識

- 次のようなときルームランプ、ラゲッジルームランプ、グラウンドイルミネーションランプはすぐに消灯します。
  - ・ 電源ポジションをONにしたとき。
  - ・ すべてのドアを施錠したとき。
- ルームランプスイッチまたはラゲッジルームランプスイッチがDOORの位置で、約30分間ドアが確実に閉まっていない状態が続くと、自動的にルームランプ、ラゲッジルームランプ、グラウンドイルミネーションランプが消灯して、バッテリーあがりを防止します。

## ルームランプ

電源ポジションに関係なく使用できます。

スイッチ位置	ルームランプ
DOOR	<ul style="list-style-type: none"><li>● ドアまたはリヤゲートを開けると点灯し、閉めると消灯します。</li><li>● イルミネーテッドエントリーシステムの作動により点灯/消灯します。</li></ul>
OFF	常時消灯
ON	常時点灯

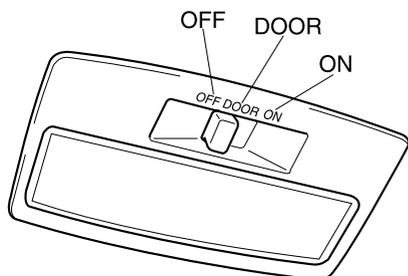


#### 4.快適カーライフのために 室内装備

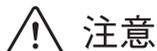
### ラゲッジルームランプ

電源ポジションに関係なく使用できます。

スイッチ位置	ラゲッジルームランプ
DOOR	<ul style="list-style-type: none"><li>● ドアまたはリヤゲートを開けると点灯し、閉めると消灯します。</li><li>● イルミネーテッドエントリーシステムの作動により点灯/消灯します。</li></ul>
OFF	常時消灯
ON	常時点灯



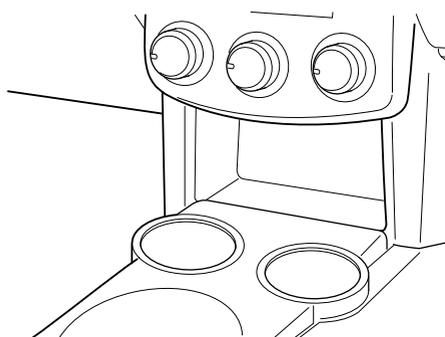
### カップホルダー



注意

走行中は熱い飲み物を置かないでください。熱い飲み物がかかると、やけどをするおそれがあります。

カップなどを置くことができます。

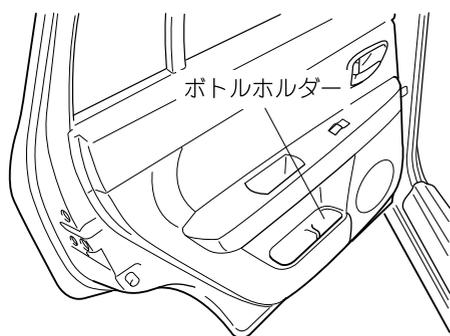


## ボトルホルダー

### ⚠ 注意

ふたのないペットボトルなどは置かないでください。走行中やドアを開閉するときにはペットボトルなどの中身がこぼれるおそれがあります。

ペットボトルなどを置くことができます。

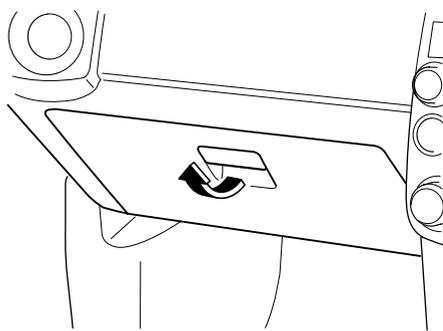


## 収納

### ⚠ 注意

- フタ付きの収納は、走行中は必ずフタを閉めてください。急ブレーキ時や衝突時にフタや内部の物でけがをするおそれがあります。
- 炎天下に駐車するときは、収納スペース内にメガネやライターを放置しないでください。収納スペース内が高温になるため、ライターが爆発したり、プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが変形・ひび割れを起こすことがあります。

## グローブボックス



閉めるときは、カチッと音がするまでフタを確実に押さえます。

## アッパーグローブボックス

### ⚠ 注意

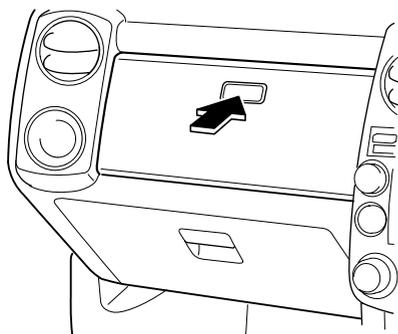
フタの上に重いものや熱い飲み物を置かないでください。フタの損傷や、やけどをするおそれがあります。

## 4.快適カーライフのために 室内装備

### 知識

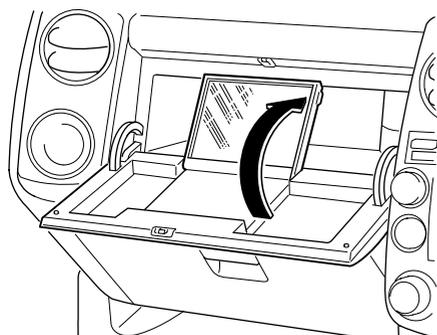
エンジンがかかっているときはフタを開けたままにしないでください。フタを開けているときはアッパーグローブボックス内のランプが点灯しているため、バッテリーがあがるおそれがあります。

開けるときはノブを押します。  
閉めるときは、カチッと音がするまでフタを確実に押さえます。



### メイクアップミラー

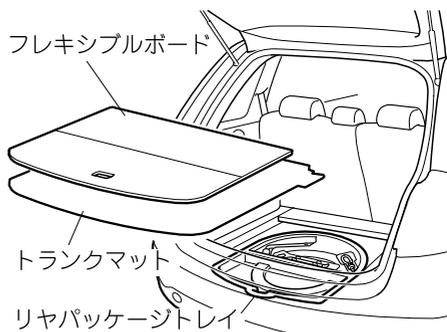
アッパーグローブボックスのフタを確実に開けたあと、好みの角度に合わせて使用してください。



### リヤパッケージトレイ

トランクマットの下に小物を収納することができます。

使用するときには、フレキシブルボードとトランクマットを取りはずします。

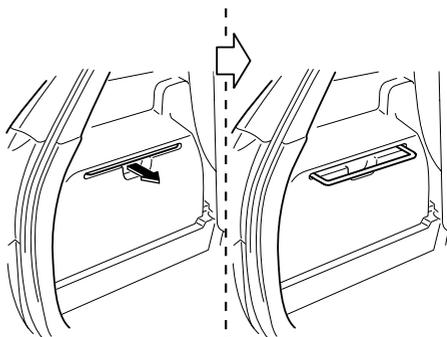


### ラゲッジルームサイドバー

#### ⚠ 注意

バーを強く引っ張るなど無理な力をかけないでください。無理な力がかかると、バーが損傷するおそれがあります。

タオルなどをかけることができます。  
バーを引き出して使用します。



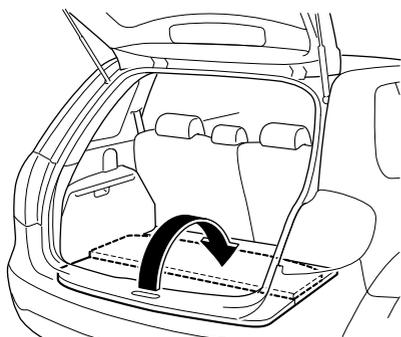
## フレキシブルボード

ラゲッジルームの下側/上側に取り付けることで、荷室を仕切ることができます。

### 下側で使用するとき

フレキシブルボードの下に荷物などを収納することができます。

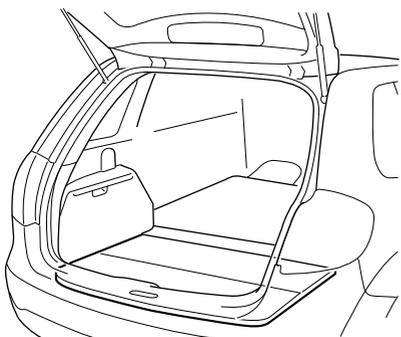
フレキシブルボードを折りたたむと、荷物などを出し入れできます。



### 知識

リヤシートの背もたれを折りたたむと、荷室を広げることができます。

→44ページ「荷室を作るとき」



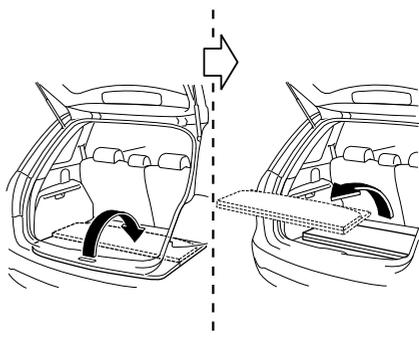
### 上側で使用するとき

#### 注意

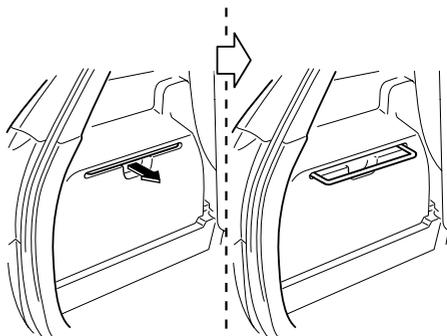
フレキシブルボードを上側で使用するとき、ボードの上に重い荷物を置くなどして、無理な力をかけないでください(最大荷重約5kg)。無理な力がかかると、フレキシブルボードが変形または、損傷するおそれがあります。

### 取り付けるとき

- 1 フレキシブルボードを折りたたんで、取り出します。

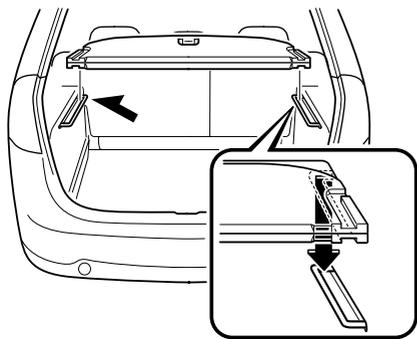


- 2 ラゲッジルームサイドバーを引き出します。



## 4.快適カーライフのために 室内装備

- ③ フレキシブルボードのリヤシート側をラゲッジルームサイドバーに確実にはめ込みます。



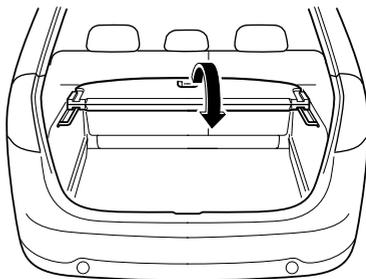
### ⚠ 注意

フレキシブルボードがラゲッジルームサイドバーに確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと、走行中不意にフレキシブルボードがはずれて、フレキシブルボードの損傷や、けがをす  
るおそれがあります。

### 📖 知識

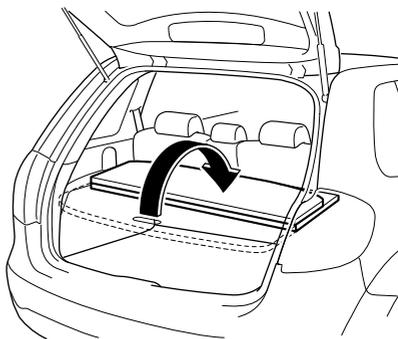
フレキシブルボードを折りたたんで取り付けると、ラゲッジルームサイドバーを溝にはめ込みやすくなります。

- ④ トランクボードをひろげて、ラゲッジルームサイドバーにはめ込みます。



### 📖 知識

フレキシブルボードを折りたたむと、背の高いものを収納することができます。



### 取りはずすとき

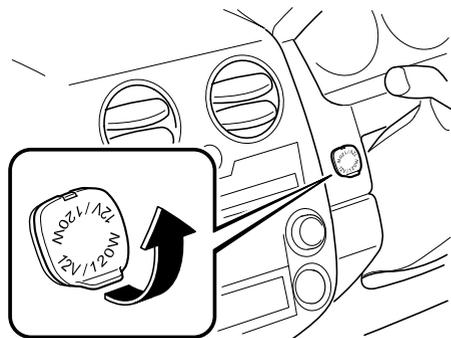
取り付けるときと逆の手順で取りはずします。

## 電源ソケット

電源ポジションがACCまたはONのとき、電気製品の電源として使用します。

最大消費電力120W (DC12V—10A) 以下の電気製品を使用してください。

フタを開けて使用します。



## ⚠ 注意

- 使用しないときは、必ずフタを閉めておいてください。ソケットに異物が入ったり、飲料水などがかかると、故障につながるおそれがあります。
- 電気製品のプラグはソケットに確実に差し込んでください。プラグが確実に差し込まれていないと、異常に発熱することがあり、ヒューズが切れるおそれがあります。
- 消費電力が120W (DC12V—10A) を超える電気製品は使用しないでください。故障につながるおそれがあります。
- 電源ソケットに接続される製品によっては、警告灯が点灯するなど車両のシステムに影響をおよぼすおそれがあります。接続されている機器を外し、問題が改善されるか確認してください。改善された場合、機器をソケットから外したあと、電源ポジションをOFFにしてください。問題が継続する場合、マツダ販売店にご相談ください。

## 📖 知識

エンジンを停止しているときやアイドリング状態で長時間使用すると、バッテリーがあがる場合があります。

# MEMO

## 5 万ーのときは

### 故障したとき 176

路上で故障したとき ..... 176

踏切内で動けなくなったとき ..... 177

### 緊急用具の取り扱い 178

発炎筒 ..... 178

工具、ジャッキ ..... 179

ジャッキの取り扱い ..... 180

スペアタイヤ ..... 183

### パンクしたとき 185

タイヤ交換 ..... 185

### オーバーヒートしたとき 188

オーバーヒートについて ..... 188

### バッテリーがあがったとき 190

バッテリーあがりについて ..... 190

### ヒューズ切れ、電球切れのとき 193

ランプ類、電気装置が作動しないとき ..... 193

ヒューズの受け持つ装置 ..... 196

### けん引について 200

けん引してもらうとき ..... 200

故障車をけん引するとき ..... 202

### 万ー事故が起きたとき

203

## 5.万一のときは 故障したとき

### 路上で故障したとき

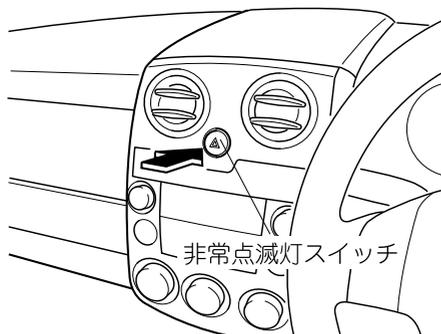
一般の道路で動けなくなったときに付近に人がいる場合は救援を求めてください。セレクトレバーをNにいれ、安全な場所まで押し出します。

#### 警告

■ 万一、事故や故障などで車から燃料がもれている場合は、すぐにエンジンを止めてください。

爆発、火災につながるおそれがあり危険です。また、発炎筒は車から離れたところで使用してください。

- 1 車を路肩に止め、非常点滅灯を点滅させます。

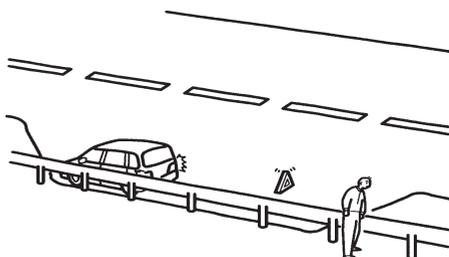


- 2 必要に応じて停止表示板(停止表示灯)、発炎筒を使用し、後続車に故障車であることを知らせます。

→178ページ「発炎筒」

- 高速道路や自動車専用道路などでは車の後方に停止表示板または停止表示灯を置くことが法律で義務づけられています。
- 停止表示板を置くときには、発炎筒を使って合図をするなど、後続車に十分注意してください。

- 3 全員が車から降り、ガードレールの外などの安全な場所に、すみやかに避難してください。



- 4 安全を確保した後、救援を求めます。故障の修理などお困りの際はマツダ販売店へ連絡してください。別冊の「サービス網お客様相談窓口」をご覧ください。

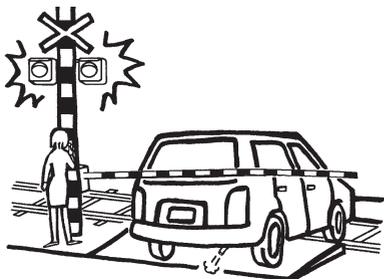
#### 知識

停止表示板(停止表示灯)はお客様のお車に標準で搭載されておりません。万一に備えてあらかじめ用意しておいてください。マツダ販売店でお求めいただけます。

## 踏切内で動けなくなったとき

### 脱輪などで動けなくなったとき

- 1 踏切の非常ボタンを押します。  
緊急を要するときは、発炎筒で列車に合  
図します。  
→178ページ「発炎筒」



- 2 付近の人に救援を求めます。

### エンストで動けなくなったとき

- 1 エンジンをかけ直します。
- 2 エンジンがかからないときは、踏切の非常ボタンを押します。  
緊急を要するときは、発炎筒で列車に合  
図します。  
→178ページ「発炎筒」
- 3 付近の人に救援を求めます。  
セレクトレバーをNにいれ、安全な場所ま  
で押し出します。

## 発炎筒

### 警告

■油、ガソリンなど可燃物の近くでは使用しないでください。  
火災につながるおそれがあります。

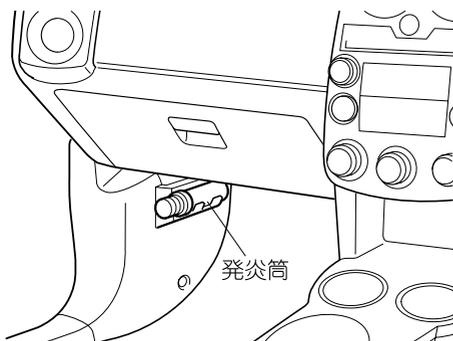
■使用するときは筒先を顔や身体に向けたり近づけたりしないでください。  
やけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

■お子さまにはさわらせないでください。  
誤って使用すると、やけどや思わぬ事故につながるおそれがあります。

■トンネル内では発炎筒を使用しないでください。  
トンネル内で発炎筒を使用すると、煙で視界が悪くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。必要なときは非常点滅灯を使用してください。

### 発炎筒について

事故や故障で停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

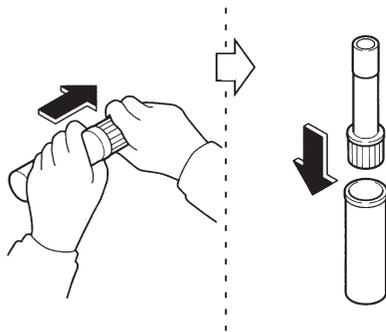


### 知識

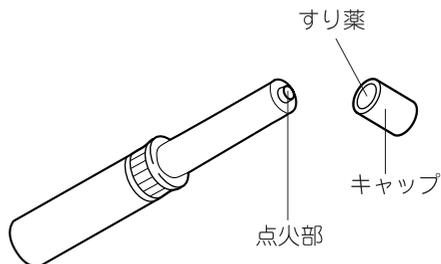
- 発炎筒は点火すると、約5分間燃え続けます。
- 発炎筒には有効期限があります。発炎筒に書いてありますので確認して、有効期限がきる前にマツダ販売店でお求めください。

### 発炎筒の使いかた

- 1 本体をひねりながら取り出し、逆にして差し込みます。



- 2 点火部をキャップの頭部のすり薬でこすると着火します。



## 工具、ジャッキ

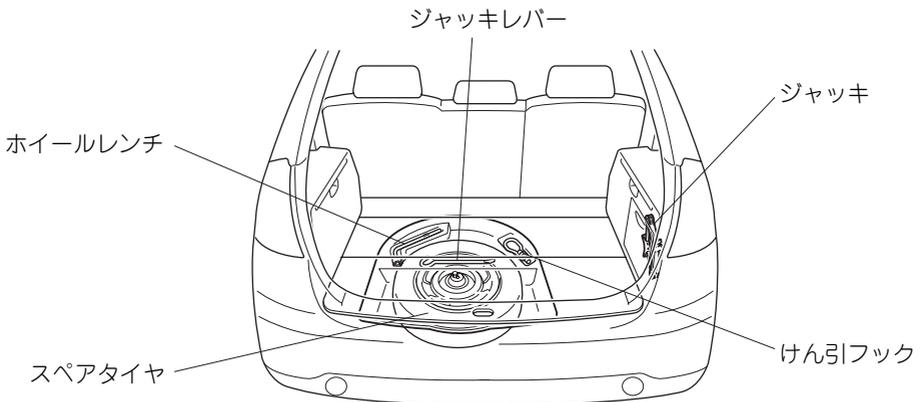
### 警告

■ 車に搭載されているジャッキはお客様のお車専用のものです。他の車には使用しないでください。また、他の車のジャッキや車に搭載されているジャッキ以外のジャッキをお客様のお車に使用しないでください。車体が損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。やむをえず、車に搭載されているジャッキ以外を使用するときは、マツダ販売店にご相談ください。

### 注意

- ジャッキはタイヤ交換、タイヤチェーンの取り付け、取りはずし以外に使用しないでください。
- 工具、ジャッキを使用したあとは走行中に動かないよう、所定の位置にしっかりと固定してください。

工具、ジャッキは図の位置に格納されています。



## 5.万一のときは 緊急用具の取り扱い

### ジャッキの取り扱い

#### ジャッキアップする前に

- 1 交通のさまたげにならず、安全に作業できる地面の平らで固い場所に車を移動します。
- 2 セレクトレバーをPにいます。
- 3 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをしっかりとかけ、エンジンを止めます。
- 4 必要に応じて、非常点滅灯を点滅させ、停止表示板 (停止表示灯) を使用します。
- 5 人や荷物を降ろし、工具、ジャッキを取り出します。  
→179ページ「工具、ジャッキ」
- 6 輪止めを用意します。



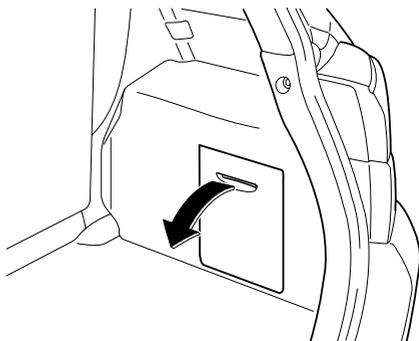
#### 知識

輪止めや停止表示板 (停止表示灯) はお客様のお車に標準で搭載されておられません。

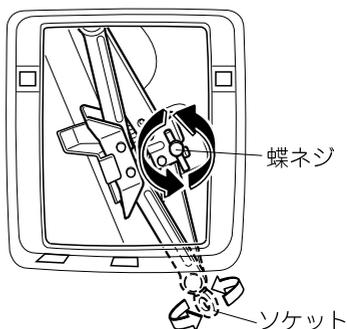
必要に応じてマツダ販売店でお求めください。なお、輪止めには、タイヤを固定できる大きさの石や木材が代用できます。

#### 取り出すとき

- 1 カバーを取りはずします。

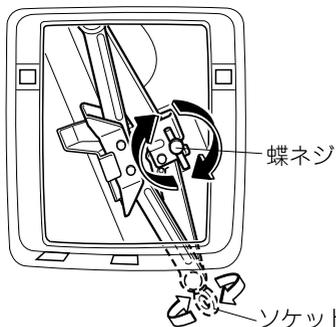


- 2 蝶ネジを左にまわしてはずし、ソケットをゆるめてジャッキを取り出します。



## 格納するとき

- 1 ソケットが下側になるような方向で蝶ネジをジャッキに差し込み、右にまわしていったん固定します。
- 2 ソケットを図の方向にまわします。



- 3 蝶ネジをしっかりまわしてジャッキを固定します。

## 知識

ジャッキが完全に固定されていないときは、走行中に音がある場合があります。再度ソケットをまわしてジャッキを固定してください。

## ジャッキアップするとき

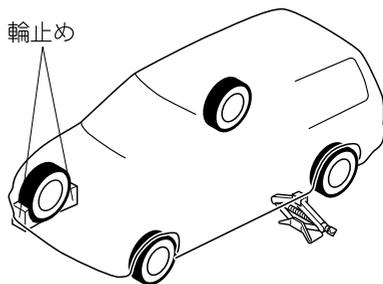
### 警告

■ ジャッキアップするときはセレクトレバーをPにいれ、パーキングブレーキをかけ、ジャッキをかける位置と対角の位置に輪止めをしてください。

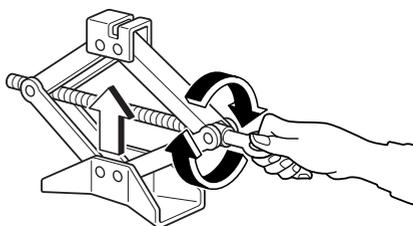
セレクトレバーがPにはいっていても、車が動きジャッキがはずれて思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 1 パーキングブレーキをしっかりとかけ、ジャッキをかける位置と対角の位置にあるタイヤに輪止めをします。

- 前輪をジャッキアップするときは、後輪の前後
- 後輪をジャッキアップするときは、前輪の前後

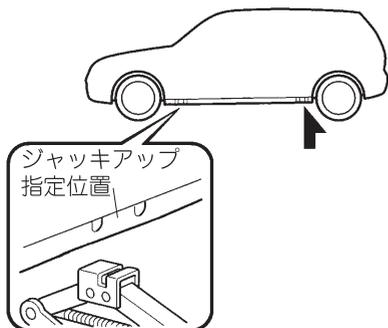


- 2 ジャッキを地面に置きます。
- 3 ジャッキの図の部分を手でまわしてジャッキをジャッキアップ指定位置の近くにくるよう調節します。

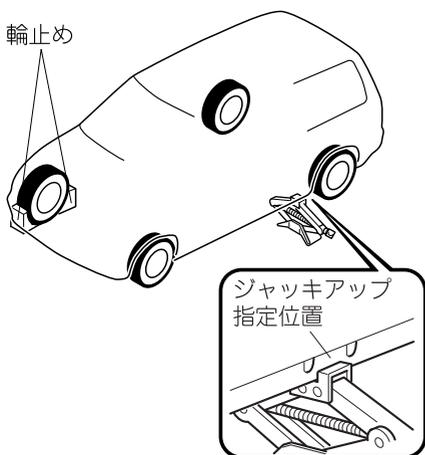


## 5.万有的时候は 緊急用具の取り扱い

- 4 ジャッキをジャッキアップ指定位置に直角にセットします。



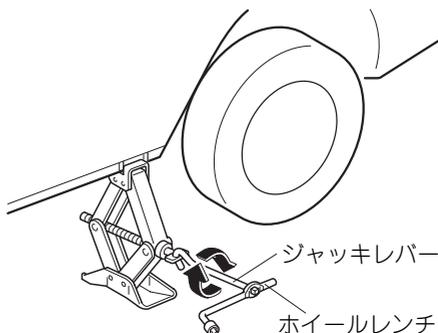
- 5 ジャッキを徐々に上げて、ジャッキアップ指定位置にジャッキがはまっていることを確認します。



### 警告

- ジャッキアップ指定位置以外にジャッキをかけたり、ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。  
車体に変形したり、ジャッキがはずれたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 6 ジャッキにジャッキレバーをかけ、ジャッキレバーにホイールレンチを組み付けます。
- 7 タイヤが地面から少し離れるまで車をジャッキアップします。





## 警告

- 必要以上にジャッキアップしないでください。

車体が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ジャッキアップした状態で車のエンジンをかけないでください。

ジャッキがはずれた場合、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ジャッキアップした車の下には絶対にはいらないでください。

万一ジャッキがはずれた場合、重大な傷害につながるおそれがあります。



## 注意

人を乗せたままジャッキアップしないでください。

## スペアタイヤ



## 警告

- 他のタイヤやホイールと組み合わせ使用したり、他の車に使用しないでください。

車に搭載されているスペアタイヤとホイールは、お客様のお車専用のものです。思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 応急用スペアタイヤについて

応急用スペアタイヤはパンクしたとき一時的に使用するものです。



## 注意

- 応急用スペアタイヤを装着したときは、100km/h以下で走行し、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
- 応急用スペアタイヤを装着したときは、車体が少し傾き、車高が低くなります。地面の突起物などを乗り越えるときは、車体が地面に接触しないように慎重に運転してください。
- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンを装着しないでください。タイヤチェーンが車体側に当たったり、走行に悪影響をおよぼすおそれがあります。積雪路、凍結路で前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に使用し、はずした後輪を前輪につけてからタイヤチェーンを装着してください。

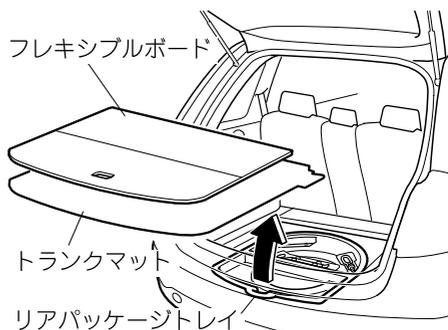
## 5.万一のときは 緊急用具の取り扱い

### 知識

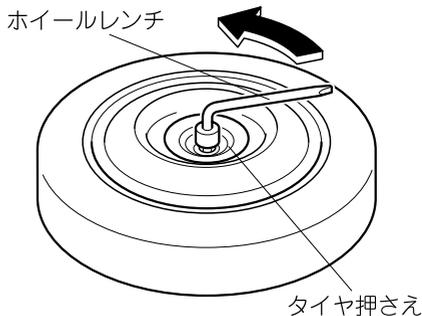
- 応急用スペアタイヤの空気圧を定期的に点検してください。  
適正空気圧は420kPa (4.2kgf/cm<sup>2</sup>) です。
- 摩耗限界表示 (ウェアインジケーター) が表れたら、タイヤを交換してください。  
→211ページ「タイヤの点検」
- 応急用スペアタイヤに標準タイヤのホイールキャップは取り付けできません。

### 取り出すとき

- 1 フレキシブルボード、トランクマット、リアパッケージトレイを取りはずします。



- 2 リアパッケージトレイからホイールレンチを取りはずします。
- 3 ホイールレンチを使って固定ボルトをはずし、スペアタイヤを取り出します。



### 格納するとき

取り出すときと逆の手順で格納します。  
タイヤが確実に固定されていることを確認してください。

## タイヤ交換

### 警告

- **タイヤを交換するときは前後輪とも必ず指定された同一サイズ、同一種類のものを使用してください。**

指定された組み合わせ以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 知識

タイヤサイズは、運転席ドアに貼付されているラベルで確認してください。くわしくはマツダ販売店にご相談ください。

### タイヤ交換をする前に

- 1 交通のさまたげにならず、安全に作業できる地面が平らで固い場所に車を移動します。
- 2 セレクトレバーをPにいます。
- 3 ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけエンジンを止めます。
- 4 必要に応じて、非常点滅灯を点滅させ、停止表示板(停止表示灯)を使用します。
- 5 人や荷物を降ろし、工具、ジャッキ、スペアタイヤを取り出します。  
→179ページ「工具、ジャッキ」  
→183ページ「スペアタイヤ」
- 6 輪止めを用意します。

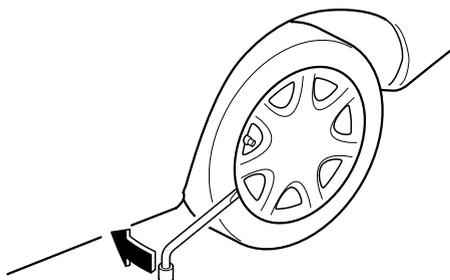
### 知識

輪止めや停止表示板(停止表示灯)はお客様のお車に標準で搭載されておりません。

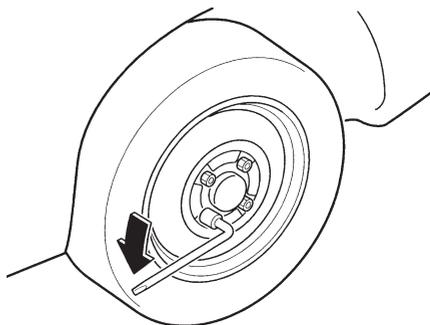
必要に応じてマツダ販売店で求めください。なお、輪止めには、タイヤを固定できる大きさの石や木材が代用できます。

### タイヤの取りはずし

- 1 ホイールキャップ装着車はホイールとホイールキャップの間にジャッキレバー又はホイールレンチの端を入れ、図のようにこじりながらホイールキャップをはずします。

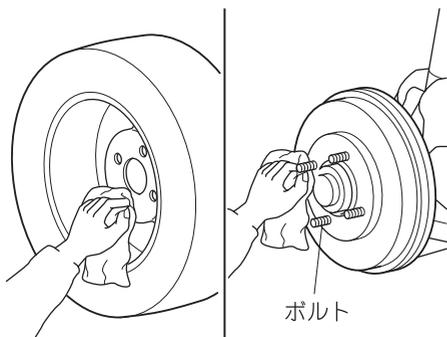


- 2 ホイールレンチでナットを左に約1回転まわしてゆるめます。



## 5.万有的时候は パンクしたとき

- 3] タイヤが地面から少し離れるまで車をジャッキアップします。  
→181ページ「ジャッキアップするとき」
- 4] ナットをはずし、タイヤを取りはずします。
- 5] ボルトとホイール裏側の接触面に付着している汚れを布などでふき取ります。



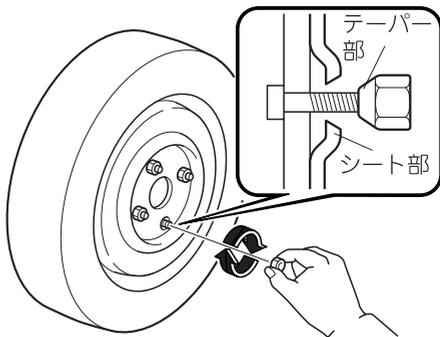
### 警告

■ ボルトやホイール裏側の接触面が汚れていないことを確認してください。

ボルトやホイール裏側の接触面がホコリなどで汚れていると、走行中にナットがゆるみタイヤがはずれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### タイヤの取り付け

- 1] タイヤをスペアタイヤに取り替えます。
- 2] タイヤを取り付けてから、ナットのテーパー部分がホイールのシート部に軽くあたる程度まで、ナットを右にまわして仮締めします。

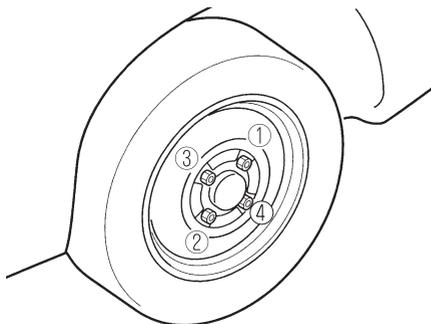


### 警告

■ ナットやボルトにオイルやグリースをぬらないでください。  
ナットがゆるんでタイヤがはずれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、必要以上に締め付けられて、ナットやボルトが破損するおそれがあります。

- 3] ジャッキハンドルを左にまわし、車をおろします。

- 4 ホイールレンチで図の番号順にナットを2~3回に分けて締め付けます。



ナットの締め付けトルク:

N・m (kgf・m)	88~118 (9~12)
-------------	------------------

### ⚠ 注意

ホイールレンチを足で踏んでナットを必要以上に締め付けしないでください。ボルトが破損するおそれがあります。

### タイヤを交換した後は

- 1 交換したタイヤは、ラゲッジルームに格納します。

### 📖 知識

標準タイヤはボルトを使ってラゲッジルーム内に固定することができません。

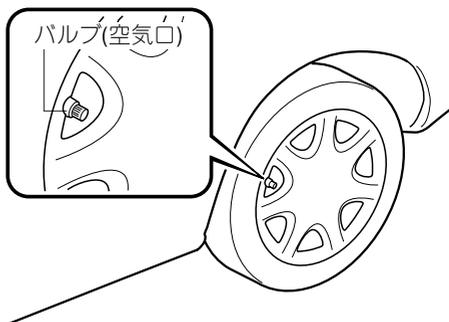
- 2 輪止めをはずし、工具、ジャッキを格納します。  
→179ページ「工具、ジャッキ」

### 📖 知識

タイヤ交換に応急用スペアタイヤを使用した場合は、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。

### パンクタイヤを修理した後は

- 1 応急用スペアタイヤを取りはずし、標準タイヤを取り付けます。
- 2 ホイールキャップ装着車はバルブ (空気口) とホイールキャップの切り欠きを合わせて取り付けます。



- 3 応急用スペアタイヤを格納します。

### 📖 知識

- 標準タイヤに交換してから約1,000km走行した後、ナットにゆるみがないことを確認してください。
- 標準タイヤに交換した後はホイールバランスが狂うことがあります。走行中に車体の振動などの異常を感じたら、マツダ販売店で点検を受けてください。

## オーバーヒートについて

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 水温計の針がH付近を示し、エンジンの出力が急に低下したとき。
- エンジンルームから蒸気が出ているとき。



### 警告

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開けないでください。

エンジンルーム内が熱いとき、ボンネットを開けると、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。また、蒸気が出てない場合でも高温になっている部分があります。ボンネットを開けるときは十分に注意してください。



- エンジンが十分に冷えるまではラジエーターとリザーバータンクのキャップを開けないでください。

エンジンが熱いときにキャップをはずすと、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。



- エンジンルーム内を点検するときは、ファンやベルトなどの回転部に触れないようにしてください。

特に、エンジンルームが高温のときは、エンジンが止まってもファンが回転することがあるため、手や指などが巻き込まれるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

## 処置方法

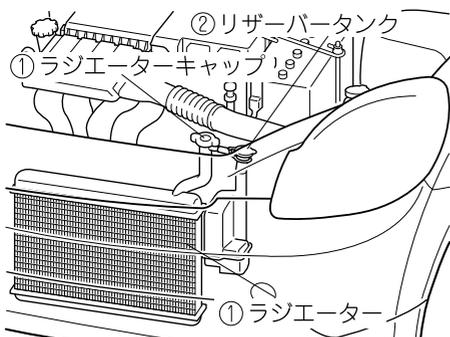
- 1 安全な場所に車を止めます。
- 2 エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。  
エンジンルームから蒸気が出ていないときは  
エンジンをかけたままボンネットを開け、エンジンを冷やします。  
エンジンルームから蒸気が出ているときは  
エンジンを止めてください。蒸気が出なくなるまで待ち、風通しをよくするためにボンネットを開け、エンジンを始動してください。
- 3 クーリングファンが作動していることを確認し、水温計の針が下がってきたらエンジンを止めます。



### 注意

クーリングファンが作動していないときは、エンジン温度がさらに上昇します。ただちにエンジンを止め、マツダ販売店にご連絡ください。

- 4 エンジンが十分に冷えてから、冷却水の量を点検します。量が不足しているときは①ラジエーター②リザーバータンクの順に冷却水を補充してください。補充後はキャップを確実に取り付けてください。



## 警告



- エンジンが十分に冷えるまではラジエーターとリザーバータンクのキャップを開けないでください。

エンジンが熱いときにキャップをはずすと、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。



## 知識

- 冷却水がない場合は、一時的に水を補充してください。一時的に水だけを補充したときは、冷却水の濃度をもとにもどしてください。
- 冷却水を補充しても少なくなるときは、冷却水のもれが考えられます。早めにマツタ販売店で点検を受けてください。

### バッテリーあがりについて

次のような状態はバッテリーあがりです。

- スターターがまわらない。またはまわっても回転が弱く、なかなかエンジンがかからない。
- ホーンの音が小さい、または鳴らない。
- ランプ類がいつもより極端に暗い。



#### 警告

正しく安全にバッテリーを取り扱うために、バッテリー使用前または点検前には必ず次の注意事項をお読みください。

■ バッテリーを取り扱うときは必ず保護メガネを着用してください。

バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目に入ると失明など重大な傷害につながるおそれがあります。また、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。

■ バッテリーを取り扱うときはバッテリー液をこぼさないでください。

バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。万一付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、応急処置が済んだら、医師の診察を受けてください。

■ バッテリーの近くでお子さまを遊ばせないでください。

バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。

■ バッテリーを取り扱うときは、絶対に火気を近づけないでください。

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。火気の発生を防ぐため、+ 端子や- 端子に工具などの金属部分が触れないようにしてください。また、ブースターケーブルの接続、取りはずしのときは、+ 端子がボディーや- 端子に触れないように十分注意してください。

■ 換気の悪い場所では、バッテリーの充電を行なわないでください。

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。

■ ブースターケーブルを使用してエンジンを始動する前に必ずバッテリー液の量を点検してください。

バッテリー液の量が下限 (LOWER LEVEL) より不足している状態でエンジンを始動すると、破裂 (爆発) につながるおそれがあり危険です。バッテリー液が不足しているときは、エンジン始動前に必ず補充液または蒸留水を補充してください。

## 処置方法

押しがけによる始動はできません。  
別売のブースターケーブルを使用して、救援車（他の車）のバッテリーと自車のバッテリーを接続してエンジンをかけます。  
自車と同じ12Vバッテリーを搭載した救援車を依頼してください。

### 注意

ブースターケーブルを接続するときは慎重に行なってください。ブースターケーブルがベルトなどの回転部に巻き込まれるおそれがあります。

- 1 自車のバッテリーと救援車のバッテリーが一番近い位置になるように、車を移動させます。
- 2 ヘッドランプやエアコンなどの電源が切っていることを確認します。

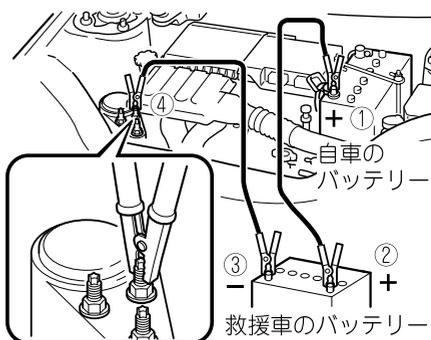
- 3 救援車のエンジンを止めて、ブースターケーブルを次の順で接続します。  
ブースターケーブルを接続する前に各バッテリーの端子（+、-）の位置を確認してください。

#### 1本目

- ① 自車のバッテリーの+ 端子
- ② 救援車のバッテリーの+ 端子

#### 2本目

- ③ 救援車のバッテリーの- 端子
- ④ 図で表示の箇所（アースを取る）



### 警告

■ バッテリーを取り扱うときは、絶対に火気を近づけないでください。

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。  
また、火花の発生を防ぐため次の点を必ず守ってください。

- ④の接続は自車バッテリーの- 端子につながないでください。
- ブースターケーブルの接続、取りはずしの際は、+ 端子がボディーや- 端子に触れないように十分注意してください。

- 4 救援車のエンジンをかけ、エンジン回転数を高めにします。

## バッテリーがあがったとき

---

- 5] 自車のエンジンをかけます。約3分間エンジンを回転させて、応急的に自車のバッテリーを充電します。



### 警告

■ 充電中はバッテリーに近づかないでください。

バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。万一付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、応急処置が済んだら、医師の診察を受けてください。

- 6] ブースターケーブルを接続したときと逆の順で取りはずします。
- 7] 早めにマツダ販売店で点検を受けてください。



### 知識

バッテリーがあがりやすいときは、マツダ販売店で点検を受けてください。

## ランプ類、電気装置が作動しないとき

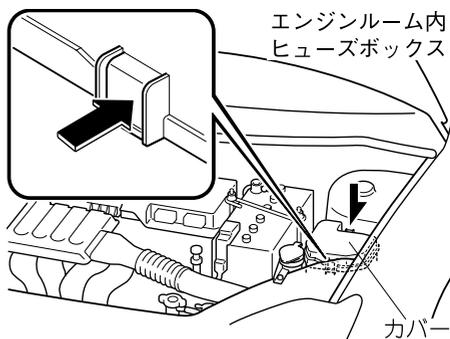
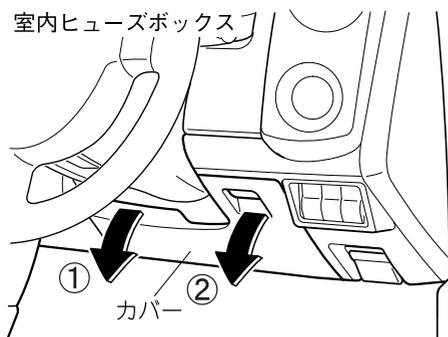
ランプ類が点灯しないときや電気装置が作動しないときは、ヒューズ切れや電球切れが考えられます。  
まずヒューズを点検し、必要に応じて交換してください。

### 知識

ヒューズは電気装置を過負荷から保護する働きをしています。

## ヒューズの交換

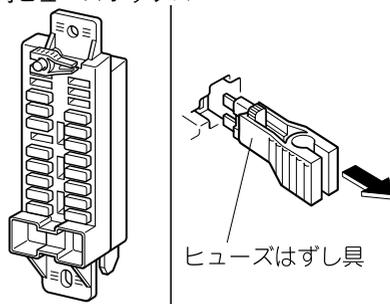
- 1 電源ポジションをOFFにします。
- 2 ヒューズボックスのカバーを開きます。  
ヒューズボックスは運転席右下と、エンジンルーム内にあります。  
室内ヒューズボックスのカバーを開くときは、まずカバーの①側を矢印の方向に引いてカバーを半開きの状態にしてから、②側を引いてカバーを開けてください。



### 知識

- 各ヒューズはグレードや仕様により無い場合があります。
  - ヒューズボックスのカバー裏側に各ヒューズの規定容量が表示されています。
- 3 ヒューズの位置を確認し、故障の状況から、点検すべきヒューズを確認してください。  
→196ページ「ヒューズの受け持つ装置」
  - 4 ヒューズを抜き取ります。

### 室内ヒューズボックス



## 5.万有的时候は ヒューズ切れ、電球切れのとき

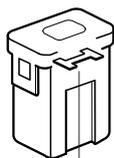
- 5] ヒューズを点検し、切れている場合は、規定容量のヒューズと交換します。



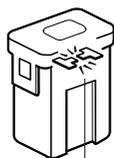
切れていない場合



切れている場合



切れていない場合



切れている場合



### 警告

- 規定容量を超えるヒューズを使用したり、ヒューズの代わりに針金や銀紙などを使用しないでください。  
配線などが過熱し、焼損して火災になるおそれがあります。



### 知識

- ヒューズが切れていないとき、またはヒューズを交換してもランプ類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは、マツダ販売店で交換してください。
- ヒューズが切れていないとき、またはヒューズを交換しても電気装置が作動しないときは、マツダ販売店で点検を受けてください。
- ヒューズを交換してもすぐ切れる場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。

- 6] カバーをもとにもどし、確実に取り付けられていることを確認します。

### 電球(バルブ)の交換

ヒューズが切れていないのにランプ類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球の交換については、マツダ販売店にご相談ください。

(ディスチャージヘッドランプ装備車)



### 警告

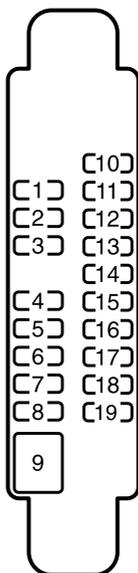
ディスチャージヘッドランプは高電圧を使用しているため、取り扱いを誤ると感電するおそれがあります。ディスチャージヘッドランプの交換・修理をするときは、必ずマツダ販売店へご相談ください。



5.万一のときは  
ヒューズ切れ、電球切れのとき

## ヒューズの受け持つ装置

### 室内ヒューズボックス

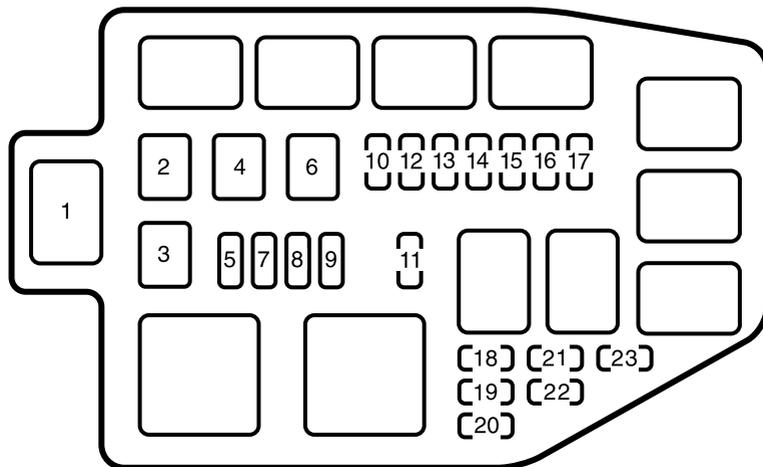


位置	表示	容量	保護装置
1	ROOM	15 A	ルームランプ
2	AUX PWR	15 A	電源ソケット
3	MIRROR	7.5 A	電動ミラー
4	METER	10 A	メーター
5	WIPER	20 A	ワイパー/ウォッシャー
6	SAS	10 A	エアバッグ
7	ENGINE	15 A	エンジンコントロールシステム
8	—	—	—

位置	表示	容量	保護装置
9	P.WIND	30 A	パワーウィンドー
10	M.DEF	7.5 A	ミラーの曇り取り☆
11	—	—	—
12	—	—	—
13	TAIL	7.5 A	尾灯、番号灯、車幅灯
14	ILLUMI	7.5 A	メーターイルミネーション、 ヒーターイルミネーション
15	MAG.CLUCH	7.5 A	マグネットクラッチ
16	A/C	7.5 A	エアコン
17	R.WIP	10 A	リヤワイパー/ウォッシャー
18	BACK	10 A	後退灯
19	—	—	—

5.万有的时候は  
ヒューズ切れ、電球切れのとき

エンジンルーム内ヒューズボックス



位置	表示	容量	保護装置
1	MAIN	100 A	各種電源、オルタネーター
2	FAN	30 A	クーリングファン
3	IG KEY1	60 A	エンジンスイッチ
4	HEATER	40 A	プロアモーター
5	FUEL PUMP	15 A	フューエルポンプ
6	DEFOG	30 A	リヤウインドーデフォグガー (曇り取り)
7	EGI COMP1	10 A	エンジンコントロールシステム
8	STOP	15 A	制動灯、ホーン
9	HAZARD	15 A	非常点滅灯
10	IG KEY2	30 A	エンジンスイッチ

位置	表示	容量	保護装置
11	ETV	15 A	エレクトリックスロットルバルブ
12	BTN	25 A	各ヒューズへの電源
13	ABS-P	30 A	ABS、DSCユニット
14	ABS-V	20 A	ABS、DSCユニット
15	FOG	15 A	フォグランプ☆
16	P.WIND	20 A	パワーウインドー
17	DOOR LOCK	30 A	パワードアロック
18	EGI INJ	15 A	エンジンコントロールシステム
19	EGI COMP2	15 A	エンジンコントロールシステム
20	HEAD L HIGH	10 A	ヘッドランプ左 (High)
21	HEAD R HIGH	10 A	ヘッドランプ右 (High)
22	HEAD L LOW	HLGN 10 A*1	ヘッドランプ左 (Low)
		HID 20 A*2	
23	HEAD R LOW	HLGN 10 A*1	ヘッドランプ右 (Low)
		HID 20 A*2	

\*1 ディスチャージヘッドランプ非装着車

\*2 ディスチャージヘッドランプ装着車

## 5.万一のときは けん引について

### けん引してもらおうとき

けん引はできるだけマツダ販売店またはJAFなどに依頼してください。特に、エンジンがかかっているのに車が動かないときや異常な音がするときは駆動装置の故障が考えられます。必ずマツダ販売店またはJAFなどに連絡してください。

#### 警告

■ 長い下り坂を降りるときは、レッカー車でけん引してください。

ロープでけん引をすると、車間距離を保つためにフットブレーキを多用し、ブレーキが過熱して効かなくなります。このような状態でけん引を続けると、前の車に衝突するおそれがあります。

#### 注意

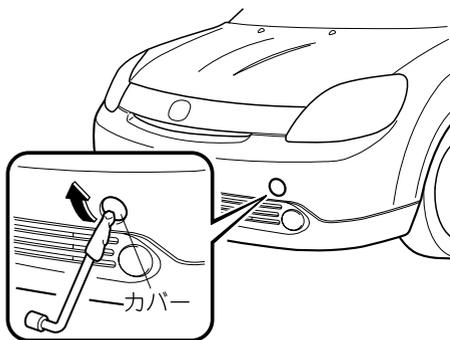
- ロープでけん引してもらおうときは、速度30km/h以下、走行距離は30km以内に行ってください。高速走行や長距離走行をすると、駆動装置に悪影響をおよぼし、損傷するおそれがあります。できるだけマツダ販売店やJAFなどに依頼し、レッカー車またはトレーラーを使用してください。
- けん引してもらおうときは次の点に注意してください。けん引フックや車体および駆動装置を損傷するおそれがあります。
  - ・ 急発進など、けん引フックやロープに大きな衝撃が加わる運転をしないでください。
  - ・ けん引フック以外にロープをかけないでください。

#### 知識

金属製のチェーンやワイヤーロープなどを使用するときは、ロープやロープ先端についているフック部に布などを巻いてください。直接バンパーにあたると、傷がつくおそれがあります。

やむをえずロープでけん引してもらおうときは、車両の前側にあるけん引フックを使用し、次の手順で行なってください。

- 1 けん引フック、ホイールレンチ、ジャッキレバー装備車はジャッキレバーをラゲッジルームから取り出します。  
→179ページ「工具、ジャッキ」
- 2 ホイールレンチ又はジャッキレバーの先端に布を巻いてカバーを取りはずします。



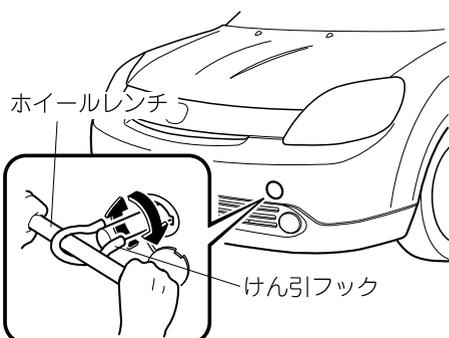
#### 注意

カバーはバンパーから完全に取りはずすことができません。無理に取りはずそうとすると破損するおそれがあります。

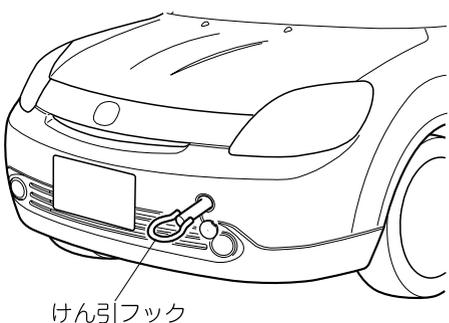
## 知識

ホイールレンチ又はジャッキレバーを使用するときは、先端に布などを巻いてください。ホイールレンチ又はジャッキレバーが直接バンパーにあたると、傷がつくおそれがあります。

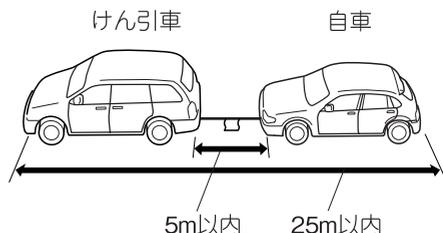
- 3 ホイールレンチを使ってけん引フックを確実に取り付けます。



- 4 けん引ロープをフックにかけます。



- 5 ロープは5m以内にして、中央に0.3m平方(0.3m×0.3m)以上の白い布を必ずつけてください。



- 6 けん引してもらう車はエンジンをかけ、セレクトレバーをNにいます。エンジンがかからないときは、電源ポジションをACCにします。

## 警告

■ やむをえずエンジンがかかっていない状態でけん引される場合は、慎重に運転してください。

エンジンがかかっていないときは、ブレーキの効が悪くなったり、ハンドル操作が重くなるなど運転操作が困難になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 注意

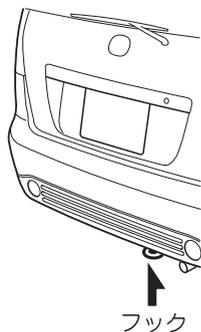
けん引中は電源ポジションをOFFにしないでください。OFFにするとハンドルがロックされ、操作できなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 7 パーキングブレーキを解除します。
- 8 けん引する車の制動灯に注意し、ロープをたるませないように走行してください。

## 5.万一のときは けん引について

### 故障車をけん引するとき

一般路上でやむをえず故障した車をロープでけん引するときは、後側のけん引フックにロープをかけてけん引してください。



### ⚠ 注意

けん引するときは次の点に注意してください。けん引フックや車体および駆動装置を損傷するおそれがあります。

- 自車の重量より重い車はけん引しないでください。
- 急発進など、けん引フックやロープに大きな衝撃が加わる運転をしないでください。
- けん引フック以外にロープをかけないでください。

### 📖 知識

金属製のチェーンやワイヤーロープなどを使用するときは、ロープやロープ先端についているフック部に布などを巻いてください。直接バンパーにあたると、傷がつくおそれがあります。

事故が起きたときは、あわてず次の処置をしてください。

## 1.事故の続発防止

他の交通のさまたげにならない安全な場所(路肩、空き地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。

## 2.負傷者の救護

負傷者がいる場合は、医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行ないます。この場合、とくに頭部に傷を受けているようなときは、むやみに動かさないようにします。ただし、後続事故のおそれがある場合は、安全な場所に移動させます。

## 3.警察への連絡

事故の発生場所、状況、負傷の程度などを報告し、指示を受けます。

## 4.相手の氏名、住所などの確認

## 5.マツダ販売店、保険会社への連絡

### 知識

軽いけがでも、必ず警察に届けましょう。また、外傷がなくても頭部などに強い衝撃を受けたときは、医師の診断を受けましょう。後遺症がでることがあります。

# MEMO

## 6 車との上手なつきあいかた

### 点検、整備 206

点検整備について .....	206
定期点検 .....	206
日常点検 .....	207

### 車の手入れ 213

外装の手入れ .....	213
内装の手入れ .....	218
その他の手入れ .....	220

### 積雪、寒冷時の取り扱い 222

冬にそなえて .....	222
運転する前に .....	223
走行するときは .....	224
駐車するときは .....	225
タイヤチェーンの取り付け .....	225
寒冷地用ワイパーブレードについて .....	226

### こんなときは 227

夏期の取り扱い .....	227
雨の日の運転 .....	227

### 環境保護のために 228

経済的な運転 .....	228
廃棄物を処理するときは .....	231

## 6.車との上手なつきあいかた 点検、整備

### 点検整備について

安全で快適な運転をするために、日常点検整備および定期点検整備を実施することが法律で義務づけられています。

安心してお車に乗っていただくために、また、大きなトラブルを防ぐ意味からも、定期的に点検整備を実施してください。

使用済バッテリーやタイヤ、エンジンオイルなどの廃液を処分するときは、マツダ販売店にご相談ください。



#### 警告

■点検は平らな場所で、車に輪止めをしてから行なってください。

車が不意に動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■エンジンルーム内を点検するときは、ファンやベルトなどの回転部に触れないようにしてください。

手や指などが巻き込まれるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。



#### 注意

エンジンルーム内を点検するときは、エンジンの高温部に触れないようにしてください。やけどをするおそれがあります。



#### 知識

新車登録後1か月（または走行距離1,000km）、6か月（または走行距離5,000km）は無料で点検が受けられます。

### 定期点検

12か月、24か月の定期点検整備はマツダ販売店で受けてください。



#### 知識

- 点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「定期点検整備記録簿および定期点検整備の記録」に記入してください。
- 一般的な使用よりも厳しい使われ方をした車はシビアコンディションとして早めに点検整備をする必要があります。くわしくは、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

## 日常点検

お客様のお車の使用状況に応じて、お客様自身の判断で適切な時期に実施していただく点検です。

日常点検はお客様自身で実施可能な項目となっておりますので、長距離走行前や洗車時、給油時などを目安に実施してください。

「日常点検整備のしかた」については別冊のメンテナンスノートに記載していません。



### 知識

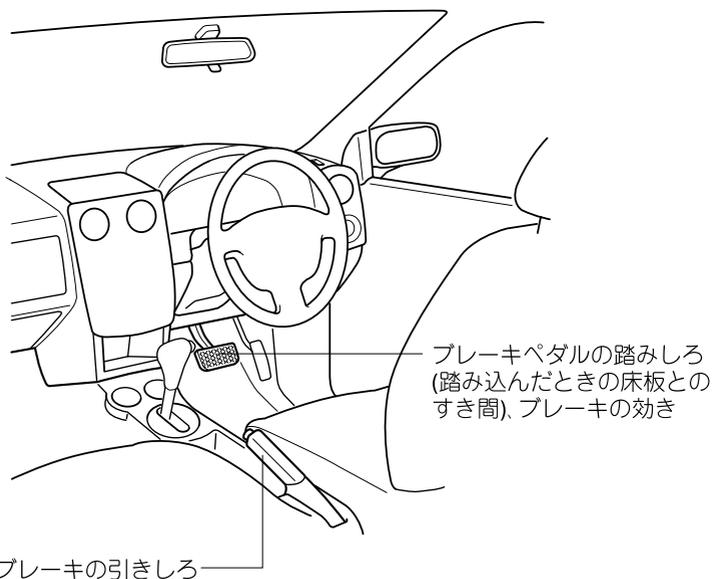
点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「メンテナンスレコード」に記入してください。

## 点検項目と点検箇所

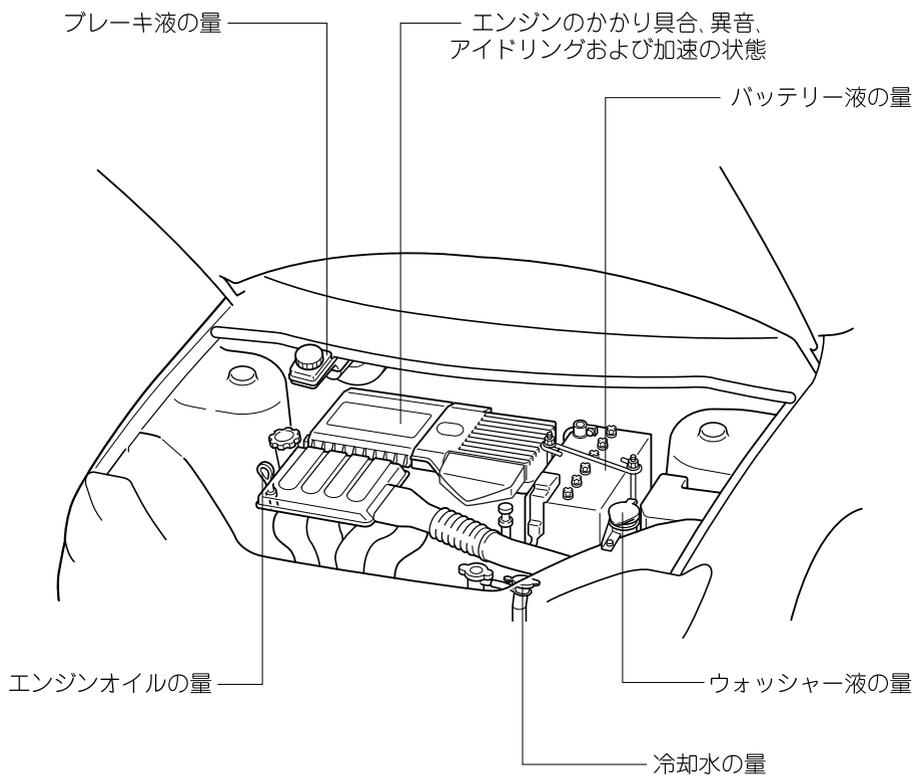
### 運行において異常が見られた箇所

前回の運転中に異常を認めた箇所について運転に支障がないかを点検します。  
点検要領については別冊のメンテナンスノートに記載しています。

### 運転席にすわって



## エンジンルームをのぞいて

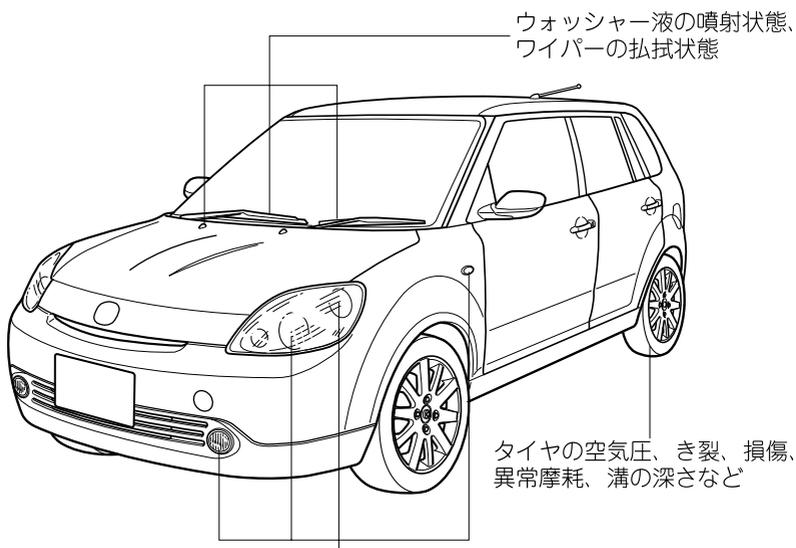


### 注意

エンジンルームの点検をしたときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

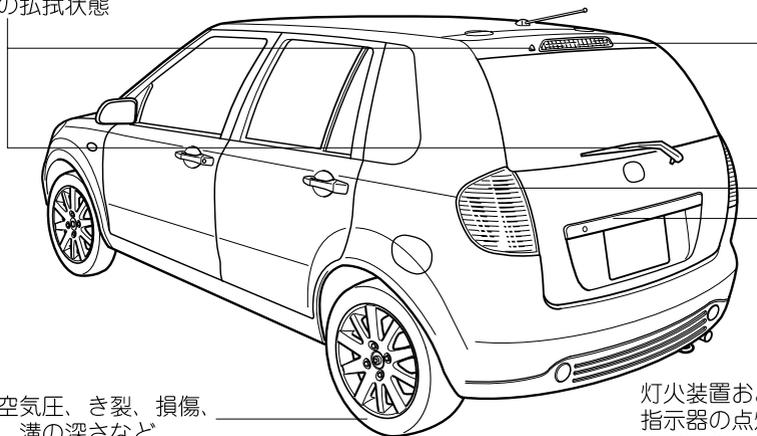
## 6.車との上手なつきあいかた 点検、整備

### 全体を見まわして



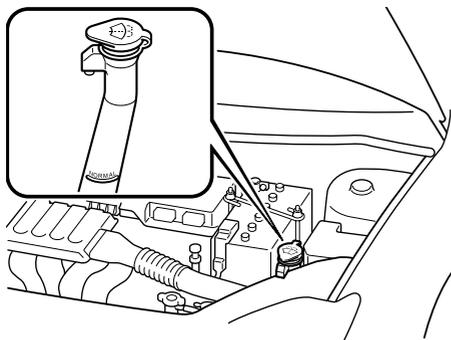
灯火装置および方向指示器の  
点灯または点滅具合、汚れ、損傷

ウォッシャー液の噴射状態、  
ワイパーの払拭状態



## ウォッシャー液の補充

ウォッシャー液がNORMALの位置より下にあるときは、純正ウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考に濃度を調節し、補充してください。



## 注意

エンジンがかかっているときやエンジンが熱いときはウォッシャー液を補充しないでください。ウォッシャー液がエンジンなどにかかると、出火するおそれがあります。

## 知識

- ウォッシャータンクはフロントワイパー用とリヤワイパー用で兼用しています。
- ウォッシャー液のかわりに石けん水などを入れないでください。塗装のシミになるおそれがあります。
- 寒冷地では、ウォッシャー液をタンクいっぱいまで補充しないでください。

## タイヤの点検

日常点検としてタイヤは定期的に点検してください。

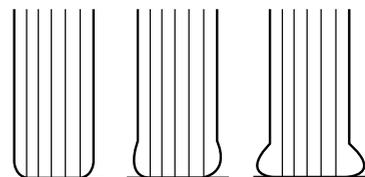
点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

## 空気圧の点検

### 警告

■ タイヤの空気圧が不足したままで走行しないでください。

タイヤの空気圧が不足していると車両の安定性を損なうばかりでなく、タイヤが偏摩耗したりします。また、タイヤの空気圧が不足したままで高速走行すると、タイヤがバースト(破裂)するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



過多

適正

不足

- タイヤの空気圧は走行に伴い約1割程度上がる場合があります。日常はタイヤが冷えている時にタイヤの接地部のたわみ状態を見て空気圧が適当であるかを点検します。
- ラジアルタイヤはたわみの状態での点検では空気圧が分かりにくいので、空気圧計で点検します。

## 点検、整備

- タイヤの空気圧は徐々に(自然に)低下しますので、目安として月に一度空気圧計を使用して空気圧が適当であるかを点検します。
- 適正空気圧は、運転席ドアに貼付されているラベルで確認してください。
- スペアタイヤも時々点検します。年1回は空気圧計を使用して空気圧が適正であることを点検します。  
→183ページ「スペアタイヤ」

### き裂、損傷の点検

タイヤの接地部全周や両側に著しいき裂や損傷およびクギ等の異物が刺さっていないかを目視で点検します。



### 警告

■ 異常があるタイヤを装着しないでください。

- 異常があるタイヤを装着すると、走行中にハンドルがとられたり、異常な振動を感じる場合があります。また、パンクやバースト(破裂)などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中、異常な振動を感じた場合はマツダ販売店で点検を受け、正常なタイヤと交換してください。

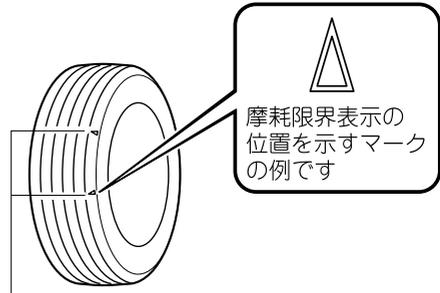
- 異常のあるタイヤを装着していると、車の性能(燃費・走行安定性・制動距離など)が十分に発揮できないばかりでなく、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、部品に悪影響をあたえるなど、故障の原因になるおそれがあります。

■ 道路の路肩などにタイヤの側面を接触させたり、凹凸やわだちの乗り越しは避けてください。

タイヤの損傷、き裂などをまねくおそれがあります。

### 溝の深さ、異常摩耗の点検

タイヤの溝の深さが十分であるか、摩耗限界表示(ウェアインジケーター)が現れていないか、また、タイヤに片減りや局部摩耗、段付き摩耗がないかを目視で点検します。



摩耗限界表示



### 警告

■ タイヤの溝の深さが少ないタイヤや摩耗限界表示(ウェアインジケーター)が現れているタイヤを使用しないでください。

そのまま使用すると、制動距離が長くなったり、雨の日にハイドロプレーニング現象※により、ハンドル操作ができなくなったり、タイヤがバースト(破裂)するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。摩耗限界表示が現れたらすみやかに正常なタイヤと交換してください。

※ぬれた路面を高速で走行すると、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になり、ハンドルやブレーキが効かなくなる現象。



### 知識

ウェアインジケーターは、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が1.6mmだけ浅くなっています。

## 外装の手入れ

車を美しく保つためには日ごろの手入れが大切です。



- 保管、駐車は風通しのよい屋根のある場所をおすすめします。
- 走行後は、車体についたほこりをやわらかい布か毛ばたきで払い落としましょう。
- とび石などによる塗装の傷は腐食の原因となります。見つけたら早めに補修してください。
- 洗車やワックスがけ、装備品の手入れは定期的に行ないましょう。
- ベンジンやガソリンなどの有機溶剤は塗装を損傷するので付着させないでください。万一付着した場合はただちにふき取るか、洗車してください。

- 次のようなときは、早めに洗車などの手入れを行なってください。そのまま放置しておく、塗装の変色や車体の腐食の原因となります。
  - 海岸地帯を走行したとき。
  - 凍結防止剤を散布した雪道を走行したとき。
  - ばい煙や粉じん、鉄粉、化学物質などの降下の多い場所を走行したとき。
  - 鳥のふん、虫の死がい、樹液、果実などが付いたとき。
  - コールタール、塗料、砂じん、コンクリートの粉などが付いたとき。
  - 泥、ほこりが著しく付いたとき。
  - 雨の中を走行したときや、雨にぬれたとき。



### 知識

工場から排出される化学物質や車の排気ガスなどが雨に溶けて降り注いだものを酸性雨といいます。酸性雨をボディに付着させたままにしておくと、塗装を傷つけるおそれがあります。早めに水で洗い流してください。

## 6.車との上手なつきあい 車の手入れ

### 洗車するとき

#### 水洗いするとき



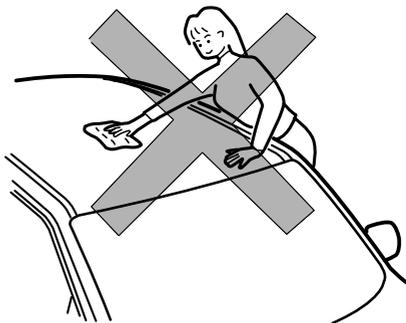
- 1 車の足まわりに付いている泥を洗い落とします。
- 2 車体上部から水をかけながら、やわらかいスポンジやセーム皮などで洗います。汚れがひどいときは洗車用洗剤を使用し、水で十分洗い流してください。
- 3 はん点が残らないように水をふき取ってください。

### 注意

- 車の下まわりや足まわりを洗うときはけがをしないよう注意してください。
- オートワイパー装備車は、ワイパーレバーをOFFの位置にしてください。電源ポジションがONで、ワイパーレバーがAUTOの位置のとき、ワイパーが自動で作動することがあります。
- 運転席/助手席側ワイパーアームを起こすときは、運転席側のワイパーアームから起こしてください。また、降ろすときは助手席側のワイパーアームから降ろしてください。ワイパーアームとブレードが接触し損傷するおそれがあります。

### 注意

- エンジンルーム内に水をかけないでください。エンジンの始動不良や電気部品の故障につながるおそれがあります。
- 洗車後は、ブレーキパッドがぬれているため、ブレーキの効きが悪くなっているおそれがあります。低速で走りながら、アクセルペダルを放してブレーキペダルを軽く数回踏んで、効きが回復するまでブレーキを乾かしてください。
- 洗車やワックスがけを行うときは、車体のルーフ部の一点やアンテナに強い力をかけないようにしてください。強い力をかけると、車体がへこんだり、アンテナが損傷するおそれがあります。



### 知識

洗車するときは、硬いブラシやたわしなどを使用しないでください。塗装を傷つけるおそれがあります。

#### 自動洗車機を使用するとき

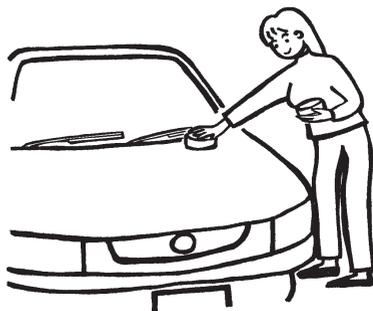
- ドアミラーを格納してください。
- アンテナを取りはずしてください。

- 自動洗車機を使用すると、ブラシにより傷がつき塗装の光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。
- スポイラー装備車は、洗車機によってはスポイラーがひっかかり洗車できない場合や損傷するおそれがあります。

### 高圧洗車機を使用するとき

洗車機は機種によっては高温、高圧のものがあります。洗車ノズルを近づけすぎると、モールなど樹脂部分やシール材などが変形、損傷したり、室内に水が入るおそれがありますので、洗車ノズルと車体との距離は十分に離してください(30cm以上)。また、同じ場所を連続して洗淨しないでください。ドアのすき間や窓ガラスまわりは、特に注意して行ってください。

### ワックスをかけるときは



- ワックスがけは月に一回程度、または水のはじきが悪くなったときに洗車してから行なってください。
- 直射日光を避け、ボディが冷えているとき(体温以下が目安)に行なってください。



### 知識

- コンパウンド(みがき粉)入りのワックスを使用すると、塗装の光沢が失われることがあります。
- ワックス容器に記載してある使用説明をよく読んでから使用してください。

### ガラス、ミラーの手入れ

ガラスやミラーについた油膜を取るときは、純正ガラスクリーナーを使用してください。



### 知識

フロントガラスに油膜があると、ワイパーがふき取りにくくなったり、雨の夜に対向車のライトなどが乱反射して見えにくくなる場合があります。

## 6.車との上手なつきあいかた 車の手入れ

ガラスの内側をふくときは、水やぬるま湯でぬらしたやわらかい布で、軽くふいてください。



### 注意

熱線を損傷するおそれがあるため、熱線にそってふいてください。ガラスクリーナーなどを使用すると、熱線をいためるおそれがあります。



## 撥水加工ガラス/ミラー☆

### 運転席/助手席窓ガラス

撥水加工が施されているため、運転席/助手席窓ガラスについて水滴が小さな水玉状になります。

また、撥水加工により、泥、油膜などが付きにくく、霜、雪なども落としやすくなります。

### ドアミラー

撥水加工が施されているため、ドアミラーについて水滴が小さな水玉状になります。

また、撥水加工により、泥、油膜などが付きにくく、霜、雪なども落としやすくなります。

### 手入れについて

水滴をはじく持続期間には限りがあります。長持ちさせるために次の点を守ってください。

- ガラスやミラーが汚れているときは、早めにやわらかい湿った布などで清掃してください。
- 運転席/助手席窓ガラスの汚れがひどいときは、汚れを取り除いてから、ガラスの開閉を行ってください。
- ガラスやミラーを清掃するときは、コンパウンド(みがき粉)のはいたガラスクリーナーやワックスは使用しないでください。また、ガラスクリーナーを使用しても曇る場合は、湿った布などでふき取ってください。
- 自動洗車機(コイン洗車機)を使用するときは、ガラスやミラー表面の泥などの汚れを落としてから洗車してください。
- ワックス洗車を使用したときは、ガラスやミラー表面についてワックスにより、水滴がはじきにくくなることがあります。このようなときは、ワックスをふき取ってください。

## アルミホイールの手入れ☆

アルミホイールに海水や凍結防止剤を付着させたままにしておくと、腐食するおそれがあります。

できるだけ早く水洗いしてください。

汚れのひどいときは中性洗剤をしみこませたやわらかい布などでふき取ってください。



### 注意

中性洗剤以外は使用しないでください。  
ご使用の際には成分をご確認ください。  
変色・シミの原因となります。



### 知識

- アルミホイールは傷がつきやすいので、砂入り石けんや硬いブラシは使用しないでください。
- 自動洗車機を使用すると、ブラシによる傷がつくことがあります。

## 外装樹脂部品の手入れ

- バンパーなど樹脂部品の塗装面にガソリン、オイル、冷却水、バッテリー液などが付着すると変色、シミ、塗膜はがれなどの原因となります。すみやかに軟らかい布でふき取ってください。
- 高圧洗車機は機種によって洗浄水が高温、高圧になるものがあります。必要以上に洗車ノズルを近づけたり長時間水圧をかけると樹脂部品の変形や塗膜の損傷などの原因になることがありますのでご注意ください。
- コンパウンド(みがき粉)入りのワックスを使用すると、塗膜を損傷するおそれがありますので使用しないでください。
- 電動またはエア工具を使用してコンパウンド(みがき粉)がけやワックスがけを行なうと摩擦熱が発生して、樹脂部品の変形や塗膜の損傷などの原因になりますので使用しないでください。
- プラスチックレンズを使用しているランプ類は、ガソリン、灯油、高濃度アルコール類、塗料、シンナー、強酸性洗剤、強アルカリ性洗剤などの化学液により表面が変色したりダメージを受けて、機能を著しく損なうおそれがあります。お手入れの際には使用しないでください。万一付着したときは、すみやかに水で洗い流してください。

## 6.車との上手なつきあいかた 車の手入れ

### 内装の手入れ



#### 警告

■室内に水をかけない。  
オーディオ、スイッチなどの電気部品に水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあります。

### 布張り部分の手入れ

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、シミや変色を生じることがあります。早めに手入れを行なってください。

- 1 水で薄めた中性洗剤(約5%)をやわらかい布に含ませ、軽くたたくようにして汚れた部分をふき取ります。
- 2 きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。



#### 知識

- 硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。
- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や、アルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。変色、シミの原因になります。

### 革張り部分の手入れ

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、シミや変色を生じることがあります。早めに手入れを行なってください。

- 1 掃除機などでホコリや砂を取り除きます。
- 2 純正専用クリーナーまたは水で薄めた中性洗剤(約5%)をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ります。

- 3 きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。
- 4 乾いたやわらかい布で水分を取り、風通しのよい日陰で乾燥させます。雨などでぬれたときも早めに水分をふき取り、乾燥させてください。



#### 知識

- 天然素材のため、シボ(本革表面の凹凸)の不均一や牛革本来の傷が分かる場合があります。
- 品質を長く保つため、年に2回程度の定期的なお手入れをおすすめします。
- シート表面についた砂やホコリなどは、本革表面の保護膜を傷つけ早期摩耗の原因になります。
- 本革部分に油汚れなどが付くとカビやシミなどの原因になります。
- 硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。
- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や、アルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。変色、シミの原因になります。
- シートがぬれたときはすぐに乾いた布で水分をふき取ってください。表面に水分が残っていると硬化、収縮など変質の原因になります。
- 直射日光に長時間さらすと、変質、縮みなどの原因になります。長時間駐車するときは、サンシェード(日除け)を使用するなどして直射日光をさげてください。
- ピニール製品を長時間シートの上に置かないでください。変質、変色の原因になります。室内が高温になっているとピニールが変質して本革部分に付着するおそれがあります。

## 樹脂部品の手入れ

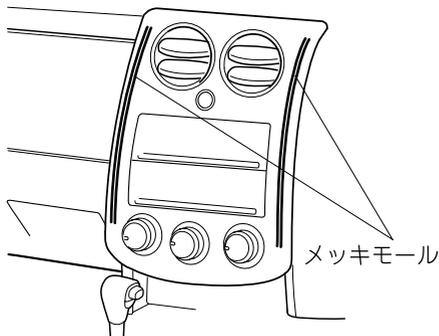
樹脂部品に油脂類が付着すると、変色、シミ、ひび割れ、塗膜はがれの原因になります。早めにやわらかい布などでふき取ってください。

### ⚠ 注意

つや出し剤を使用しないでください。  
含まれる成分によっては変色、シミ、ひび割れ、塗膜はがれの原因になります。

## メッキモールの手入れ

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなり、シミや変色を生じることがあります。早めに手入れを行なってください。メッキモールが汚れたときは、やわらかい布などでふき取ってください。



### 📖 知識

- 硬いブラシや布で強く押ししたり、こすったりすると、傷つきやつぶれが発生することがあります。
- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や、アルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。変色、シミの原因になります。

## パネルの手入れ

パネルが汚れたときは、やわらかい布などでふき取ってください。

### 📖 知識

硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。

特に次の箇所には特殊な塗装処理が施されたパネルが取り付けられているため、お手入れには注意が必要です。

- ・ ピアノブラックパネル

## シートベルトの手入れ

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、ベルトの巻き取りが悪くなる場合があります。早めに手入れを行なってください。

- 1 水で薄めた中性洗剤（約5%）をやわらかい布に含ませ、軽くたたくようにして汚れた部分をふき取ります。
- 2 きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。
- 3 手入れのため引き出したシートベルトを巻き取らせるときは、十分に乾燥させ、水分が残っていないことを確認してください。

### ⚠ 警告

■ シートベルトにほつれ、すりきずなどの異常があるときは、マツダ販売店で交換してください。

そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

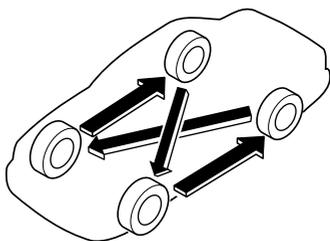
 知識

- 硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。
- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や、アルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。変色、シミの原因になります。

その他の手入れ

タイヤの位置交換  
(タイヤローテーション)

タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命をのばすために、約5,000km走行ごとにタイヤの位置を交換してください。



 警告

■ タイヤを交換するときは指定されたタイヤを装着してください。  
指定された組み合わせ以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

 注意

タイヤには、回転方向が指定されているものがあります。タイヤを交換するときは、タイヤ側面の回転方向を示す矢印に従って取り付けてください。



## 知識

- タイヤの位置交換を行なうときは、搭載されているジャッキとスペアタイヤを使用して1輪ずつ交換して下さい。  
→185ページ「タイヤ交換」
- タイヤの位置交換を行うまえにタイヤの空気圧、摩耗を点検してください。  
→211ページ「タイヤの点検」

## 6.車との上手なつきあいかた 積雪、寒冷時の取り扱い

### 冬にそなえて

#### エンジンオイルの準備

外気温に応じたエンジンオイルに交換してください。

→233ページ「エンジンオイル」

#### 冷却水の濃度の調節

冷却水には、凍結を防止するために不凍液が入っています。

冬場になっても凍結しないよう冷却水の濃度を調節してください。

不凍液の割合	凍結温度
30%	-16°C
50%	-37°C

純正ロングライフクーラント (ゴールドデン)<sup>【FL22】</sup>を使用する場合

純正ロングライフクーラント (ゴールドデン)<sup>【FL22】</sup>は濃度調整済みの冷却水です。

薄めずそのままご使用ください。

冷却水量の点検や補充については別冊のメンテナンスノートに記載しています。

冷却水を交換する場合はマツダ販売店にご相談ください。

#### ウォッシャー液の濃度の調節

ウォッシャー液が凍結するのを防ぐため、ウォッシャー液容器に表示してある凍結温度を参考にして、外気温に応じた濃度に調節してください。

→211ページ「ウォッシャー液の補充」

#### バッテリー液の点検

気温が下がるとバッテリー性能が低下するためエンジン始動が困難になる場合があります。

バッテリー液の量、比重を点検し、必要に応じて液の補充をしてください。

- 点検、補充の要領は別冊のメンテナンスノートに記載しています。
- 交換するときは、マツダ販売店にご相談ください。

#### 冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

冬用タイヤに交換するときは、前後輪とも指定された同一サイズ、同一種類のものを使用してください。



#### 警告

- **タイヤを交換するときは前後輪とも必ず指定された同一サイズ、同一種類のものを使用してください。**

指定された組み合わせ以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

タイヤチェーンはタイヤサイズに合った純正品を準備し、使用する前に一度装着してみてサイズを確認しておきましょう。

→225ページ「タイヤチェーンの取り付け」

## 運転する前に

### ルーフに雪が積もっているときは

- 走行中、ガラスに雪が落ちると視界のさまたげとなり危険です。走行前に取り除いてください。
- ルーフの雪を取り除くときは、アンテナに注意して取り除いてください。アンテナを損傷するおそれがあります。

### ガラスに雪や霜がついているときは

視界を確保するため取り除いてください。プラスチックの板などを使用して取り除くことができます。プラスチックの板などを使用する時はガラスに傷をつけないように注意して取り除いてください。

### 足まわりなどに雪や氷が付着しているときは

部品に傷をつけないように注意して取り除いてください。

### ドアなどが凍結しているときは



- ドアが凍結しているときは、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。無理に開けようとする、ドアまわりのゴムがはがれたり、周辺部を損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部にはお湯をかけないでください。凍結してキーが差しこめなくなるおそれがあります。
- お湯をかけたあとは、すぐに水分をふき取ってください。
- ワイパー、パワーウィンドー、電動ドアミラーなどが凍結して動かない場合もお湯をかけて氷を溶かしてから操作してください。無理に動かそうとすると故障の原因になります。

### 車に乗るときは

靴についた雪をよく落としてから乗車してください。ペダル類を操作するときにすべったり、室内の湿気が多くなるため窓ガラスが曇ったりすることがあります。

## 6.車との上手なつきあいかた 積雪、寒冷時の取り扱い

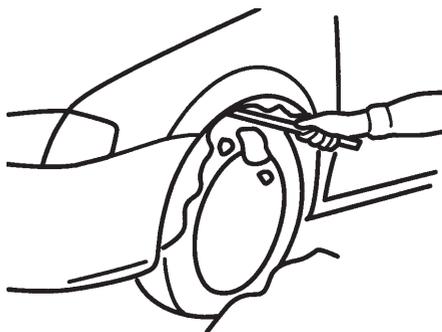
### 走行するときは

すべりやすい路面を走行するときは



- 早めに冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着してください。  
→225ページ「タイヤチェーンの取り付け」
- 急発進、急ハンドルや急ブレーキを避け、ひかえめな速度で運転してください。
- 日陰や橋の上、水たまりなど、凍結しやすい場所にさしかかる前では速度を落とし、注意して走行してください。

### ハンドルの切れ具合に注意



走行中、フェンダーの裏側に雪が付着して氷になり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。  
ときどき車を止めて点検し、氷塊が大きくなる前に取り除いてください。

### ブレーキの効き具合を確認

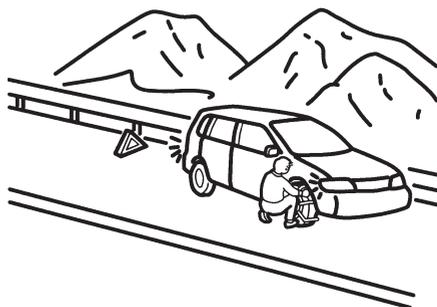
ブレーキ装置に雪や氷が付着すると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。  
効が悪いときは、低速で走りながらアクセルペダルを放してブレーキペダルを軽く数回踏んで、効きが回復するまでブレーキを乾かしてください。

## 駐車するときは



- 寒冷時はパーキングブレーキをかけると凍結して解除できなくなるおそれがあります。パーキングブレーキは使わず、セレクトレバーをPに置いてタイヤに輪止めをしてください。
- ボンネット側を風下に向けて駐車してください。風上に向けるとエンジンが冷えすぎて始動しにくくなることがあります。
- ワイパーアームは立てて駐車してください。寒冷時はワイパーゴムがガラスに凍りつくことがあります。

## タイヤチェーンの取り付け



タイヤチェーンは前輪に取り付けます。タイヤチェーンはタイヤサイズに合った純正品を使用してください。タイヤチェーンに付属の取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。タイヤチェーンの取り付けは、交通のさまたげにならず、安全に作業ができる平らな場所で行なってください。路上で行なう場合は、非常点滅灯、停止表示板(停止表示灯)を使用してください。

## 6.車との上手なつきあい 積雪、寒冷時の取り扱い

### 注意

- 応急用スベアタイヤにタイヤチェーンは装着できません。前輪がパンクしたときは応急用スベアタイヤを後輪に、はずした後輪を前輪に取り付け、前輪にタイヤチェーンを装着してください。
- 純正品以外のタイヤチェーンを使用するとボディーなどに干渉し、傷をつけるおそれがあります。くわしくは、マツダ販売店にご相談ください。
- 積雪路、凍結路以外ではタイヤチェーンを装着して走行しないでください。チェーンの摩耗を早める原因になります。
- タイヤチェーンを装着したときは、30km/h以下で走行してください。30km/h以上で走行すると、タイヤチェーンにかかる負担が大きくなるため、チェーンが切れやすくなります。

### 知識

- お客様のお車にタイヤチェーンは標準で搭載されていません。必要に応じてマツダ販売店でお求めください。
- ホイールキャップ装着車は、キャップをはずしてからタイヤチェーンを取り付けてください。ホイールキャップに傷がつくおそれがあります。
- アルミホイール装着車にタイヤチェーンを取り付けると、ホイールに傷がつくおそれがあります。

### 寒冷地用ワイパーブレードについて

降雪期にフロントガラスに雪が付着するのを防ぐために、寒冷地用ワイパーブレードをお使いください。

寒冷地用ワイパーブレードは通常のワイパーブレードの金属部分をゴムでおおってあります。

必要に応じてマツダ販売店でお求めください。

### 知識

高速走行時は、通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなりますので、ワイパー使用時は速度を落として走行してください。

## 夏期の取り扱い

### エアコンのチェック

エアコンの冷媒（エアコンガス）が不足していると、冷房性能が低下します。

夏になる前にマツダ販売店で点検を受けておきましょう。

### 炎天下に駐車したあとは

炎天下に駐車したあとは室内の温度が大変高くなります。このようなときは、窓ガラスを開けて、室内の熱気を逃がしてからエアコンを作動させてください。

### オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足していないかこまめに点検してください。

点検要領は別冊のメンテナンスノートに記載しています。

## 雨の日の運転

### ガラスが曇るときは

湿度の高い日はガラスが曇りやすくなります。このようなとき、エアコンを使用して曇りを取ることができます。エアコンを作動させると吹き出し風が除湿されるため、より効果的に曇りを取ることができます。

→158ページ「エアコンを上手に使用していただくために」

リヤガラスの曇りを取るときは、リヤウインドーデフォグスイッチを押してください。

→145ページ「リヤウインドーデフォグ（曇り取り）スイッチ」

### フロントガラスの油膜をとるときは

雨の夜は、フロントガラスに油膜があると、対向車のライトなどが乱反射して、見えにくくなることがあります。

ガラスクリーナーを使ってフロントガラスの表面をきれいにしてください。

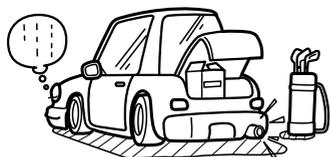
## 経済的な運転

地球環境にやさしい、経済的な運転を心がけてください。

### アイドリングストップ

コンビニでの買い物、人待ちや荷降ろしなど、ちょっとした駐車するときにもエンジンを止めましょう。

10分間のアイドリングで、130cc程度の燃料を浪費します。



### 不要な荷物は積まない

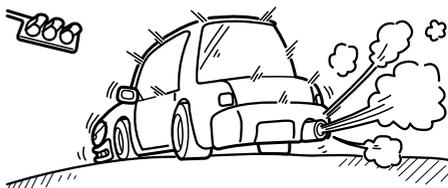
荷物が多いほど、燃料を多く消費します。不要な荷物は降ろして走行しましょう。

100 kgの不要な荷物を載せて走ると、3%程度燃費が悪化します。



### 空ぶかしをしない

空ぶかしをやめると、燃料を節約できます。空ぶかしは環境にも車にもよくありません。



### エアコンの使用は控えめに

エアコンの使用を控えると、燃料の節約になります。

外気温25°Cの時に、エアコンを使用すると、12%程度燃費が悪化します。



## タイヤの空気圧を適正に

こまめに点検し、適正な空気圧に調整しましょう。

タイヤの空気圧が適正值より50 kPa (0.5 kg/cm<sup>2</sup>) 不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度、それぞれ燃費が悪化します。



## ゆとりある走行を

急発進、急加速、急ブレーキは避けましょう。

速度にムラのある走り方をすると、市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化します。



## 経済的速度

一般道路で40km/h、高速道路で80km/h程度の等速走行が経済的です。



## アクセルペダルの上手な踏みかた

### 加速終了時

アクセルペダルを少し大きめにもどしてみよう。適切に無駄なく自動変速されるため、燃費がよくなります。

### 下り坂に入るとき、減速を始めるとき

早めにアクセルペダルをもどし、エンジンブレーキを使いましょう。アクセルペダルをもどすと燃料噴射が停止されるので、燃費がよくなります。

### 等速走行時

アクセルペダルの踏み加減を一定に保ちましょう。

アクセルペダルの踏み込み、踏みもどしは少ないほど燃料噴射が少なくなるため、燃費がよくなります。

## JC08モード燃費について

### 「JC08モード」とは



知識

車両カタログに記載されている「JC08モード」燃費は、お客様の使用環境変化や燃費測定技術の進歩を踏まえて、図1のような実際の走行に近い細かな速度変化での運転条件で、エンジン冷間時、暖機後の2パターンを図2のようなシャシーダイナモーター上で走行した値です。ただし、気象条件や渋滞などのお客様の使用環境、急発進、エアコンや電気負荷など実際の走行とは異なる場合があります。

図1. JC08モード走行

走行距離 8.172Km  
平均速度 24.4Km/h  
最高速度 81.6Km/h

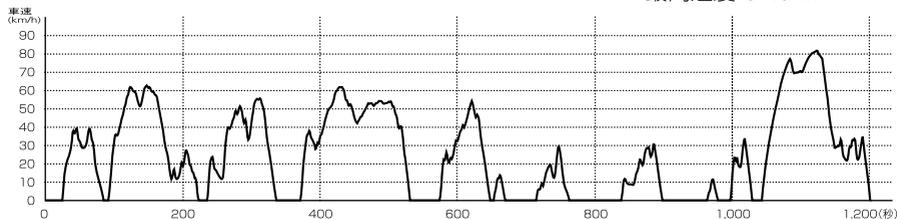
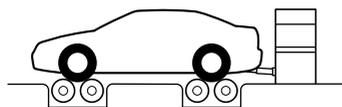


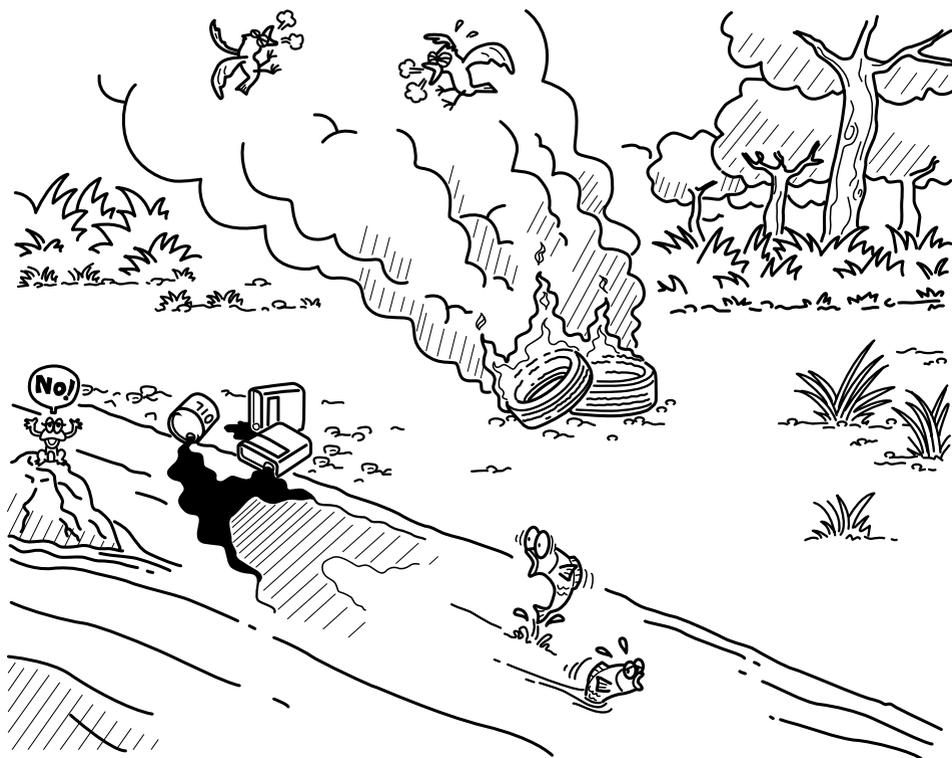
図2. シャシーダイナモーター



## 廃棄物を処理するときは

廃棄物については、法律上適切な処理が求められています。

- タイヤを燃やすと有毒なガスが発生するので、自己処理はしないでください。使用済みタイヤは新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- バッテリーは鉛や硫酸が使われています。使用済みバッテリーは新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルやクーラントが地下や川などに流れ出すと、環境を悪化させます。交換済みのエンジンオイルは新品エンジンオイルを購入した販売店に処分を依頼してください。また、クーラントを交換する場合はマツダ販売店にご相談ください。
- エアコンにはオゾン層を破壊しない代替フロンガスを使用しています。それでも代替フロンガスには地球を温暖化するはたらきがあります。ガスの大気放出を防止するため、エアコンの点検、修理はマツダ販売店か専門の修理業者に依頼してください。



# サービスデータ

---

## 燃料、オイル、液類

### ■燃料

使用燃料については、108ページの「燃料補給口」もあわせてお読みください。

項目	サービスデータ
使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
タンク容量 (参考値)	45L

### ■フューエルフィルター

項目	サービスデータ
交換時期	160,000km走行ごと

## ■エンジンオイル

オイル量の確認は、必ずレベルゲージで行なってください。

交換時期は走行kmまたは年月のどちらか早い方で交換してください。

寒冷地では、エンジンオイルが劣化しやすいので、早めにオイルを交換してください。

項目		サービスデータ	
交換時期		標準	15,000kmまたは1年ごと
		シビアコンディション <sup>*1</sup>	7,500kmまたは6か月ごと
オイルグレード	純正モーターオイルゴールドENECO SN <sup>*2</sup>	API SN/ILSAC GF-5, SAE 0W-20	
	純正モーターオイルゴールドENSM	API SM/ILSAC GF-4, SAE 5W-20	
		API SM/ILSAC GF-4, SAE 5W-30	
交換量 (参考値)	オイルのみ	3.7L	
	オイルとオイルフィルター	3.9L	

\*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

\*2 純正モーターオイルゴールドENECO SNは省燃費性に優れたエンジンオイルです。

### 使用温度範囲

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを次の表にもとづき使用してください。



# サービスデータ

---

## ■エンジンオイルフィルター

交換時期は走行kmまたは年月のどちらか早い方で交換してください。

項目	サービスデータ	
交換時期	標準	15,000kmまたは1年ごと
	シビアコンディション*1	7,500kmまたは6か月ごと

\*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

## ■オートマチックトランスミッションフルード

液量の確認は、レベルゲージで行なってください。

項目	サービスデータ
推奨フルード	純正ATF M-V
容量 (参考値)	7.0L

## ■ブレーキ液

液量の確認は、リザーバタンク表面のゲージで行なってください。

項目	サービスデータ
交換時期	2年ごと (初回は3年)
推奨液	純正ブレーキフルードBF-3 (DOT-3)

## ■冷却水

液量の確認は、リザーバータンク表面のゲージまたはリザーバータンクのキャップにあるレベルゲージで行なってください。

項目		サービスデータ
交換時期	純正ロングライフクーラント	2年ごと (初回は3年)
	純正ロングライフクーラント (ゴールドデン)*1	100,000km走行または4年ごと (初回は180,000km走行または9年)
推奨液		純正ロングライフクーラント、純正ロングライフクーラント (ゴールドデン)*1
容量 (参考値)		5.0L

冷却水を補充するときは、ラジエーターとリザーバータンクへ補充してください。また、冷却水を交換するときはエンジン側での作業も必要です。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

\*1 ラジエーターキャップまたはその付近に **FL22** のマークがある場合は、純正ロングライフクーラント (ゴールドデン) を使用してください。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

## ■ウォッシャー液

液量の確認は、レベルゲージやリザーバータンク表面のゲージで行なってください。

項目	サービスデータ
タンク容量 (参考値)	2.5L

# サービスデータ

---

## 各部の点検値、交換時期

### ■ブレーキペダル

項目	サービスデータ
遊び	4.2~6.3mm
床板とのすき間 (踏力147N {15kgf})	79mm以上

### ■パーキングブレーキ

項目	サービスデータ
引きしろ (操作力10kg)	3ノッチ

### ■オルタネーターベルト

項目	サービスデータ
たわみ量	自動調整式 (使用限度をこえているものは交換)

### ■エアクリナーエレメント

項目	サービスデータ	
交換時期	標準	50,000km走行ごと
	シビアコンディション*1	25,000km走行ごと

\*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

## 電気部品/電球 (バルブ)

## ■スパークプラグ

項目		サービスデータ
型式	DENSO	FK16PR11



## 注意

イリジウムプラグは、ワイヤーブラシなどによる清掃は行なわないでください。イリジウム合金チップおよび白金チップの微粒子膜が損傷または脱落するおそれがあります。

## ■バッテリー

項目	サービスデータ
型式、容量	55D23L、55Ah (20時間率)

# サービスデータ

## ■電球 (バルブ) の容量

電球 (バルブ)			W数 (12V用)	規格 (UNECE*1 (SAE))
ヘッドランプ	ディスチャージヘッドランプ 非装備車	Hi	60 W	HB3 (9005)
		Lo	55 W	H7 (H7)
	ディスチャージヘッドランプ 装備車	Hi	60 W	HB3 (9005)
		Lo	35 W	D2S (D2S)
フォグランプ☆			55 W	H11 (H11)
車幅灯			5 W	W5W (—)
前面方向指示灯/非常点滅灯			21 W	PY21W (—)
側面方向指示灯/非常点滅灯			5 W*2	WY5W (—)
後面方向指示灯/非常点滅灯			21 W	W21W (7440)
制動灯/尾灯			21/5 W	W21/5W (7443)
後退灯			21 W	W21W (7440)
番号灯			5 W	W5W (—)
ハイマウントストップランプ			LED*3	— (—)
メイクアップミラーランプ			1.7 W	— (—)
パニティミラーランプ			2 W	— (—)
ルームランプ、ラゲッジルームランプ			10 W	— (—)
グラウンドイルミネーションランプ			5 W	— (—)

\*1 UNECEはUnited Nations Economic Commission for Europe (国連欧州経済委員会) の略です。

\*2 電球 (バルブ) の交換はできません。ランプユニット本体の交換となります。

\*3 LEDはLight Emitting Diodeの略で発光するダイオードです。

---

■ヒューズ

→196ページ「ヒューズの受け持つ装置」

# サービスデータ

## タイヤ/ホイール

### ■タイヤ/ホイールサイズ

#### 標準タイヤ

タイヤサイズは、運転席ドアに貼付されているラベルで確認してください。

タイヤサイズ	ホイール		
	サイズ	インセット (オフセット)	ピッチサークル直 径
175/65R14 82S	14×6J	45mm	100mm
185/55R15 81V	15×6J		

#### 応急用スペアタイヤ

タイヤサイズ	ホイール	
	サイズ	ピッチサークル直 径
T115/70D14 88M	14×4T	100mm

### ■タイヤ空気圧

#### 標準タイヤ

適正空気圧は、運転席ドアに貼付されているラベルで確認してください。

→14ページ「日常点検としてタイヤを定期的に点検する」

タイヤサイズ	タイヤ空気圧	
	前輪	後輪
175/65R14 82S	230 kPa (2.3 kgf/cm <sup>2</sup> )	200 kPa (2.0 kgf/cm <sup>2</sup> )
185/55R15 81V	210 kPa (2.1 kgf/cm <sup>2</sup> )	180 kPa (1.8 kgf/cm <sup>2</sup> )

#### 応急用スペアタイヤ

タイヤサイズ	タイヤ空気圧
T115/70D14 88M	420 kPa (4.2 kgf/cm <sup>2</sup> )

---

## ■ホイールナットの締め付けトルク

タイヤを取り付けるときは、次のトルクでホイールナットを締め付けてください。

**88N・m～118N・m (9kgf・m～12kgf・m)**

## ■ブレーキディスク、ブレーキドラムの摩耗限度情報

ブレーキディスクの使用限度値、ブレーキドラムの摩耗限度値、およびそれぞれの測定方法に関する情報が必要な場合は、マツタ販売店にご相談ください。

## さくいん

### A

### D

DSC (ダイナミックスタビリティコントロール)	78
DSC OFFスイッチ	79
DSC OFF表示灯	79
TCS/DSC作動表示灯	78

### S

SRSエアバッグシステム	64
--------------	----

### T

TCS (トラクションコントロールシステム)	77
TCS/DSC作動表示灯	77

### A

アームレスト	43
アッパーグローブボックス	169
アドバンストキー	82

### ア

#### アドバンストキー

アドバンストキー車外持ち出し	
警報	95
アドバンストキー電池切れ警報	96
エンジン始動不許可警報	96
エンジンのかけかた	89
キーナンバープレート	85
こんなときは	98
作動範囲	87
システム故障警報	95
スタートノブもどし忘れ警報	95
施錠/解錠	88
設定変更 (カスタマイズ機能)	97
電池交換	85
補助キー機能	94
リクエストスイッチ不動作警報	96
リモートコントロール機能	93

#### アルミホイール

手入れ	217
-----	-----

#### アンチロックブレーキシステム

(ABS)	75
警告灯	75
アンテナ	165

### イ

EDR (イベントデータレコーダー)	74
イモビライザーシステム	113
イルミネーテッドエントリーシステム	166
グラウンドイルミネーションランプ	118
インテリアライト (室内照明)	166
インナーミラー (ルームミラー)	118

## ウ

ウインカー (方向指示器)	
レバー .....	140
W (ワット) 数 .....	238
ウインドー	
曇ったとき .....	163
手入れ .....	215
パワーウインドー .....	105
リヤウインドーデフォッガー	
(曇り取り) スイッチ .....	145
ウォッシュャー液	
ウォッシュャースイッチ .....	141
タンク容量 .....	235
冬にそなえて (濃度の調節) .....	222
補充 .....	211

## エ

エアコン (空調) .....	158
上手に使用するために .....	158
フルオートエアコン .....	162
エアバッグシステム .....	64
ABS (アンチロックブレーキ	
システム) .....	75
警告灯 .....	75
SRSエアバッグシステム	
警告灯 .....	73
エンジン	
かけかた .....	148
エンジンオイル	
交換時期、推奨オイル、交換量 .....	233
冬にそなえて .....	222
油圧警告灯 .....	126
エンジン回転計 (タコメーター) .....	122
エンジンフード (ボンネット) .....	111
エンスト (故障したとき) .....	177

## オ

応急用スペアタイヤ .....	183
オーディオ	
オーディオリモートコントロー	
ルスイッチ .....	165
オートマチック車	
運転するとき .....	153
オートマチックトランスミッション	
シフトロック装置 .....	151
セレクトレバー .....	150
ホールドモード .....	152
オートマチックトランスミッションフ	
ールド	
推奨フルード、容量 .....	234
オーバーヒートしたとき .....	188
お子さま専用シートについて	
シートの種類 .....	56
選択の目安 .....	58
お子さまの安全	
お子さま専用シートについて .....	55
チャイルドシートの固定 .....	62
オドメーター .....	121
オルタネーターベルト	
点検基準値 .....	236

## カ

夏期の取り扱い .....	227
ガソリン (燃料)	
使用燃料、容量 .....	232
燃料補給口 .....	108
カップホルダー .....	168
ガラス	
曇ったとき .....	163
手入れ .....	215
リヤウインドーデフォッガー	
(曇り取り) スイッチ .....	145
環境保護のために .....	228

## カ

寒冷時の取り扱い ..... 222

## キ

キックダウン ..... 27

緊急用具の取り扱い ..... 178

## ク

空気圧(タイヤ) ..... 14

空調(エアコン) ..... 158

曇り取り(デフォッガー)スイッチ ..... 145

クラクション(ホーン) ..... 145

クリーブ現象 ..... 27

グローブボックス ..... 169

## ケ

### 警告灯

エアバッグ警告灯 ..... 128

ABS警告灯 ..... 127

エンジン警告灯 ..... 127

KEY警告灯(赤) ..... 131

故障警告表示灯 ..... 126

シートベルト警告灯 ..... 129

充電警告灯 ..... 126

電動パワーステアリング ..... 130

燃料残量警告灯 ..... 129

半ドア警告灯 ..... 130

プリテンショナー警告灯 ..... 128

ブレーキ警告灯 ..... 125

ヘッドランプオートレベリング

警告灯 ..... 132

油圧警告灯 ..... 126

## ケ

### 警報音

アドバンストキーレス警報 ..... 135

キー抜き忘れ防止チャイム ..... 135

シートベルト着用忘れチャイム... 135

ランプ消し忘れ防止チャイム ..... 135

リバースポジションチャイム ..... 135

化粧鏡(パニティミラー) ..... 166

けん引 ..... 200

## コ

工具 ..... 179

後退灯(バックランプ)

W(ワット)数 ..... 238

故障したとき ..... 176

## サ

サイドブレーキ ..... 149

サイドミラー(ドアミラー) ..... 116

サンバイザー ..... 166

## シ

### シート

正しい運転姿勢 ..... 40

フロントシート ..... 42

リヤシート ..... 44

## シ

シートベルト	
アンカーアジャスター .....	53
ELR (緊急時固定機構) 付	
シートベルト .....	51
警告灯 .....	50
3点式シートベルト .....	50
正しい着用のしかた .....	47
着用忘れチャイム .....	50
手入れ .....	219
ブリテンショナー付	
シートベルト .....	51
ロードリミッター付	
シートベルト .....	53
事故が起きたときは .....	203
室内照明 .....	166
室内灯 (ルームランプ)	
スイッチ .....	167
W (ワット) 数 .....	238
シフトロック装置 .....	151
ジャッキ .....	179
車幅灯 (スモールランプ)	
スイッチ .....	136
W (ワット) 数 .....	238
収納 .....	169
アッパーグローブボックス .....	169
グローブボックス .....	169
ラゲッジルームサイドバー .....	170
リヤパッケージトレイ .....	170

## ス

水温計 .....	122
ステアリング (ハンドル) .....	116
ストップランプ (制動灯)	
W (ワット) 数 .....	238
スノータイヤ .....	222
スピードメーター .....	121
スペアタイヤ .....	183

## ス

スモールランプ (車幅灯)	
スイッチ .....	136
W (ワット) 数 .....	238

## セ

制動灯 (ストップランプ)	
W (ワット) 数 .....	238
積雪、寒冷時の取り扱い .....	222
セレクトレバー .....	150
洗車 .....	214
前照灯 (ヘッドランプ)	
スイッチ .....	136
レベリングスイッチ .....	138
W (ワット) 数 .....	238

## ソ

速度計 (スピードメーター) .....	121
----------------------	-----

## タ

ターンシグナル (方向指示器)	
レバー .....	140
W (ワット) 数 .....	238
ダイナミックスタビリティコント	
ロール (DSC) .....	78
DSC OFFスイッチ .....	79
DSC OFF表示灯 .....	79
TCS/DSC作動表示灯 .....	78
タイヤ	
応急用スペアタイヤ .....	183
空気圧 .....	14
交換 .....	185
サイズ .....	240
チェーン .....	225
点検 .....	211
冬にそなえて .....	222
ローテーション (位置交換) .....	220

## タ

タコメーター ..... 122

## チ

チェーン (タイヤチェーン) ..... 225

チャイルドシート ..... 55

シートの種類 ..... 56

選択の目安 ..... 20, 58

チャイルドシートの固定 ..... 62

チャイルドプルーフ ..... 101

駐車するとき

オートマチック車 ..... 155

坂道駐車 ..... 30

積雪、寒冷時 ..... 225

駐車ブレーキ (パーキングブレーキ)

警告灯 ..... 150

操作方法 ..... 149

点検基準値 ..... 236

チルトステアリング ..... 116

## テ

定期点検 ..... 206

ディスチャージヘッドランプ ..... 137

手入れ

アルミホイール ..... 217

外装 ..... 213

ガラス ..... 215

革張り部分 ..... 218

シートベルト ..... 219

樹脂部品 ..... 219

内装 ..... 218

布張り部分 ..... 218

撥水加工ガラス/ミラー ..... 216

ミラー ..... 215

メッキモール ..... 219

## テ

テールランプ (尾灯)

スイッチ ..... 136

W (ワット) 数 ..... 238

電球

W (ワット) 数 ..... 238

点検整備について ..... 206

電源ソケット ..... 173

電動格納ミラー (ドアミラー) ..... 117

電動ミラー (ドアミラー) ..... 116

## ト

ドア ..... 99

パワードアロック ..... 101

リヤゲート ..... 102

ドアミラー ..... 116

グラウンドイルミネーションラ

ンプ ..... 118

盗難防止システム ..... 113

イモビライザーシステム ..... 113

トラクションコントロールシステム

(TCS) ..... 77

TCS/DSC作動表示灯 ..... 77

トリップメーター ..... 121

## ナ

ナンバープレートランプ (番号灯)

スイッチ ..... 136

W (ワット) 数 ..... 238

## ニ

日常点検 ..... 207

## ネ

燃料	
使用燃料、容量 .....	232
燃料計 .....	123
燃料残量警告灯 .....	129
燃料補給口 .....	108

## ハ

パーキングブレーキ	
警告灯 .....	150
操作方法 .....	149
点検基準値 .....	236
ハイビーム(ヘッドランプ上向き)	
W(ワット)数 .....	238
ハイマウントストップランプ	
W(ワット)数 .....	238
ハザードランプ(非常点滅灯)	
スイッチ .....	146
W(ワット)数 .....	238
発炎筒 .....	178
バックミラー(ルームミラー) .....	118
パッシング合図 .....	140
撥水加工ガラス/ミラー .....	216
バッテリー	
あがったとき .....	190
型式、容量 .....	237
冬にそなえて .....	222
パニティミラー(化粧鏡) .....	166
バルブ(電球)	
W(ワット)数 .....	238
パワーウインドー .....	105
パワードアロック .....	101
パンクしたとき .....	185
番号灯(ナンバープレートランプ)	
スイッチ .....	136
W(ワット)数 .....	238
半ドア警告灯 .....	130

## ハ

ハンドル .....	116
------------	-----

## ヒ

非常点滅灯	
スイッチ .....	146
W(ワット)数 .....	238
尾灯(テールランプ)	
スイッチ .....	136
W(ワット)数 .....	238
ヒューズ .....	193
表示灯	
ECO表示灯 .....	134
KEY表示灯(緑) .....	135
車幅灯表示灯 .....	134
セキュリティ表示灯 .....	133
セレクトレバー位置表示灯 .....	133
DSC OFF表示灯 .....	134
TCS/DSC作動表示灯 .....	134
ハイビーム	
(ヘッドランプ上向き)表示灯 .....	132
フロントフォグランプ表示灯 .....	135
方向指示/非常点滅表示灯 .....	132
ホールドモード表示灯 .....	132

## フ

ブースターケーブルのつなぎ方 .....	190
フォグランプ	
スイッチ .....	141
W(ワット)数 .....	238
吹き出し口(空調) .....	159
フック(けん引) .....	200
踏切内で動けなくなったとき .....	177
フューエルキャップ .....	110
フューエルリッド(燃料補給口) .....	110
冬にそなえて .....	222
冬用タイヤ(スノータイヤ) .....	222

## フ

ブレーキ .....	149
警告灯 .....	150
ブレーキ液(フルード)	
交換時期、推奨液 .....	234
ブレーキランプ	
W(ワット)数 .....	238
フレキシブルボード .....	171
フロントシート .....	42

## へ

平均燃費表示 .....	121
ヘッドランプ(前照灯)	
スイッチ .....	136
レベリングスイッチ .....	138
W(ワット)数 .....	238

## ホ

ホイール	
サイズ .....	240
手入れ .....	217
方向指示器	
レバー .....	140
W(ワット)数 .....	238
ホールドモード	
スイッチ .....	152
ホーン .....	145
ボトルホルダー .....	169
ボンネット .....	111

## マ

## ミ

### ミラー

手入れ .....	215
ドアミラー .....	116
バニティミラー .....	166
ルームミラー .....	118

## メ

メーター照度調節ボタン .....	123
メッキモールの手入れ .....	219

## ヤ

## ラ

ライセンスプレートランプ(番号灯)	
W(ワット)数 .....	238
ラゲッジルームサイドパー .....	170
ラゲッジルームランプ	
スイッチ .....	168
W(ワット)数 .....	238
ランプ	
消し忘れ防止チャイム .....	139
スイッチ .....	136
点灯しないとき .....	193
レベリングスイッチ .....	138
W(ワット)数 .....	238

## リ

リバースポジションチャイム .....	135
リヤウインドーデフォグガー	
(曇り取り)スイッチ .....	145
リヤゲート .....	102
リヤシート .....	44
リヤパッケージトレイ .....	170

## ル

ルームミラー .....	118
ルームランプ .....	167

## レ

### 冷却水

交換時期、推奨液、容量 .....	235
冬にそなえて(濃度の調節) .....	222

## ワ

### ワイパー

寒冷地用ワイパーブレード .....	226
スイッチ .....	141
ワックスがけ .....	215

お問い合わせ、ご相談はお近くのマツダ販売店または、  
下記へお願いいたします。

マツダ(株)コールセンター  
全国共通フリーダイヤル

 0120-386-919

受付時間

平日 9:00~17:00

土・日・祝日 9:00~12:00 13:00~17:00

携帯電話からもご利用になれます。

弊社における個人情報の取扱いは、  
弊社ウェブサイトに掲載しています。

(<http://www.mazda.co.jp>)

発行元 **マツダ株式会社**

〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地3-1

発行 2014年 9月

印刷 2014年 9月

249頁 初版